

KEIKYU HAND BOOK

京急グループ会社要覧

2016-2017





TOP MESSAGE	3
京急グループ総合経営計画について	4
京急グループTOPICS(中期経営計画 重点テーマ)	
● エリア戦略	品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進 9 羽田における基盤強化の推進 11 都市近郊リゾート三浦の創生 13 地域とともに歩む 14
● 事業戦略	基幹たる交通事業の基盤強化 15 賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開 16 訪日外国人需要の取込み 17 筋肉質な事業構造への変革 18
● お客さま戦略	すべてはお客さまのために 18
京急グループの概要	
交通事業	
鉄道事業	19
乗合・貸切自動車事業(バス事業)	36
タクシー事業	40
不動産事業	
不動産販売業	42
不動産賃貸業	48
レジャー・サービス事業	
流通事業	
百貨店業	58
ストア業	59
ショッピングセンターの経営	61
物品販売業	62
京急プレミアポイント	63
その他事業	
京急グループのCSR・その他	
社会的責任に対する取り組み	67
危機管理	70
京急グループにおける安全・安心なサービス	71
環境	72
住民や自治体との取り組み	74
PR活動	77
CS活動	78
株主・投資家への取り組み IR活動	79
京急電鉄 会社概要	81
京急グループ 決算・会社概要	
京急グループ 決算概要	86
京急グループ 会社概要	89
資料	
京急グループ年譜	105
羽田空港と京急の沿革	115
民鉄16社比較	119
路線図/駅施設	121



TOP MESSAGE

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之

平素より当社および京急グループの事業活動にご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

■ ■ ■ ■

わが国の経済は、経済対策、金融政策の効果などもあり、緩やかな回復基調である一方で、国際情勢の変化、少子高齢化や人口減少など、当社を取り巻く事業環境は刻々と変化しております。

こうしたなか、2015年度は輸送人員が過去最高を記録するなど、鉄道事業が好調に推移したほか、「ウイングキッチン京急蒲田」の開業などショッピングプラザ「ウイング」の新ブランドの展開、ビジネスホテル「京急EXイン」の新規出店を進めました。一方で、2016年3月に、神奈川県三浦市において計画していた鉄道延伸事業および大規模宅地開発事業の凍結、また、当社沿線の中心である横浜への本社移転を発表、同年5月にはお台場のホテル グランパシフィック LE DAIBAを譲渡するなど、京急グループは、これまでにない大きな選択を行いました。これらはすべて、2016年度を初年度とする「京急グループ総合経営計画」の達成に向けた取り組みの一環であり、今後当社グループが構造改革を進めていくための重大な決断でございました。

■ ■ ■ ■

「京急グループ総合経営計画」は、当社グループの一大プロジェクトである品川駅周辺開発を見据えた20年間にわたる長期経営計画であります。長期ビジョン「品川・羽田を玄関口として、国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する」のもと、2020年度までの5年間で、企業体質の変革を目指し、長期ビジョンの実現に向けた土台づくりを進める「構造変革期」、品川駅周辺開発事業が本格化する

次の5年間で「成長準備期」、さらにその先の10年間で「長期ビジョン完遂期」と位置づけ、「エリア戦略」「事業戦略」「お客さま戦略」の3つの柱を中心に、さまざまな施策を推進してまいります。

「構造変革期」においては、エリア戦略として、品川駅周辺の開発事業をはじめとする、沿線の拠点となる地域の街づくりを推進するほか、国際ハブ空港としてさらなる発展が期待される羽田空港を中心としたビジネスを展開していきます。また、三浦半島では自然を活かした新たな観光の拠点づくりを行うほか、地元・行政および観光事業者・開発事業者等との連携を深め、地域の魅力の最大化を目指します。

事業戦略としては、引き続き交通事業の基盤を強化するとともに、沿線および都心部を中心に賃貸事業・マンション分譲事業を積極的に展開し、不動産事業を交通事業と並ぶ新たな事業の柱に成長させてまいります。また、東京・日本の玄関口「品川」・「羽田空港」の成長を担う企業として、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、インバウンド施策を進めてまいります。

そしてお客さま戦略としては、グループ全社員でお客さま志向のより一層の浸透・徹底に取り組み、国内外のお客さまに選ばれる企業グループを目指してまいります。

■ ■ ■ ■

本経営計画に基づき、京急グループでは、品川・羽田のポテンシャルを沿線に波及させ、沿線全域の活性化を図ることで、人口減少社会に立ち向かう経営基盤を構築し、企業価値の最大化を実現してまいります。引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

京急グループ総合経営計画について

京急グループでは、事業環境の変化に対応し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、当社グループの一大プロジェクトとなる品川駅周辺開発を見据えた、20年間にわたる「京急グループ総合経営計画」を2016年3月に策定しました。

本計画では、2035年度を目標年次として長期ビジョンと長期経営戦略を見直すとともに、長期ビジョン実現に向けた最初のステップとして「中期経営計画(2016～2020年度)」を策定しています。

京急グループ総合経営計画の体系



1 グループ理念

■ 経営理念

- 京急グループは、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する
- 京急グループは、伝統のもとに、創意あふれる清新な気風をもって、総合力を発揮し、社業の躍進をめざす
- 京急グループは、グループの繁栄と全員の幸福との一致を追求する

■ 行動指針

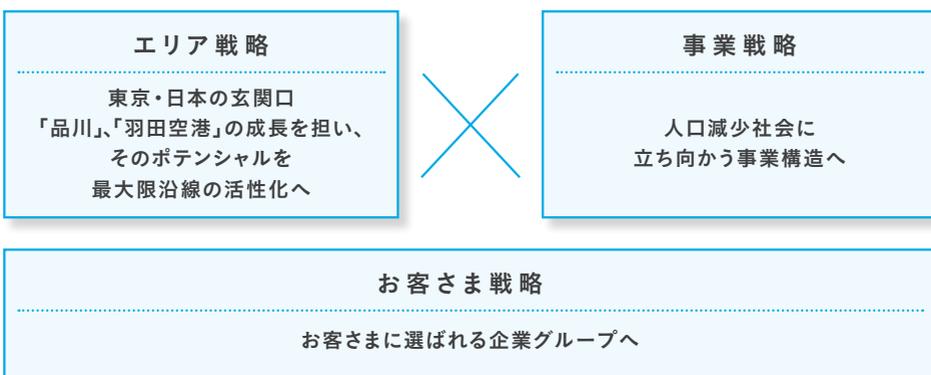
- 安全・安心を最優先し、感謝と誠意をもって、顧客の信頼を獲得しよう
- たえず研鑽し、進取の精神をもって、可能性に挑戦しよう
- 誇りと責任をもち、相互の信頼を深め、仕事に取り組もう

2 長期ビジョン[2035年度に目指す将来像]

品川・羽田を玄関口として、
国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する

3 長期経営戦略

基本方針(3つの柱)



ステップ

2016 ----- 2021 ----- 2026 ----- 2035

中期経営計画期間

長期経営戦略期間

構造変革期

長期ビジョン実現に
向けた土台づくりを
進める期間

- 品川駅周辺開発期間に備えた収益拡大策の実行
- 事業の選択と集中の継続・強化
- 財務体質の改善

成長準備期

品川駅周辺開発事業の
本格化および
羽田空港アクセスの
競争に対応する期間

- 大規模投資の実行
- 交通事業の収支構造の改善
- 各エリア事業の利益増加

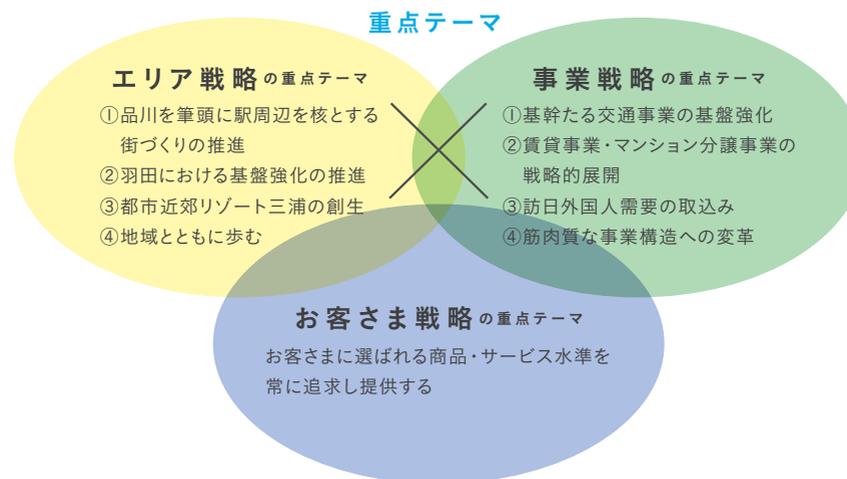
長期ビジョン完遂期

長期ビジョンを
完遂する期間

- 品川駅周辺開発事業の順次完成
- 品川エリアと各エリア事業の連携推進
- 長期ビジョンが実現し、飛躍的成長を遂げる

4 中期経営計画(2016~2020年度)

中期経営計画期間は、「構造変革期」として位置付け、東京オリンピック・パラリンピックに向けた好景気を背景に、企業体質の変革に向け、事業再編やお客さま志向の徹底に取り組むとともに、各エリア事業の取り組みを強化し、長期ビジョンの実現に向けた土台づくりを進めます。



エリア戦略の重点テーマ

①品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進

2016年4月に地区計画が決定された品川駅周辺地区において、品川駅周辺の発展を担う事業者として、土地区画整理の手法を活用した開発の2019年度着手を目指し、国際交流拠点化に向けた開発事業を推進します。この品川駅周辺開発を筆頭に、沿線の拠点となる地域において、特性に応じた街づくりを推進し、「品川」「羽田空港」のポテンシャルを最大限沿線の活性化へ波及させます。

②羽田における基盤強化の推進

羽田空港アクセスにおいて確固たる地位を確立していくとともに、羽田空港周辺エリアにおいて、ホテル、商業施設、賃貸物件等への積極的な投資を行い、京急グループの基盤強化に努めます。

③都市近郊リゾート三浦の創生

新たな観光の拠点づくりを行うとともに、鉄道・バス・タクシー等との連携により回遊性を向上させ、三浦半島観光活性化の基盤を作ります。また、シニアがいきいきと暮らすエリアを目指して、住まいや健康増進の拠点づくりに取り組みます。

④地域とともに歩む

地元・行政および観光事業者・開発事業者等との連携可能性を追求し、各地域の特性を活かし、魅力を向上させる事業を展開します。また、京急電鉄および京急グループ会社の本社を沿線の中心である横浜へ移転し、沿線全域にわたるエリア戦略の推進強化を図ります。

事業戦略の重点テーマ

① 基幹たる交通事業の基盤強化

羽田空港アクセスにおける確固たる地位を確立していくとともに、安全・安定輸送を継続し、事業構造を変革していくことにより、安定的な利益確保に努めます。また、輸送サービスの高付加価値化などにより快適な移動を実現し、新たな旅客獲得を目指します。

② 賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

沿線および都心部を中心に、建設・販売・管理を一体とした体制のもと、賃貸事業・マンション分譲事業を展開し、交通事業に並ぶ事業へ向けて成長を図ります。また、リノベーション事業等の既存ストックを活用した事業の強化も図ります。

③ 訪日外国人需要の取込み

羽田空港国際線・国内線ターミナル駅を、京急グループの「おもてなし」を発信する拠点としていくとともに、訪日外国人の快適な移動の実現に向けた施策を強化し、訪日外国人需要を確実に取り込んでいきます。

④ 筋肉質な事業構造への変革

低収益事業の抜本的改革、重複する事業・組織の整理統合、既存事業の利益率改善を図るとともに、時代や環境変化を捉えた新規事業の展開を図ります。また、有利子負債の削減等財務体質の改善に継続して取り組みます。

お客さま戦略の重点テーマ

すべてはお客さまのために

エリア戦略・事業戦略の礎として、お客さまの声を企業経営に取り込んでいくとともに、お客さま志向の徹底に向けた人材育成を推進するなど、お客さまに選ばれる商品・サービス水準を常に追求していきます。

5 目標指標

品川駅周辺開発の本格化を前に、キャッシュ創出力の向上と、大規模投資に備えた財務体質の改善を重視し、以下の4指標を目標指標としました。

2020年度 ※（ ）内は2015年度実績

営業利益
330
億円

(148億円)

EBITDA
680
億円

(454億円)

純有利子負債
4,200
億円

(4,298億円)

純有利子負債
／ EBITDA
6.2
倍

(9.5倍)

6 京急ism(イズム)～京急グループが求める人材像～

「京急ism」は、京急グループが培ってきた強みを正しく認識しつつ、さらなる発展に向けて、すべての従業員が理解し、共有すべき価値観であり、挑み続けるべき目標として掲げられている人事ビジョンです。

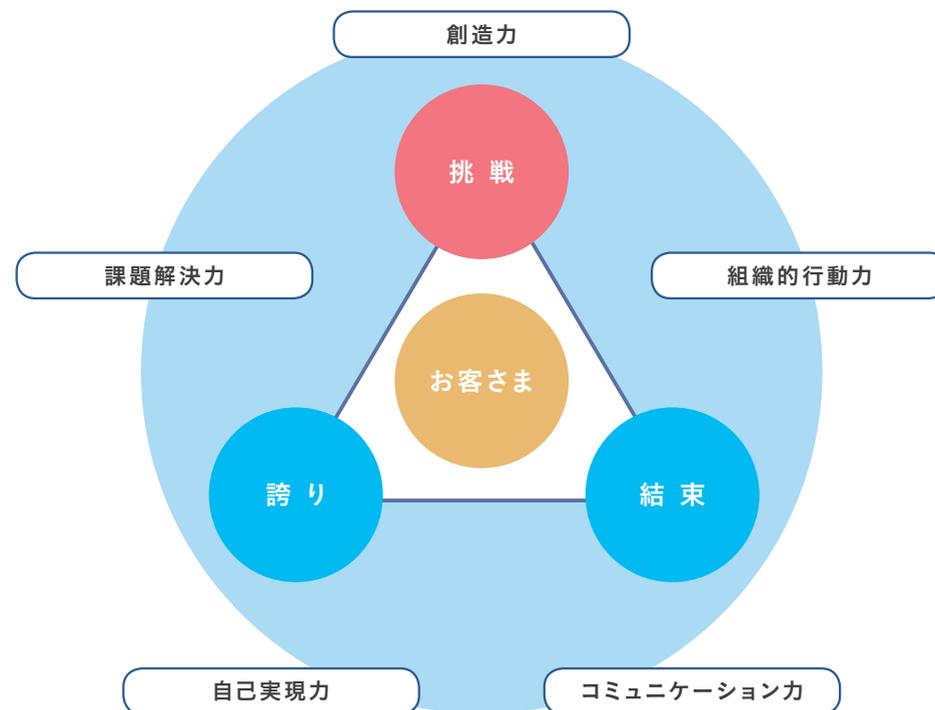
特に京急グループ総合経営計画において「構造変革期」と位置付けられる中期経営計画の推進にあたっては、「挑戦」を重点キーワードとして、徹底したお客さま志向のもと、グループ全体が一丸となり、新たな可能性に挑み、新しい価値を創造する人材集団を目指します。

また、京急ismの実現に向け、「5つのチカラ」をグループ共通の人材育成方針としています。

人事ビジョン【京急ism】

- 誇り** 一人一人がプロフェッショナルとして自律し、課題解決意識をもって業務に取り組む
- 結束** 目的・方向性を共有し、グループの連携力を最大限に活かして業務に取り組む
- 挑戦** 新たな可能性に挑戦し、お客さまに新しい価値を提供し続ける

人材育成方針【5つのチカラ】



【中期経営計画】 エリア戦略の重点テーマ

1

品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進

● 品川駅周辺での事業展開

京急グループは、品川駅周辺に約60,000㎡の土地を保有しており、「品川駅」や「SHINAGAWA GOOS」をはじめ、ホテル・オフィス・商業施設など様々な事業を展開しています。

品川駅のアクセスの利便性



ホテル事業

- 京急EXイン 品川駅前／高輪
高輪口から徒歩3分、2館あわせて1,000室以上の客室数を誇ります。
- 京急EXイン 品川・泉岳寺駅前
2016年6月、都心や羽田空港アクセスに便利な京急線・都営浅草線泉岳寺駅前にオープン。 →P52

不動産賃貸事業

- SHINAGAWA GOOS
「京急EXイン 品川駅前」を中心とした、レストラン・ショップ・カンファレンス・ウェディングなど複数の施設を擁する複合施設。
- オフィスビル
羽田空港や都心へのアクセスの良い品川駅周辺に7棟の賃貸オフィスビルを保有・運営しています。 →P49～

流通事業

- ウィング高輪 EAST・WEST
ファッションからレストラン&カフェ、フードまで、毎日の暮らしを彩るショッピングスポット。 →P61



品川駅高輪口周辺

● 京急品川駅および周辺の開発

品川駅周辺の発展を担う事業者として、国際交流拠点化に向けた開発事業を推進します。品川駅街区地区については、土地区画整理の手法を活用し、2019年度の着手を目指します。

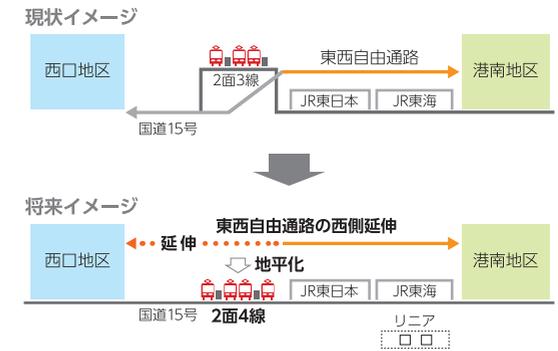
品川駅周辺開発事業 開発スケジュールイメージ



● 京急品川駅の地平化(2面4線)

品川駅は、利用客の利便性向上を図るため、現在高架にある2面3線のホームをJR東日本のホームと同じレベルに配置し、あわせて2面4線化による空港アクセス向上を検討しています。品川駅を地平化することで、品川駅東口から東西自由通路を延伸させて国道15号を越えて西口地区と繋ぐ、歩行者ネットワークを構築することが可能となり、乗り換えの利便性や安全性が向上した魅力的な駅への再編を検討しています。

京急品川駅の地平化(2面4線イメージ)



● 品川第一踏切道を含む3か所の踏切解消

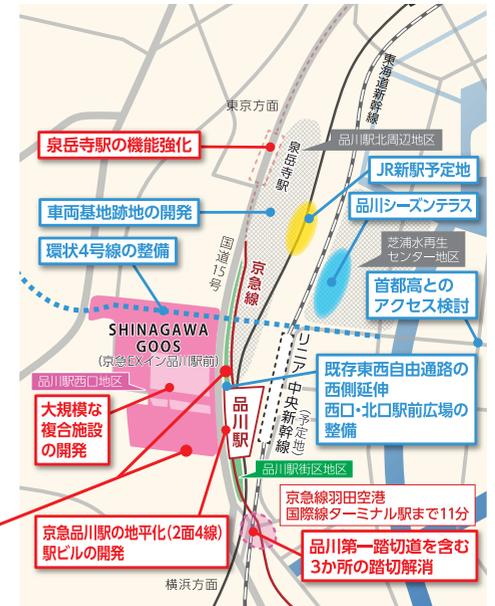
京急品川駅の南方にある品川第一踏切道を含む3か所の踏切は、現在京急本線で都内に残る最後の踏切です。鉄道輸送の安全性の向上を図るだけでなく、品川駅南側の道路交通を円滑にして地域の東西連絡性を強化・改善させるべく、この踏切の解消を検討しています。

● 「西口地区」の開発

SHINAGAWA GOOSのある西口地区においては、既存のホテル・コンベンション機能や、緑・地形などを活かした、国際交流拠点を目指したオフィス・商業・住宅・交流・観光など、様々な魅力を持ったエリア開発に取り組みます。

● 「駅街区地区」の開発

京急品川駅のある駅街区においては、リニア中央新幹線や羽田空港アクセスなどの交通結節機能を活かし、駅前が「品川の顔」となるような駅・まちの一体型の開発を目指します。



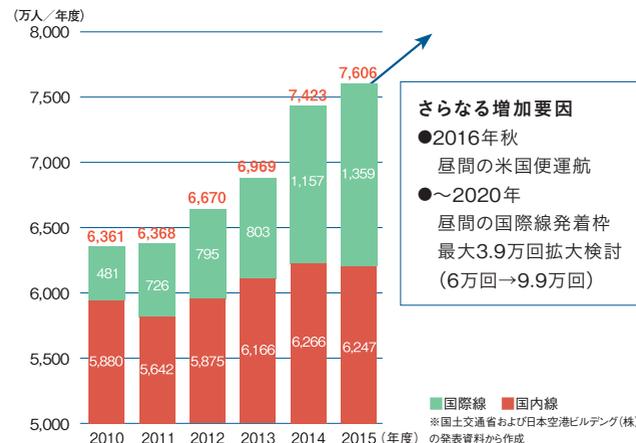
※「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン 2014」から作成(赤枠が京急グループの取り組み)

羽田における基盤強化の推進

● 羽田空港における航空旅客数の増加

羽田空港は、国内49空港、世界18か国・地域の26都市29空港とネットワークを形成しており、2015年度の国際線・国内線をあわせた年間航空旅客数は、過去最高を記録しました。
2016年10月末には昼間時間帯にニューヨーク直行便など北米線の就航が予定されているほか、2020年までに飛行ルートを変更することで、国際線の発着回数を年3.9万回増やすことが検討されており、今後もさらなる旅客数の増加が見込まれます。

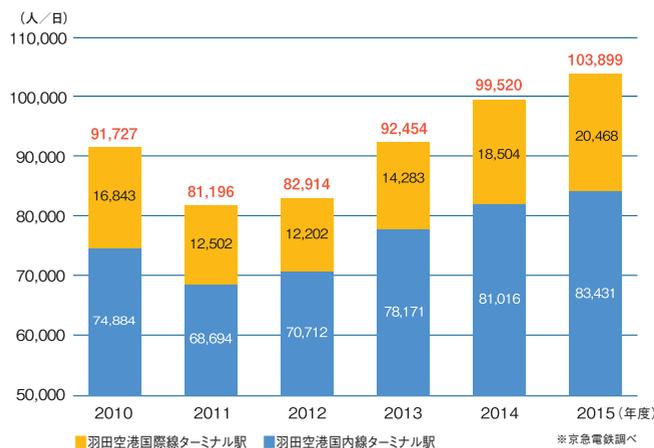
羽田空港 航空旅客数



● 拡大する京急線需要

航空旅客数の増加や、ダイヤ改正で羽田空港アクセスを向上させたことにより、2015年度駅別1日平均乗降人員では、国際線ターミナル駅が20,468人(前年比10.6%増)、国内線ターミナル駅が83,431人(前年比3.0%増)を記録し、国際線・国内線ターミナル駅の合計では、103,899人(前年比4.4%増)を記録しました。

京急線羽田空港国際線・国内線ターミナル駅 1日平均乗降人員



● 羽田空港アクセスを担う

羽田空港

空港リムジンバス

- 羽田空港から各地へ、**48路線運行**
- 「深夜早朝アクセスバス」は**深夜早朝便の飛行機に対応**

→P36

京急線

- 品川～羽田空港国際線ターミナル駅間**最短11分**
- 品川方面、横浜方面とも直通電車を**10分間隔**で運行

→P15

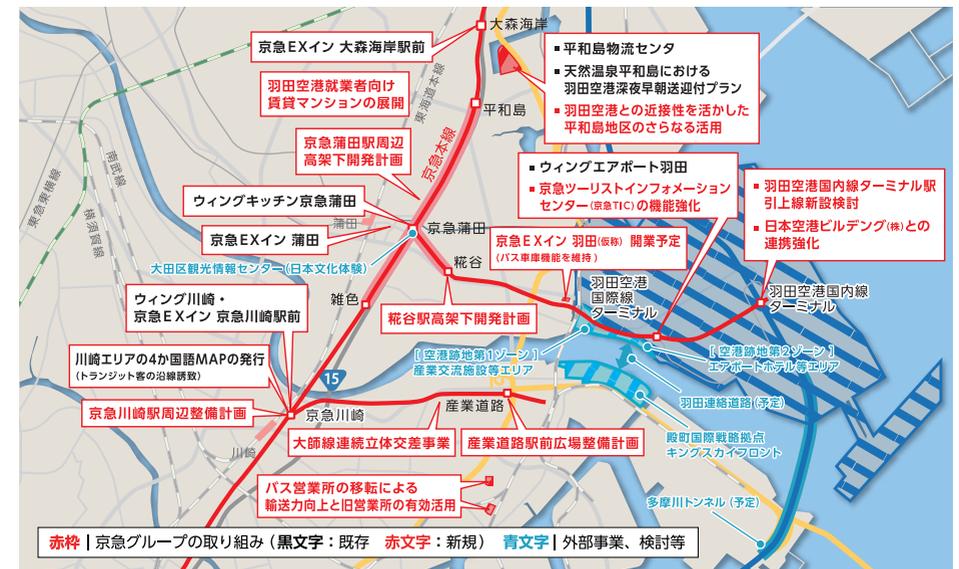
タクシー

- 東京都と神奈川県内の対象エリアで、羽田空港アクセスを定額料金で利用できる「**定額制タクシー**」を導入

→P41

● 羽田空港周辺エリアにおいて事業を拡大

羽田空港周辺で、ホテルや商業施設など様々な施設を運営しており、2015年10月には羽田空港国際線ターミナル駅構内に免税サービス実施店舗を誘致した商業ゾーン「ウィングエアポート羽田」を開業しました。また、羽田空港へのアクセスに優れたビジネスホテル事業を展開しています。2017年度には天空橋駅付近に、300室以上の客室を備える「京急EXイン 羽田(仮称)」の開業を予定するなど、羽田空港周辺エリアにおいて、積極的な投資を推進し、羽田空港需要を余すところなく取り込んでいきます。



都市近郊リゾート三浦の創生

三浦半島は都心部の近郊に位置しながら、美しい自然に囲まれています。京急グループでは、鉄道・バス・タクシーなど三浦半島の交通網の連携強化を図るほか、展開しているリゾートホテルから水族館、ヨットハーバーまで様々な事業を通じて、観光の活性化などを推進します。

● レジャー施設

葉山マリーナ
京急油壺マリンパーク
油壺京急マリーナ



→P56

● ホテル

観音崎京急ホテル・SPASSO
ホテル京急油壺観潮荘
城ヶ島京急ホテル



→P53

● おトクなきっぷ

みさきまぐろきっぷ
三浦半島1DAYきっぷ・2DAYきっぷ
よこすかグルメきっぷ
葉山女子旅きっぷ



→P33

● 地元自治体と協力した認知度向上への取り組み

ミシュラン・グリーンライナー運行

三浦半島エリアはフランスのタイヤメーカー、ミシュランが発行する旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」において、エリア内各地の観光地が紹介されています。これにあわせ、三浦半島エリアが紹介されていることを訪日外国人にPRする「ミシュラン・グリーンライナー」を運行しています。



三崎口駅前観光案内所

2015年7月、三浦市観光協会運営のもと、三崎口駅前にオープンしました。「城ヶ島」や「小網代の森」の観光案内など、三浦半島の観光情報を発信しています。



サイクリストの積極的な誘致

三浦半島の4市1町で構成される三浦半島サミットで「自転車半島宣言」が表明されるなど、三浦半島では近年サイクリストの誘致活動が積極的に行われています。これにあわせ、三崎口駅前のレンタサイクルポートの設置や、イベント列車「京急サイクルトレイン」の運行を実施しました。 →P75



→P1

地域とともに歩む

都心から横浜・三浦半島まで地域ごとに様々な魅力があふれる京急沿線。京急グループでは、地域の特性や市場動向を捉え、事業展開に活かすことで、これまで以上に地域との連携を強め、お客さまが求めるサービス・商品を提供していきます。

● 沿線の魅力を向上させる事業の検討・推進

京急沿線の開発計画



ウイングキッチン

コミュニティ型商業施設ブランドが誕生

「ウイングキッチン」は、“地域に溶け込むコミュニティプレイス”をコンセプトに、食物販を中心としたライフスタイルに密着したショップを揃えた、新たなコミュニティ型商業施設ブランドです。その第1号店となる「ウイングキッチン京急蒲田」を皮切りに、今後は沿線を中心に拡大展開していきます。 →P48



京急川崎駅前ビル

発展著しい川崎エリアの新たな玄関口

2016年4月、京急川崎駅直結12階建ての複合型ビルが誕生しました。同ビル内に商業施設「ウイング川崎」、ビジネスホテル「京急EXイン 京急川崎駅前」のほか、6月には「京急キッズランド京急川崎保育園」も開園しました。 →P52、61



京急グループ本社ビル(仮称)

京急沿線の中央に位置する横浜に新たな京急グループ本社ビル(仮称)を建設

2019年秋の稼働を目指し、横浜に京急グループ本社ビルを移転することを決定しました。環境設備の導入や災害発生時の防災拠点としてBCP対策など防災機能を図り、充実したインテリジェントビルを建設する予定です。

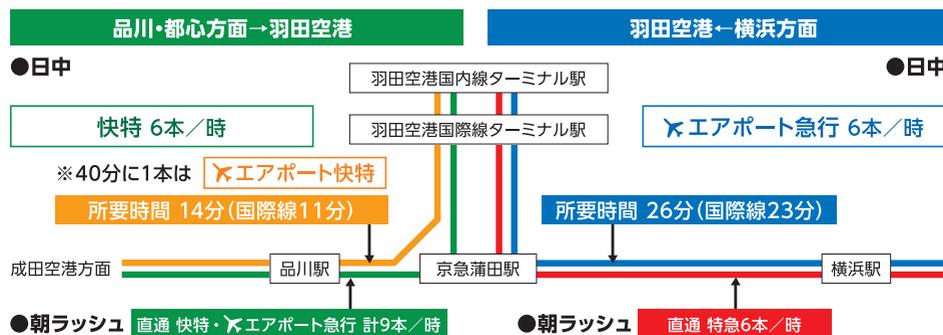


基幹たる交通事業の基盤強化

交通事業においては安全・安定輸送を継続するとともに、さらなる羽田空港アクセスの向上やモーニング・ウィング号新設など快適性向上を追求することで、満足度の高い輸送サービスを提供していきます。

●羽田空港アクセス(鉄道)

品川・都心方面、横浜方面ともに、羽田空港への直通電車を日中10分間隔で運行しています。現在、品川～羽田空港国際線ターミナル駅を11分、横浜～羽田空港国際線ターミナル駅を23分で結んでおり、2015年のダイヤ改正においては、夜間時間帯の利便性向上のため、平日・土休日とも、羽田空港発着列車を増発しました。今後も航空需要の拡大にあわせ、羽田空港アクセスの強化を図っていきます。



●モーニング・ウィング号

朝の通勤時間帯に、三浦海岸駅・横須賀中央駅・金沢文庫駅・上大岡駅を乗車駅とし、品川駅までノンストップで運行する京急初の上り着席保証列車の運行を2015年12月から開始しました。

通勤通学やお出かけの快適性向上のみならず、前後時間帯の列車の混雑緩和を図っています。運行開始以降、利用者数は好調に推移しており、今後も利便性を高め、沿線の定住人口増加を図っていきます。→P19



モーニング・ウィング号 停車駅



賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

京急グループでは品川・羽田と連携した開発を行い、街づくりの核となる賃貸事業・マンション分譲事業を展開することで、交通事業に並ぶ柱へ成長させます。また、販売のみならず、管理、リノベーション、リフォーム事業等を強化していきます。

●賃貸オフィスの取得・開発

積極的な物件取得を推進し、新たな収益基盤を確立していきます。

●賃貸マンション事業の強化

羽田空港就業者向けや高齢者向けの賃貸マンションを検討し、2020年度までに現在の5倍程度の取扱物件数を目指します。

●分譲マンションの安定供給

戦略的な用地取得や再開発事業への参画検討を行い、年間400戸程度の安定供給を目指します。



●住宅事業ブランドを統一

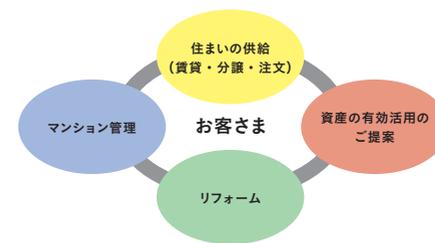
住宅事業ブランドを「PRIME」に統一し、新たにロゴマークを新設。日本語訳で“最高の”“最良の”という意味の「プライム」ブランドを掲げ、京急グループが贈る住まいのクオリティおよびイメージアップを図り、住宅事業をより一層強化します。→P42



●ストック事業の強化

沿線を中心に住まいの総合案内所として「京急すまいるステーション」を拡大しています。また京急リブコでは、マンション管理事業、リフォーム事業、そして住生活支援事業として空き家管理サービスを開始しました。販売元である京急電鉄、京急不動産を含め、お客さまの暮らしに合わせたワンストップサービスを提供していきます。→P45、64

京急グループの不動産事業におけるワンストップサービス

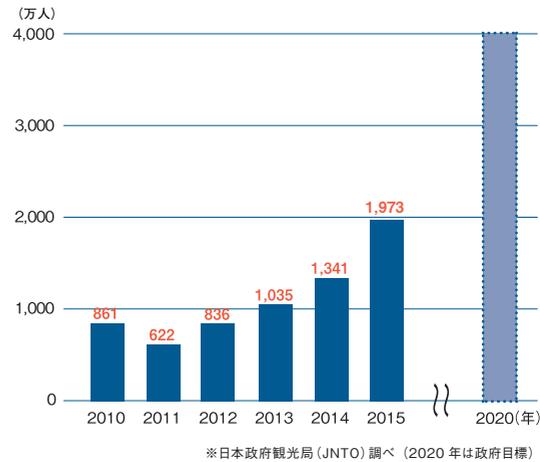


訪日外国人需要の取込み

● 訪日外国人数の増加

2015年、航空路線の拡大、円安が進行したほか、訪日ビザの発給要件緩和や消費免税制度の拡充などが追い風となり、年間の訪日外国人旅行者数は、過去最高の1,973万人（前年比47.1%増）を記録しました。これを受け日本政府は、訪日外国人数を2020年に4,000万人、30年には6,000万人に増やす新しい目標を決めました。羽田空港国際線ターミナル駅の乗降人員や京急ツーリストインフォメーションセンターを利用する外国人旅行者も年々増加しており、今後もさらなる増加が見込まれます。

訪日外国人数



● インバウンド施策の強化

ウィングエアポート羽田

2015年10月、羽田空港国際線ターミナル駅開業5周年を機に、訪日外国人向けサービスを拡大した新たな駅ナカ商業ゾーンが誕生。「ラオックス」、「マツモトキヨシ」といった免税サービスを実施する店舗がオープンしたほか、2016年4月にはラーメンフードコート「品達羽田」を開業しました。→P62



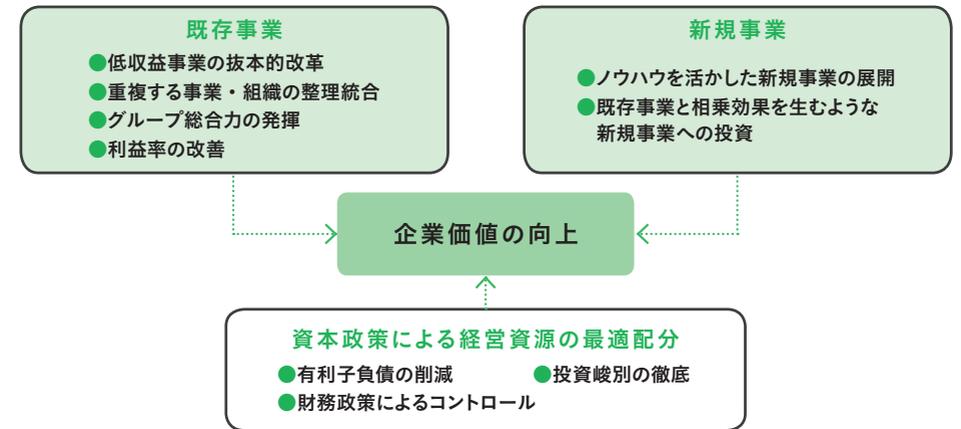
海外に向けたプロモーション活動

海外の鉄道事業者と連携し、キャンペーンやイベント等を通じて相互の旅客誘致を図っています。2015年2月の台湾鉄道管理局に続き、12月にはタイ・スワンナプーム国際空港とバンコク市内を結ぶ空港鉄道(エアポート・レール・リンク)を運営するSRTETと友好協定を締結しました。



筋肉質な事業構造への変革

引き続き事業再編・選択と集中の徹底を図り、京急グループの「稼ぐ力」のさらなる向上との両輪で、企業体質の強化、財務体質の健全化に取り組みます。



すべてはお客さまのために

- 1 常にお客さまの声を企業経営に取り込む仕組みを確立し、お客さま満足度の向上に努めます。
- 2 お客さま志向の徹底に向けた人材育成と人事制度改革に取り組みます。
- 3 マーケティング力、プランニング力を向上させ、ワンランク上のサービス・商品の提供を目指します。
- 4 グループ各事業の連携により、お客さまに提供する価値の向上と事業機会の拡大を図り、京急ブランドを浸透させていきます。



交通事業

- 鉄道事業
- 乗合・貸切自動車事業（バス事業）
- タクシー事業

鉄道事業

都心から川崎・横浜・横須賀を経て三浦半島に至る本線、空港線、大師線、逗子線、久里浜線の5路線を運営。通勤・通学の足として暮らしを支えています。一方で、羽田空港の航空需要の増大にあわせ、羽田空港アクセスを強化。安全・安定した輸送サービスを通じ、沿線地域の発展に貢献しています。

|||| 都心へ通勤するお客さまの快適性を向上

■「モーニング・ウイング号」を新設

2015年12月に実施されたダイヤ改正に伴い、平日の朝に、三浦海岸駅・横須賀中央駅・金沢文庫駅・上大岡駅から品川駅・泉岳寺駅まで座ってご乗車いただくことができる「モーニング・ウイング号」を新設しました。1日2本の運行で、上大岡～品川駅間はノンストップ。三浦・横須賀方面から都心への通勤に、京急線を快適にご利用いただくことができます。ご乗車の場合、乗車券のほかに「Wing Ticket」（当日券300円）または「Wing Pass」（1か月券5,500円）が必要です。どちらも各乗車駅にて販売しています。→P15



■下り「ウイング号」の優待制度開始

1992年から平日夕方のラッシュ時間帯に着席整理券をご購入いただくことで、品川駅から座ってご乗車いただくことができる下り「ウイング号」を運行しています。現在では計11本を運行し、ラッシュ緩和に向けたサービスを拡充しています。着席整理券「Wing Ticket」（300円）は、品川駅構内またはインターネットサービス（京急ケータイdeウイング）でも購入することができます。→P63

2015年12月からは、下り「ウイング号」の使用済みWing Ticketを所定の枚数集めると無料で下り「ウイング号」に乗車できる、お得な優待制度「乗るほどお得なキャンペーン」がスタートしました。



|||| 連続立体交差事業

■京急蒲田駅付近連続立体交差事業

東京都の「都市計画事業」として、2000年12月から事業着手している「京急蒲田駅付近連続立体交差事業」。2012年10月には、事業区間全線において上下線高架化が完了し、踏切が除却されたことにより安全性が向上しました。

昨年度までに京急蒲田駅をはじめ、すべての駅舎工事が完成し、現在は切替地点の工事や高架下の整備を行っています。2016年度末の事業完了に向け、鋭意工事を進めています。



■大師線連続立体交差事業

川崎市の「都市計画事業」のひとつとして行われている「大師線連続立体交差事業」は、大師線約5kmのほぼ全線を地下化し、国道409号線を含む計14か所の踏切を廃止することにより、安全性の向上と道路交通の円滑化を図るものです。現在、事業の効果を早期に発揮させるため、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mの区間においては、段階的整備区間として2006年9月から地下化工事に着手しており、この工事により、産業道路を含む3か所の踏切がなくなります。今後も引き続き、事業完成に向けて鋭意工事を進めていきます。



産業道路駅完成イメージ



産業道路駅付近での躯体構築状況

安全・安心への取り組み

2016年度 鉄道本部 安全重点施策

『事故防止に向けた感性を磨き、安全・安定輸送を継続する』

一人ひとりが鉄道のプロとしてのプライドを胸に、規律と士気を高く保持し、全員一丸となって京急の安全を極めよう

具体的な目標

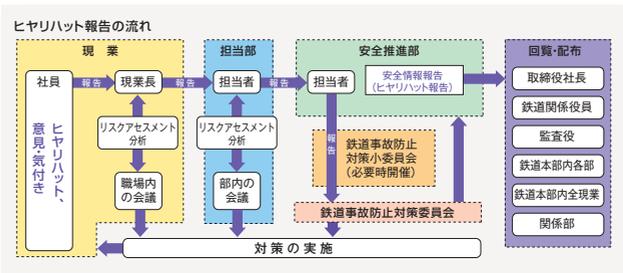
- 鉄道運転事故
有責事故0件の継続
- 輸送障害
内部要因0件（外部要因も減少）
- インシデント
0件の継続

取組計画

- ① 安全に対する意識・知識・技術を向上させる教育訓練のPDCAサイクルの推進
- ② 自然災害、事故・トラブル等の未然防止や早期復旧のための取り組み
- ③ コミュニケーションの強化を図るための積極的な取り組み
- ④ リスクアセスメントを活用した評価・分析・対策の推進
- ⑤ 安全性向上のための、設備・施設を充実させる継続的な取り組み

ヒヤリハット報告

「ヒヤリハット」や安全に関する「意見・気付き」など、輸送の安全にかかわる情報については、体系的に集約・活用する体制を整備しています。また、ヒヤリハット報告については、リスクアセスメント分析を実施しています。



2015年度のヒヤリハット情報による改善例

1 スロープの設置

ドラム缶を油脂庫に戻す際、後ろ向きに歩きながら油脂庫に搬入しようとしたところ、入口の段差に足が引っかかり転倒しそうになったという事象を受けて、入口部分にスロープを設置して段差を解消しました。

2 職員用通路のくぼみ解消

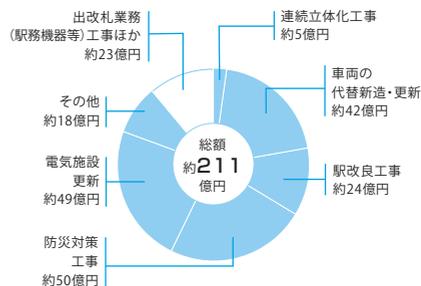
職員用通路にくぼみがあり、雨天時には水溜りになってしまい、台車等の通行に支障をきたしているという事象を受けて、段差部分の補修を行い、雨天時の水溜りを解消しました。

安全への設備投資（2016年度計画）

鉄道事業設備投資計画 総額 約205億円

①安全関係設備投資額	約195億円
(1) 連続立体化工事	約8億円
(2) 車両の代替新造・更新	約57億円
(3) 駅改良工事	約43億円
(4) 防災対策工事	約27億円
(5) 電気施設更新	約39億円
(6) 工場、検車庫の改良・改修ほか	約21億円
②その他	約10億円

2015年度鉄道事業設備投資総額（実績）



安全関係設備投資額 188億円 (89.1%)

車両の安全対策

毎年度、継続的に車両の新造を進めており、2015年度は20両、2016年度は32両を新造し、あわせて車両の更新も行います。

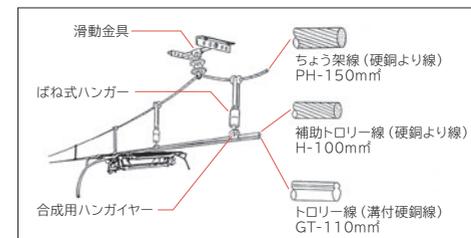
- ※2016年度計画 ●新造/新1000形：32両（6両編成×2本、4両編成×1本、8両編成×2本）
●更新/2100形：16両



新1000形

鉄道の要でもある電車線

電車に電気を送る電車線の架設方法は、当社独特の合成電車線と、シンプルカタナリーの2種を採用していますが、今後は、切れにくく、より安全性の高い合成電車線化を全線で推進していきます。また走行しながら鉄柱間の径間、電車線の高さ・偏位・太さを測定できる架線検測車を導入し、保守作業の効率化を図っています。

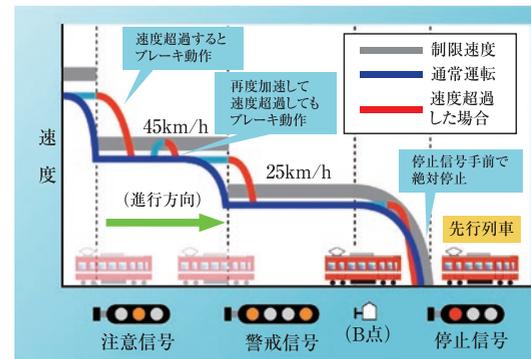


高機能ATSの導入

① C-ATSの導入

ATS（自動列車停止装置）は、運転士が誤って停止信号を現示する区間に進入しないように、停止信号の手前自動に列車などを停止させるバックアップ装置です。

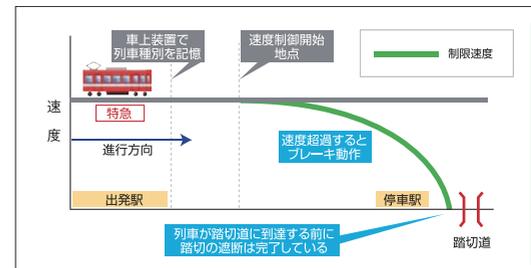
1968年から1号型ATSを導入し運転士の安全運転をバックアップしてきましたが、さらなる安全性の向上を目指し、新型の高機能ATSに更新する工事を進め、2009年2月、京急全線で運用を開始しました。この高機能ATS（C-ATS）は、高い信頼性と安全性が実証されているデジタル符号伝送方式を採用、それぞれの信号区間の制限速度に合わせた、より細かい速度照査（スピードチェック）が可能になったほか、信号区間内を連続的に制御することができます。また、急曲線区間や分岐区間（ポイント）、線路終端部などでの速度制限にも対応し、保安度がさらに向上しました。



C-ATSの動作概要

② 踏切道防護システムの導入

C-ATSの機能向上による「踏切道防護システム」を2011年度導入の本線・久里浜線に引き続き、2012年6月に空港線・大師線・逗子線へ導入し、全線の整備が完了しました。このシステムは、駅に停車すべき列車が誤って駅を通過した場合に、踏切道手前までに列車を停止させるか、踏切道遮断機の遮断が完了した後に列車が踏切道を通るように列車を制御し、踏切道におけるさらなる安全性を向上したものです。

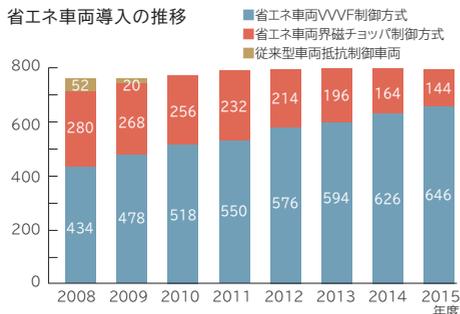


「踏切道防護システム」動作概要

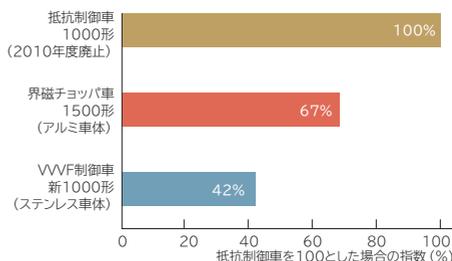
■リサイクル可能な省エネルギー車両を導入

電車の制動時に発生する電力を架線に戻し、ほかの電車の動力源として有効活用できる「電力回生ブレーキ」を備えた「界磁チョップパ制御方式」を1978年度から採用。1990年度からは、さらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式」を採用しています。なお、2010年度に従来型の抵抗制御車両が廃止となり、全車両が「電力回生ブレーキ」を備えた省エネ車両となりました。電力量の削減効果は、約30%におよんでいます。また、1987年度以降「アルミ合金製」車体、2006年度以降「ステンレス製」車体の車両を採用し、従来車に比べ約15%の軽量化を達成しています。

省エネ車両導入の推移



車種による運転用エネルギーの違い



■環境を守る様々な設備

公共交通機関として欠かせない鉄道は、航空機、乗用車など数ある輸送機関のなかでもとりわけエネルギー効率の良さで注目されていますが、電車の運転本数の増加や、駅にエスカレーターやエレベーターを設置することに伴い、必要とする電力は年々増加しています。そこで、電力使用量を抑制するため、省エネ車両の導入、車両の軽量化および電力の再利用に取り組んできました。この省エネ車両の列車がブレーキをかけるときに発生する電力（回生電力）をフライホイールに機械的エネルギーの形で蓄勢し、必要ときに電力に変換して電車線に戻す「フライホイール式電車線電力蓄勢装置」や、回生電力を直流から交流に変換し、駅の高圧配電設備に供給する「電力回生インバータ装置」を設置し、電力の有効活用を図り、電力使用量の抑制に努めています。また、電力の安定供給を図るため、変電所の新設や高性能機器への更新を行ってきました。なお、現在20か所ある変電所は、すべて総合司令所施設司令が遠隔制御しています。

フライホイール式電車線電力蓄勢装置

1981年に瀬戸変電所に試験的に設置。その実績をふまえ、1988年8月に逗子線神武寺駅～新逗子駅間に逗子フライホイールポストを新設。2010年度は、この装置により逗子線内で使用されている電力の約20%を再生利用しています。



フライホイール式電車線電力蓄勢装置

電力回生インバータ装置

1998年5月にフライホイール式電車線電力蓄勢装置と同じ目的で羽田変電所に導入しました。

代替フロンの使用削減

変電所の整流装置の冷媒は、オゾン層破壊係数と地球温暖化係数がゼロとなる、純水ヒートパイプ水冷式を採用しています。

■駅の安全対策の実施

①足下灯の設置

ホームと車両の隙間が空いている駅においては、従来からの足元を照らす照明をつけていますが、より気付きやすく自動点滅式の足下灯（そっかとう）を設置し、注意喚起を行って、現在17駅に設置しています。

②非常停止ボタンの設置

ホーム上の「非常停止ボタン」を押すことで、運転士に危険を知らせることができる装置を、京急線全駅に設置し、事故の防止を図っています。



■駅ホームの改良工事でより安全快適に

ホームの安全性と利便性をより高める工事を推進しています。2015年度は車いす利用者の安全性向上を図るため、穴守稲荷駅のコンコース、ホームの勾配改修を実施し、横浜駅では上りホーム浦賀方に転落防止柵を設置しました。2016年度は、杉田駅、追浜駅、京急長沢駅のホーム横断勾配を緩和する工事を予定しています。



横浜駅 上りホーム

■耐震補強工事

2015年度は主に品川駅、京急鶴見駅および上大岡駅の耐震補強を実施しました。RC（鉄筋コンクリート）柱は2017年度完了に向けて今後も工事を推進していきます。また、2016年度からは新たに、PC（プレストレストコンクリート）柱および土構造物（盛土）の耐震補強工事に取り組んでいます。



新馬場～青物横丁駅間

■トンネル補修工事

2008年度から実施している抜本的な対策工事が2017年度に完了します。その後は定期的な実施する全般検査の結果に基づき管理していきます。



トンネルの補修工事の様子

■法面防護工事

法面の安定性を調査する定期検査を実施しており、必要箇所には法面防護工事を行っています。2015年度では、追浜～京急田浦駅間下り線側、逸見～安針塚駅間下り線側、南太田～井土ヶ谷駅間上り線側にて工事を完了しています。



追浜～京急田浦駅間 下り線側

■ 定期的な検査と整備

新町・金沢検車区と車両管理区においては、電車を安全に運行するための定期的な車両の検査および快適な車両を提供するための整備を行っています。また、営業線の安定運行を円滑に行うため、総合司令所の運輸司令と連携し、突発的な事態にも素早く対応できるよう、体制を整えています。



車両管理区での点検

■ 線路の点検と保守作業

電車の安全輸送はもちろんのこと、快適な乗り心地を追求することも重要な課題となっています。線路の保守作業は、軌道検測などの保守点検を定期的を実施し、軌道の整備をしているほか、深夜の作業の進捗を図るため、大型保線機械を導入し保守作業の効率化を推進しています。



■ 鉄道テロ対策

鉄道テロ対策の一環として、駅係員や警備員などによる列車内、駅構内、鉄道施設などの巡回、点検を行っています。また、ホームから駅事務室へのお問い合わせや、不審物を発見した際の通報に使用できるインターホンを全駅に設置しているほか、駅構内への防犯カメラの増設も進め、2016年3月末時点で693台を設置。さらに、警察・消防に協力をいただき、テロを想定した訓練を行っています。



■ 鉄道事故復旧訓練を実施

毎年秋に、京急ファインテック久里浜事業所で鉄道事故復旧訓練を実施しています。2015年度は、「動作中の踏切道内に侵入した自動車と衝突し列車が脱線、乗客に負傷者が発生し、線路・電気・通信設備が損傷する」という設定で、警察・消防の協力のもと、見学者を含め約770名が参加しました。そのうち、抽選で選ばれた一般の見学希望者、約100名の方にもご見学いただきました。



■ 京急ファミリー鉄道フェスタの開催

毎年5月に、車両工場である京急ファインテック久里浜事業所において、「京急ファミリー鉄道フェスタ」を開催しています。普段は公開していない車両工場を会場とすることで、一般のお客さまに京急電鉄の鉄道事業や、安全・安心への取り組みをご理解いただく機会になっています。2016年も多くの方々にご来場いただきました。



|||| サービスの向上

■ 駅施設の改良

京急川崎駅前ビル新築に伴い、コンコースを改修しました。横須賀中央駅前Yデッキの大屋根を膜屋根に改修し、断熱性能を高めました。駅舎については日ノ出町駅を改築し、旅客用トイレについては堀ノ内駅を改築しました。



横須賀中央駅前Yデッキ

■ 駅係員のサービス向上

① 全駅係員がAEDによる普通救命講習を受講

2006年6月から設置を開始したAED（自動体外式除細動器）は、同年11月には全駅設置を完了。現在では、泉岳寺駅を除く全72駅に81台を設置しています。AED導入に際して、京急線全駅の駅係員が普通救命講習を受講し、非常時の使用に備えています。



② サービス介助士の資格取得を推進

お年寄りやおからだの不自由なお客さまが、安心して駅をご利用いただけるよう、サービス介助士の資格取得を推進。また、お客さまからの介助要請や急病人に対する的確に対応できるように、「普通救命講習」の受講も勧めています。さらに、お客さまが有資格者をひと目で識別できるように、バッジによる資格取得表示も行っています。



■ 京急ツーリストインフォメーションセンター

羽田空港国際線ターミナル駅に設置されている、京急ツーリストインフォメーションセンター（京急TIC）では、4か国語対応（日・英・中・韓）のコンシェルジュを常時配置し、対面乗車券発売や、交通・観光情報の提供を行うなど、海外からのお客さまをサポートする充実した情報サービスを提供しています。2012年10月には、日本政府観光局（JNTO）による外国人観光案内所認定制度において、最高ランクである「カテゴリー3」の認定を受けました。2015年4月から、海外からのお客さまが増加している品川駅でもコンシェルジュが案内しています。



■ 公衆無線LAN (Wi-Fi) サービスを拡大

NTT系列およびKDDI系列のWi-Fiサービスを京急線全駅および一部車両にて提供しています。また、海外からのお客さまに無料でご利用いただけるWi-Fiサービスの提供を、2014年3月から開始しました。2015年4月からは、(株)ワイヤ・アンド・ワイヤレスが提供するWi-Fiサービス「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」に参画し、利用時間の延長など、サービス内容の拡充に努め、1年間で2万人を超える海外からのお客さまに、Wi-Fiサービスを提供しています。



TRAVEL JAPAN Wi-Fiポスター

■ 京急お忘れものセンター

2016年4月、京急鶴見駅前に「京急お忘れものセンター」を開設しました。これまで沿線の警察署に届け出ていたお忘れものを、現金・貴重品など、法律で定める物件を除き、すべて京急お忘れものセンターで3か月間（率は1か月間）保管するようになりました。平日に時間がとれないお客さまにもご利用いただけるよう、土・日・祝日も受付対応しています。



車両の概要

車両一覧

新1000形
(貫通形・1800番台)



2007年に京急電鉄初のステンレス車体を採用して登場した車両です。車体にはカラーフィルムで京急の赤い電車のイメージを表現し、先頭部は普通鋼に赤色の塗装をして従来のスタイルを残しています。車内は車端部をロングシートに変更し、側窓を一部開閉可能としました。引き続き、バリアフリー対応をすとも、乗務員室の背面に非常脱出ハシゴを設置。乗務員室は運転台を高くするなど乗務員の安全性と居住性を向上しました。また、主要機器は国産品を採用し、2012年度新造車からLED照明を採用しています。2015年度新造車1800番台から車体側面に幅広の赤と白色フィルムを採用しています。<4両編成13本(52両)、6両編成12本(72両)、8両編成13本(104両)>

- 製造初年/2007年3月 ●定員/119人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.5t(M2uc, M2sc)・32.5t(M1u, M1s)・32.0t(M1u)・28.5t(M2s)・24.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,791.8×3,630mm ●主電動機/155kW(三相誘導電動機)
- 制御装置/VVVF(1C-4M2群制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

新1000形
(アルミ車)



2002年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。車内は扉間がバケットタイプのロングシートで、車端部は補助イス付きのクロスシートとなっています。また、2100形と同様に海外製品を採用し、車両性能と居住性の向上を図りつつ、コスト低減も実現しました。さらに、全出入口扉にドア開閉チャイムの設置や冷房装置にオゾン層破壊係数ゼロの近代替冷媒の新規採用など、バリアフリーや環境対策にも貢献しています。<4両編成12本(48両)、8両編成9本(72両)>

- 製造初年/2002年2月 ●定員/122人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc, Muc1, Msc1)・32.0t(Muc, Msc, M1uc1, Msc1)・31.0t(Mu, Ms, M2)・30.0t(M1u, M1s, M2u, M2s)・27.0t(Tpu, Tps, Tp)・24.0t(T)・23.0t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW(近代替冷媒使用)
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

2100形



1998年に2000形の後継車として登場した2扉オールクロスシート車両です。扉間のクロスシートは京急では初めての転換シートです。全出入口扉上部には車内案内表示器を採用し、連結間外観を採用するなど、バリアフリー対策にも配慮しており、主にウィング号、快特に使用しています。VVVF装置、主電動機は海外製品を採用していましたが、機器更新の際に国産品に置換えています。2013年度より更新工事を行い、LED照明を採用するなどのリニューアルを図っています。<8両編成10本(80両)>

- 製造初年/1998年2月 ●定員/111人(先頭車)・120人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc)・30.5t(Mu, Ms)・24.5t(T)・26.5t(Tp) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/先頭車:18,170×2,830×3,645mm・中間車:18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

新1000形
(ステンレス)



600形



1994年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。足回りは省エネルギー、省メンテナンスを図ったVVVF制御方式を採用しています。製造当初は、画期的な3扉オールクロスシートを採用しましたが、2005年からは現在の二ーズにあわせ、ドア間の座席をロングシートに改造する工事が実施され、2009年からは更新工事を行い、リニューアルを図りました。<4両編成6本(24両)、8両編成8本(64両)>

- 製造初年/1994年3月 ●定員/118人(先頭車)・128人(中間車) ●自重/34.0t(Muc, Msc)・31.5t・32.5t(Mu, Ms)・23.5t(T)・25.5t(Tp1, Tp2) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/180kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.92m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

2000形



1983年に2扉オールクロスシートで登場し、ブルーリボン賞を受賞した車両です。2100形の登場により1998年から3扉化を行い、ドア間の座席をロングシートに改造するなど、通勤車仕様となりました。また、バリアフリー化工事として、先頭車に車椅子スペースを設けました。<4両編成1本(4両)、8両編成5本(40両)>

- 製造初年/1982年12月 ●定員/128人(先頭車)・132人(中間車) ●自重/M35t T29t ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/先頭車:18,500×2,799×3,580mm・中間車:18,000×2,799×3,580mm ●主電動機/120kW ●制御装置/電動カム軸制御(界磁チョッパ式) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.83m/S²・減速度0.97m/S²(常用)

1500形
(VVVF制御車)



京急電鉄で初めて交流モーターを用いたVVVF制御方式を採用した、省エネルギー、省メンテナンス車両で1990年に登場しました。ブレーキを極力電力回生ブレーキとして一層の省エネルギーを図った新しいブレーキ方式を採用しました。2006年から更新工事を行い、リニューアルを図りました。また、界磁チョッパ車からの改造車両も加わり、さらなる省エネルギー化を図っています。<6両編成15本(90両)、8両編成5本(40両)>

- 製造初年/1990年8月 ●定員/124人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/32.0t 31.5t(M1c, M2c)・31.5t 31.0t(M1, M2)・24.5t 25.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/120kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

1500形
(界磁チョッパ制御車)



第2世代の都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れ車両として、界磁チョッパ制御を採用し、1985年に登場しました。1988年からはアルミ合金製車体を採用し軽量化を図りました。2001年から更新工事を行い、リニューアルと同時にバリアフリー化工事も行っています。<4両編成7本(28両)>

- 製造初年/1985年3月 ●定員/125人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/35t(鋼製車)・31.5t(先頭M車)・31.0t(中間M車) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/100kW ●制御装置/電動カム軸制御(界磁チョッパ式) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度120km/h 加速度0.972m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

800形



1978年に3両固定編成で登場した4扉車です。京急電鉄初の右手ワンハンドルマスコンやFRP(ガラス繊維強化プラスチック)を多用した室内など、以後の鉄道車両に多大な影響を与えました。また、界磁チョッパ制御、電力回生ブレーキなど省エネルギー車両の先駆けとなり、1979年にローレル賞を受賞しています。現在では、すべて2両固定編成化され、主に普通運用に使用しています。<6両編成12本(72両)>

- 製造初年/1978年12月 ●定員/138人(先頭車)・144人(中間車) ●自重/35t ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/先頭車:18,500×2,798×3,580mm・中間車:17,860×2,798×3,580mm ●主電動機/100kW ●制御装置/電動カム軸制御(界磁チョッパ式) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/集中式41.9kW・分散式9.9kW×4台 ●性能/最高速度100km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

※形式毎編成数は2016年3月31日現在

■主要保線機械

Table with 3 columns: 名称, 用途, 台数. Lists maintenance equipment like モーターカー, マルチプルタイタンパー, etc.

Table with 3 columns: 名称, 用途, 台数. Lists maintenance equipment like 遠隔制御車, 軌道検測車, etc.



軌道検測車「EM30」、マルチプルタイタンパー「08-16U」、パラストフィニッシャー「802B号車」、モーターカー「105D号車」、遠隔制御車「RC701C号車」、レール削正車「RG301」

■土木設備

Table with 2 columns: 設備名, 数量. Lists infrastructure like まくら木の敷設延長, 橋梁, etc.

- 1.橋梁の内訳 (1) 河川に架かるもの: 77か所, (2) 道路に架かるもの: 246か所, 2.主な橋梁, 3.主なトンネル, 4.PCまくら木敷設総数

■運転用・付帯用電力使用量推移

Table with 8 columns: 年度 (2009-2015), 運転用電力使用量, 付帯用電力使用量, 受電電力使用量.

■在籍車両数 (2016年3月31日現在)

Table with 4 columns: 電動客車 (形式, 在籍車両数), 電動貨車 (形式, 在籍車両数), 客車計, 総車両数.

■車両数の変遷

Table with 8 columns: 年度 (2009-2015), 電動客車, 付随客車.

||||| 鉄道事業の主な資料

■普通運賃・通勤定期運賃主要駅早見表 (2014年4月1日適用)

Large fare table with columns for stations (品川, 平和島, 京急蒲田, etc.) and rows for fare types (普通運賃, 通勤定期運賃).

■線別区間距離

線名	区間	区間距離
本線	泉岳寺～浦賀	56.7km
空港線	京急蒲田～羽田空港国内線ターミナル	6.5km
大師線	京急川崎～小島新田	4.5km
逗子線	金沢八景～新逗子	5.9km
久里浜線	堀ノ内～三崎口	13.4km
計		87.0km

■所要時分の目安（日中標準）

2016年3月31日現在
(単位:分)

駅名	京急蒲田	羽田空港国内線ターミナル	京急川崎	横濱	上大岡	金沢文庫	横須賀中央	京急久里浜	三浦海岸	三崎口
品川	6	11	14	10	16	26	33	43	52	63
京急蒲田		5	8	3	9	19	26	36	45	56
羽田空港国際線ターミナル			2	12	23	35	47	—	—	—
羽田空港国内線ターミナル			16	28	39	52	—	—	—	—
京急川崎				6	15	23	33	42	52	55
横濱					8	15	25	35	45	48
上大岡						6	16	25	36	39
金沢文庫							9	18	28	31
横須賀中央								8	19	22
京急久里浜									8	11
三浦海岸										2

※日中、快特を利用の場合。
 ※羽田空港国内線ターミナル⇄横濱方面は、✕エアポート急行を利用の場合。
 ※品川⇄羽田空港方面は、✕エアポート快特を利用の場合。

■駅別1日平均乗降人員

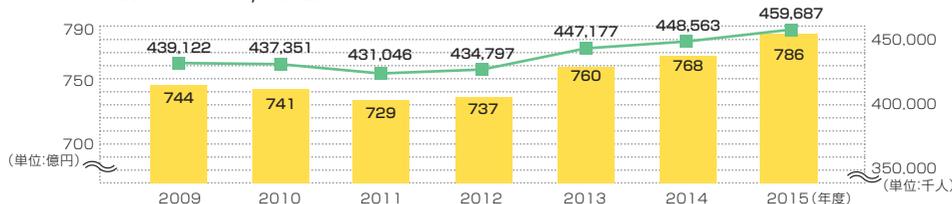
2015年度(単位:人)

駅名	乗降人員	順位	開業日	駅名	乗降人員	順位	開業日
泉岳寺	182,372	1	S43. 6.21	横濱	316,478	1	S 5. 2. 5
品川	272,500	2	S 8. 4. 1	戸部	15,612	46	S 6.12.26
北品川	9,264	59	M37. 5. 8	日ノ出町	27,629	22	S 6.12.26
新馬場	15,704	45	S51.10.15	黄金町	22,035	28	S 5. 4. 1
青物横丁	40,067	13	M37. 5. 8	南太田	17,237	41	S 5. 4. 1
鮫洲	10,306	56	M37. 5. 8	井土ヶ谷	28,257	21	S 5. 4. 1
立会川	17,871	39	M37. 5. 8	弘明寺	29,935	18	S 5. 4. 1
大森海岸	14,391	50	M34. 2. 1	上大岡	143,299	3	S 5. 4. 1
平和島	46,493	10	M34. 2. 1	屏風浦	17,764	40	S 5. 4. 1
大森町	20,039	33	S27.12.15	杉田	34,648	14	S 5. 7.10
梅屋敷	15,188	48	M34. 2. 1	京急富岡	23,432	26	S 5. 7.10
京急蒲田	53,397	9	M34. 2. 1	能見台	31,598	15	S19. 5.10
雑色	30,311	17	M34. 2. 1	金沢文庫	69,870	6	S 5. 4. 1
六郷土手	15,221	47	M34. 2. 1	金沢八景	57,353	8	S 5. 4. 1
京急川崎	122,931	4	M35. 9. 1	追浜	41,160	12	S 5. 4. 1
八丁畷	14,446	49	T 5.12.25	京急田浦	13,180	51	S 5. 4. 1
鶴見市場	19,779	34	M38.12.24	安針塚	4,874	71	S9.10. 1
京急鶴見	31,068	16	M38.12.24	逸見	5,235	69	S 5. 4. 1
花月園前	6,342	68	T 3. 4.12	汐入	22,127	27	S 5. 4. 1
生麦	28,313	20	M38.12.24	横須賀中央	67,278	7	S 5. 4. 1
京急新子安	8,371	61	M43. 3.27	県立大学	12,475	54	S 5. 4. 1
子安	7,686	62	M38.12.24	堀ノ内	12,508	52	S 6. 4. 1
神奈川新町	18,310	37	T 4. 8.21	京急大津	5,109	70	S 5. 4. 1
仲木戸	21,904	29	M38.12.24	馬場海岸	9,729	57	S 5. 4. 1
神奈川	4,741	72	S 5. 3.29	浦賀	21,750	30	S 5. 4. 1

※泉岳寺駅乗降人員は都営線乗り入れ旅客を含むため、順位には入れていません。

全線合計…2,535,075

■年度別旅客収入/輸送人員 (定期外旅客/定期旅客合計)



■運賃のご案内

①運賃の年齢区分

年齢	区分	運賃
12歳以上	大人	大人運賃 ただし、12歳の小学生は小児となります。
6歳以上 12歳未満	小児	小児運賃 大人運賃の半額 ※きっぷの運賃は10円未満切り上げ、ICカードの運賃は1円未満切り捨て
1歳以上 6歳未満	幼児	無料 ただし、乗車券(団体乗車券を除く)をお持ちの大人または小児に同伴される2人までの幼児に限りです。 なお、同伴で3人目からの幼児または幼児だけでご乗車される場合は小児運賃となります。
0歳以上 1歳未満	乳児	無料

②1円単位の運賃となる場合

1枚のICカードを利用して入出場した場合、1円単位の運賃が適用されます。

③10円単位の運賃となる場合

現金・ICカード(SF)を利用して、きっぷを購入する場合や、きっぷ・磁気定期券で入場し、のりこし精算する場合は、10円単位の運賃が適用されます。

■きっぷのご案内

①きっぷの販売 きっぷは、各駅の自動券売機で販売しています。

- 片道券 購入当日のみ有効です。都営地下鉄線、京成線、北総線、JR線(品川駅乗り換えと横濱駅乗り換えおよび八丁畷駅乗り換えがあります)、東急線、みなとみらい線、相鉄線、東京モノレール線、東京湾フェリー(金谷港:2日間有効)への連絡乗車券も販売しています。
- 往復券 京急線内の同じ駅間を往復される場合、便利な往復券を販売しています。運賃は片道普通運賃の2倍で、有効期間は購入日から2日間です。
- 回数券 京急線内の同じ区間を繰り返し乗車される場合は、回数券がお得です。運賃は普通運賃の10倍で、有効期間は購入日から3か月です。回数券には次の3種類があります。

- 普通回数券 11枚で、有効期間内ならご利用いただける日時の制限はありません。
- 時差回数券(オフピークチケット) ※小児用はありません。 12枚で、平日ダイヤ実施日の10時～16時までの間に改札機を入場される場合と、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。
- 土休日割引回数券(サンキューチケット) ※小児用はありません。 14枚で、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。 ※回数券は、購入駅のみ販売します。

②定期券の販売

- 定期券 同じ区間を長い期間繰り返し利用される場合は、定期券が便利です。定期券の運賃は10円単位の運賃となります。定期券には、次の種類があります。

- 【種類】(1)通勤定期券 (2)通学定期券
 【期間】1か月、3か月、6か月
 【発売日】(1)新規にお求めになる場合:有効開始日の14日前から販売いたします。
 (2)継続定期乗車券(日にちがつながる場合):定期券の期限が切れる14日前(使用開始日から起算)から販売いたします。

※定期券(磁気式)を紛失された場合は、再発行しません。保管には十分ご注意ください。

●定期券の発売箇所と発売時間

- 京急線全駅(泉岳寺駅を除く)の「定期券」表示がある自動券売機 販売時間:始発～終車(一部の駅を除く)
 ※通学定期券を新規に購入する場合や、学年をまたいで継続される場合は、係員にお知らせください。通学証明書を確認させていただきます。
- 定期券窓口(販売時間:8時～20時)

○品川駅 ○横濱駅 ○上大岡駅 ○横須賀中央駅

※払い戻しは、京急線全駅(泉岳寺駅を除く)および上記の定期券窓口で行っています。

③途中下車

片道券、往復券、回数券では途中下車できません。途中の駅で下車されると、前途は無効となり、きっぷは回収させていただきます。

④おトクなきっぷ

京急線各駅からのきっぷに観光・レジャー施設の優待特典がついたものや、羽田空港アクセスに便利なきっぷなど、様々なおトクなきっぷがあります。

●京急沿線を満喫できるおトクなきっぷ

		料金(大人)	販売箇所	有効期間
 <p>みさきまぐろきっぷ</p>	乗車駅から三崎口駅までの京急線往復乗車券と三浦・三崎エリア指定区間の京急バスフリー乗車券、厳選したまぐろ料理が楽しめる食事券とレジャー施設またはお土産の利用券がセットになった人気のきっぷです。三浦・三崎をまるごとお得に楽しめます。	品川駅・京急蒲田駅・京急川崎駅から 3,060円 横浜駅から 2,960円 上大岡駅・金沢文庫駅から 2,850円	京急線各駅 (泉岳寺駅・三崎口駅を除く)	1日
 <p>よこすかグルメきっぷ</p>	京急線の往復乗車券と京急線・京急バスの指定エリア内フリー区間乗車券に、ヨコスカネイビーバーガーまたはよこすか海軍カレーの選べる食事券がセットになったうれしいきっぷです。周辺施設での優待特典もあります。	品川駅・京急蒲田駅・京急川崎駅から 2,030円 横浜駅から 1,930円 上大岡駅・金沢文庫駅から 1,780円 フリー区間の駅から 1,650円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日
 <p>葉山女子旅きっぷ</p>	乗車駅から新逗子駅までの京急線往復乗車券と逗子・葉山指定エリア内の京急バスフリー乗車券、選べる逗子・葉山ごはん券、選べるおみやげ券がセットになった、葉山を1日楽しめるきっぷです。	品川駅・京急蒲田駅・京急川崎駅から 3,000円 横浜駅から 2,800円 上大岡駅・横須賀中央駅から 2,700円	京急線各駅 (泉岳寺駅・新逗子駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅を除く)	1日
<p>三浦半島 1DAYきっぷ& 2DAYきっぷ</p>	有効期間内、三浦半島の指定エリア内の京急線と京急バスが自由に乗り降りできるきっぷです。優待特典を使って、1日もしくは2日間、たっぷり楽しめます。	1DAY/2DAY 品川駅から 1,920円/2,030円 横浜駅から 1,410円/1,620円 フリー区間の駅から 1,090円/販売なし	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日 or 2日
<p>東京1DAYきっぷ</p>	京急線往復割引乗車券と都営地下鉄線・都電・都バス・日暮里舎人ライナーが乗り放題のフリー区間1日乗車券のセットで、東京を満喫できるきっぷです。	品川駅から 900円 横浜駅から 1,130円 上大岡駅から 1,300円 横須賀中央駅から 1,700円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日
<p>横浜1DAYきっぷ</p>	京急線往復割引乗車券と横浜市営地下鉄線・市営バス・みなとみらい線が乗り放題のフリー区間1日乗車券のセットで、人気の横浜を自在に散策できるきっぷです。	品川駅から 1,110円 横浜～上大岡駅間各駅から 840円 金沢文庫駅から 940円 横須賀中央駅から 1,060円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日
<p>弘明寺 みうら湯きっぷ</p>	乗車駅から弘明寺駅までの往復割引乗車券と黒湯天然温泉を使った日帰り入浴施設「みうら湯」の入浴券がセットになったきっぷです。	品川駅から 1,220円 横浜駅から 930円 上大岡駅から 820円 金沢文庫駅から 1,010円	京急線各駅 (泉岳寺駅・弘明寺駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅を除く)	2日
<p>東京湾 フェリー往復きっぷ</p>	乗車駅から京急久里浜駅・久里浜港までの京急線&京急バスの往復割引乗車券と、東京湾フェリー往復乗船券がセットになったきっぷです。南房総エリアの周遊に便利です。	品川駅から 2,930円 横浜駅から 2,290円 上大岡駅から 2,170円 横須賀中央駅から 1,880円	京急線各駅 (泉岳寺駅・京急久里浜駅を除く)	4日

●羽田をもっと便利に使えるおトクなきっぷ

		料金(大人)	販売箇所	有効期間
<p>京急ANAの マイルきっぷ</p>	全国17空港に設置している自動券売機で販売する京急線羽田空港国内線ターミナル～品川駅までの片道または往復きっぷです。購入時に、ANAカードまたはANAマイレージクラブカードを投入するか、ANAマイレージクラブお客様番号(10桁)を入力すると、ANAのマイルが貯まります。	片道 410円 (30マイル付与) 往復 820円 (70マイル付与)	各地空港 (全国17空港)	片道:発行日 当日限り 往復:発行日 から10日
<p>京急羽田・ ちか鉄共通バス</p>	京急線羽田空港国内線ターミナル駅または羽田空港国際線ターミナル～泉岳寺駅の片道乗車券と、都営地下鉄線、東京メトロ全線の1日乗車券がセットになったきっぷです。話題のスポットが目白押しの東京を、リーズナブルに楽しめます。	1,310円	京急線羽田空港国内線ターミナル駅・国際線ターミナル駅・各地空港(全国17空港)	1日
<p>東京トラベル 1DAY& 2DAYパス</p>	京急線羽田空港国内線ターミナル駅または羽田空港国際線ターミナル～泉岳寺駅の片道乗車券と、都営地下鉄線のフリー乗車券に、東京の人気施設・スポットの割引特典がセットになったきっぷです。京急線品川～泉岳寺駅もフリー区間となります。	1DAY 800円 2DAY 1,200円	京急線羽田空港国内線ターミナル駅・国際線ターミナル駅・各地空港(全国17空港)	1日 or 2日
<p>羽田京急きっぷ</p>	京急線品川(泉岳寺)駅または横浜～羽田空港国内線ターミナル駅の往復割引乗車券と、各地空港～各都市を結ぶ空港連絡バスの往復乗車券がセットになった割引きっぷです。1名往復・2名片道、いずれにも利用できます。	利用空港・バスの行き先によって異なる	京急線品川駅・横浜駅・京急観光旅行センター(品川、ポルタ)、川崎アゼリアほか各エリアの販売窓口	指定乗車日 から10日
<p>羽田空港 往復きっぷ</p>	期間限定で販売する京急線羽田空港国内線ターミナル駅～都営地下鉄線各駅相互間の往復割引きっぷです。旅行や帰省に便利です。	1,020円	都営地下鉄各駅(押上駅・目黒駅・白金台駅・白金高輪駅・新宿線新宿駅を除く)および京急線羽田空港国内線ターミナル駅	発売日から 9日

Column

全国17空港の自動券売機を「けいきゅん」型に一新

各地の空港から羽田に向かうお客さまがスムーズに都内へ移動できるように、京急電鉄では、全国17空港に自動券売機を設置して乗車券を販売し、京急線の利用促進を図っています。2016年3月には、この自動券売機のデザインを京急電鉄のマスコットキャラクターである「けいきゅん」型に一新しました。空港内で券売機が見つ付けやすくなるとともに、首都圏以外のエリアにおける京急線の認知度向上にも一役買っています。



<対象空港>新千歳空港、函館空港、小松空港、大阪国際(伊丹)空港、徳島空港、高松空港、岡山空港、米子空港、広島空港、大分空港、北九州空港、福岡空港、長崎空港、熊本空港、鹿児島空港、宮崎空港、那覇空港

Column

海外からのお客さま向けのおトクなきっぷ
「KEIKYU Misaki Maguro Pass」が登場

2015年9月、訪日外国人限定のおトクなきっぷ「KEIKYU Misaki Maguro Pass」の販売を開始しました。有効期間は2日間、京急線全線フリー乗車券と京急バス金沢八景以南フリー乗車券、まぐろ料理食事券とレジャー施設利用券がセットになっており、品川駅周辺および都内に宿泊する海外からのお客さまに、三浦・三崎エリアの魅力を伝え、首都圏観光の新たな目的地として楽しんでいただくことが目的です。今後も継続的に、海外からのお客さまに対しても、鉄道利用促進を図ります。



■ 駅所在地一覧

駅名	郵便番号	所在地
品川駅	108-0074	港区高輪3-26-26
北品川駅	140-0001	品川区北品川1-1-4
新馬場駅	140-0001	品川区北品川2-18-1
青物横丁駅	140-0004	品川区南品川3-1-20
鮫洲駅	140-0011	品川区東大井1-2-20
立会川駅	140-0011	品川区東大井2-23-1
大森海岸駅	140-0013	品川区南大井3-32-1
平和島駅	143-0016	大田区大森北6-13-11
大森町駅	143-0015	大田区大森西3-24-7
梅屋敷駅	144-0052	大田区蒲田2-28-1
京急蒲田駅	144-0052	大田区蒲田4-50-10
雑色駅	144-0055	大田区仲六郷2-42-1
六郷土手駅	144-0055	大田区仲六郷4-27-11
京急川崎駅	210-0006	川崎市川崎区砂子1-3-1
八丁畷駅	210-0022	川崎市川崎区池田1-6-1
鶴見市場駅	230-0025	横浜市鶴見区市場大和町7-1
京急鶴見駅	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央1-30-22
花月園前駅	230-0052	横浜市鶴見区生麦5-1-3
生麦駅	230-0052	横浜市鶴見区生麦3-1-35
京急新子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通3-289
子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通1-46
神奈川新町駅	221-0041	横浜市神奈川区龜住町19-1
仲木戸駅	221-0044	横浜市神奈川区東神奈川1-11-5
神奈川駅	221-0057	横浜市神奈川区青木町1-1
横浜駅	220-0011	横浜市西区高島2-16-1
戸部駅	220-0041	横浜市西区戸部本町48-11
日ノ出町駅	231-0066	横浜市中区日ノ出町1-31
黄金町駅	232-0005	横浜市中区白金町1-1
南太田駅	232-0006	横浜市中区南太田1-25-1
井土ヶ谷駅	232-0052	横浜市中区井土ヶ谷中町161
弘明寺駅	232-0067	横浜市中区弘明寺町山下267
上大岡駅	233-0002	横浜市中区上大岡西1-6-1
屏風浦駅	235-0023	横浜市磯子区森3-18-6
杉田駅	235-0033	横浜市磯子区杉田2-1-9
京急富岡駅	236-0052	横浜市金沢区富岡西7-1-1
能見台駅	236-0053	横浜市金沢区能見台通2-1

駅名	郵便番号	所在地
金沢文庫駅	236-0016	横浜市金沢区谷津町384
金沢八景駅	236-0027	横浜市金沢区瀬戸15-1
追浜駅	237-0064	横須賀市追浜町3-3
京急田浦駅	237-0076	横須賀市船越町5-2
安針塚駅	237-0072	横須賀市長浦町2-32
逸見駅	238-0045	横須賀市東逸見町2-18
汐入駅	238-0042	横須賀市汐入町2-41
横須賀中央駅	238-0007	横須賀市若松町2-25
県立大学駅	238-0012	横須賀市安浦町2-28
堀ノ内駅	238-0014	横須賀市三春町3-45
京急大津駅	239-0808	横須賀市大津町1-11-19
馬堀海岸駅	239-0802	横須賀市馬堀町3-20-1
浦賀駅	239-0822	横須賀市浦賀町1-1-1
糞谷駅	144-0034	大田区西糞谷4-13-19
大鳥居駅	144-0034	大田区西糞谷3-37-18
穴守稲荷駅	144-0043	大田区羽田4-6-11
天空橋駅	144-0041	大田区羽田空港1-1-2
羽田空港国際線ターミナル駅	144-0041	大田区羽田空港2-6-5
羽田空港国内線ターミナル駅	144-0041	大田区羽田空港3-3-4
港町駅	210-0807	川崎市川崎区港町1-1
鈴木町駅	210-0801	川崎市川崎区鈴木町2-2
川崎大師駅	210-0802	川崎市川崎区大師駅前1-18-1
東門前駅	210-0818	川崎市川崎区中瀬3-23-10
産業道路駅	210-0811	川崎市川崎区大師河原2-4-25
小島新田駅	210-0822	川崎市川崎区田町2-13-5
六浦駅	236-0032	横浜市金沢区六浦5-1-1
神武寺駅	249-0003	逗子市池子2-11-2
新逗子駅	249-0006	逗子市逗子5-1-6
新大津駅	239-0808	横須賀市大津町4-7-1
北久里浜駅	239-0807	横須賀市根岸町2-29-1
京急久里浜駅	239-0831	横須賀市久里浜4-4-10
YRP野比駅	239-0841	横須賀市野比1-9-1
京急長沢駅	239-0842	横須賀市長沢1-35-1
津久井浜駅	239-0843	横須賀市津久井4-2-1
三浦海岸駅	238-0101	三浦市南下浦町上宮田1497
三崎口駅	238-0111	三浦市初声町下宮田495

乗合・貸切自動車事業 (バス事業)

バス事業は、京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バスなどからなる計6社で構成され、主な運行エリアは、東京都内から三浦半島全域です。路線バスのほか、羽田空港、成田空港への空港リムジンバスや、アクアラインバス、全国の主要都市を結ぶ高速バス、貸切バスも運行しています。

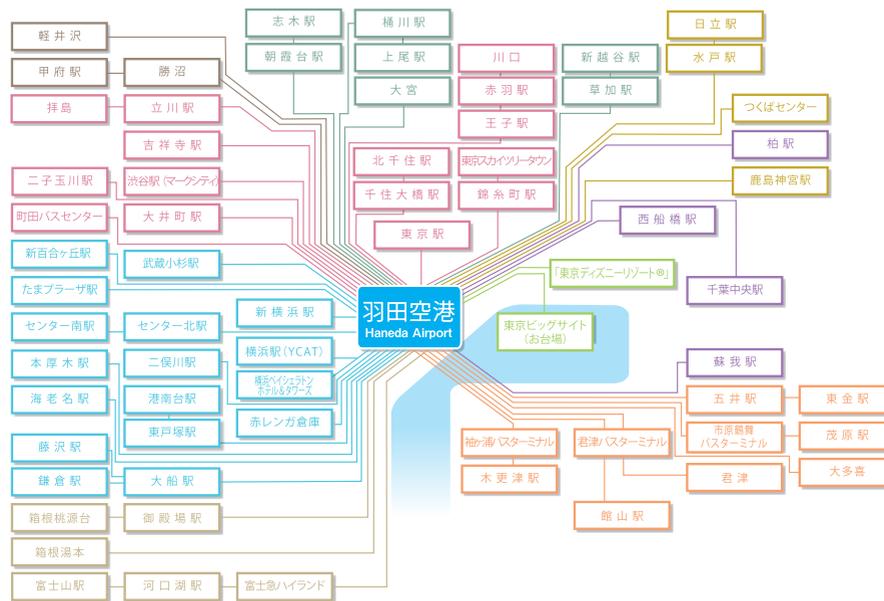
羽田空港直結でますます便利に「空港リムジンバス」

■ 羽田から各地へ48路線運行

1968年に横浜～羽田空港線の運行を開始した空港リムジンバスは、現在では羽田空港と各地を結ぶ48路線のほか、横浜駅東口(YCAT)と成田空港間の運行も行っています。羽田空港の国際線化や発着枠拡大にともなう観光需要増を取り込むため、東京スカイツリー®や富士山、軽井沢、箱根、御殿場など人気スポットへの直通バスを運行、2015年12月からは羽田空港への直接の交通手段のない大多喜町から、2016年7月からは桶川駅からの路線を新設しました。また、お客さまの手荷物の多さに配慮し、大型のトランクスペースを装備した車両を採用、ゆったりとした乗り心地を実現しています。さらに、パソコンや携帯電話などから運行状況を確認できるバスロケーションシステムの導入や、羽田空港国際線の24時間化に伴う深夜バス路線の充実など、より快適・便利にバスをご利用いただくためのサービス向上に取り組んでいます。



■ 空港リムジンバス



■羽田空港国際化に伴った取り組み

羽田空港国際化に伴い、バス車内放送の多言語化や、国際線定期便の深夜・早朝時間帯路線の拡充など、様々な取り組みを行っています。

①バス車内放送の多言語化

バス車内アナウンスを英語・中国語・韓国語の各言語で対応しています。

③案内カウンター／バス総合案内所の設置

バス乗車券の販売とご案内を中心とした案内カウンターを設置しています。

⑤京浜急行バスホームページの多言語化

路線や時刻表などの確認ができるホームページも英語・中国語（簡・繁）・韓国語で対応しています。

詳細はwww.hnd-bus.com

⑦予約乗車券をコンビニで新規予約・発券が可能に

ローソン、ミニストップ設置のLoppi、サークルKサンクスのKステーションにて、予約乗車券の新規予約と同時発券が可能になりました。

■車両の概要

空港リムジンバスの主力車両は、収容力を重視した60人乗り観光バスタイプの大型ハイデッカー車を採用しています。路線によっては、トイレ付き車両などを採用し、長時間の移動に備えています。60人乗り大型ハイデッカー車は、床下大型トランクや車内拡大式荷物棚、インターネット接続サービスも備えた充実の車両です。標準的な外装は、ベースの白色に赤色でラインが描かれ、空港リムジンバスの特徴である“KEIKYU LIMOUSINE”のロゴと“カモメ”が鮮やかにペイントされています。



||||| アクアラインバス・成田空港リムジンバス・中距離バス

「東京湾アクアライン」を走行するアクアラインバスは、通勤やレジャー、ショッピングの足として、品川・川崎・横浜から房総各地へのアクセスが大変便利です。2012年にオープンした千葉県の大型商業施設へのダイレクトアクセスも可能になり、好評いただいています。また、横浜・川崎・蒲田・羽田空港から東京ディズニーリゾート®や、横浜・羽田空港から台場へも直結。2015年7月からは、観光スポットを結ぶ台場から東京スカイツリー®までの運行を開始しました。大きな荷物を持つの乗り換えがなく、おさま連れのお客さまにも人気です。

■高速バス

東京・横浜と各地を充実のネットワークでつなぎます。独立3列シートやリクライニング、全席禁煙の採用で、お客さまの旅を快適にサポートします。

②バス乗り場電光掲示板の多言語化

電光掲示板を多言語化し、受け答え対応可能なスタッフを配置しました。

④深夜早朝時間帯の運行

鉄道が運行していない深夜、早朝時間帯に12路線（うち一般2路線）を運行しています。

⑥多言語版案内冊子の配布

各路線ごとに表示されているQRコードからホームページの多言語サイトにリンクし、常に最新の時刻表を閲覧できます。

⑧インターネット予約の決済手段を追加

クレジットカード決済（VISA、MASTER）、ネットバンキング、銀行ATM決済、セブン-イレブン決済を追加しました。

横浜駅・川崎駅・品川駅・お台場路線マップ



||||| 一般路線バス

■一般路線バスの取り組み

観光地・台場、多様な工場が集積する京浜工業地帯や羽田空港の東京湾岸エリアから三浦半島に至る神奈川県の湾岸エリアには、地域の原動力となる京急グループの一般路線バスのネットワークが、きめ細やかに網羅・整備されています。ビジネスパーソンを含むお客さまの生活の足としての役割はもちろん、観光スポットへのお供として、今日も湾岸一帯で安全性を追求した輸送サービスを展開しています。

■バスロケーションシステム

携帯電話・スマートフォン・パソコンでバスの現在位置が確認できるバスロケーションシステムは、既に導入済みの東京地区に加え、2015年3月から神奈川県の一部路線でも導入しました。また、一部停留所には接近表示機を設置し、バス待ちのイライラの解消を図っています。なお、2016年度には一般路線バス全線での提供を予定しており、さらなる利便性とサービスの向上を図ります。



■殿町地区・浮島中央地区への運行

川崎鶴見臨港バスは、国際戦略総合特区に指定された殿町地区の利便性向上のため、京急電鉄と川崎市が整備した京急大師線産業道路駅前のバスターミナルから、殿町小島線、浮島中央線の2路線を運行しています。今後も同地区の開発にあわせた路線増強や再編を進めてまいります。

■リフト付空港リムジンバスの導入

京浜急行バスでは、国内初となる、車いすに座ったままご乗車いただけるリフト付空港リムジンバスを導入し、2016年3月から横浜～羽田空港線にて実証運行を開始しています。

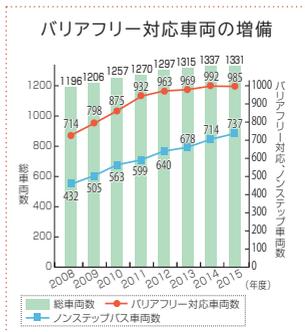


■バリアフリー対応

ご高齢の方・小児・妊婦・障がいのあるお客さまを含めた、すべてのお客さまが快適に安心して利用できるよう、段差のないノンステップバスを中心に、スロープ板やニーリング機能（乗降時に乗降口側の車高を下げて乗り降りしやすくする機能）付のバスを積極的に導入し、バリアフリー化を推進しています。



ノンステップバス



総車両数は、京浜急行バス各社、臨港バスの総数です。総車両数は、空港・高速・貸切バス車両などを含みます。

■省エネ車両・低公害車両

京浜急行バスグループでは、排出ガスによる大気汚染防止策として、環境対策に適合したハイブリッドバス、CNGバスを以前から導入してきました。さらに、世界でもっとも厳しいとされる基準「平成21年（ポスト新長期）排出ガス規制」に適合したバス車両に加え、「平成27年度重量車燃費基準」をクリアした低燃費バスやアイドリングストップバスも積極的に導入。排出ガスの削減に努めています。



■電気バス（川崎スマートEVバス）

川崎鶴見臨港バスでは、国土交通省の推進する「地域交通グリーン化事業」および川崎市の推進する「川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業」の一環として、川崎病院線の一部を電気バス（川崎スマートEVバス）で運行しています。電気バスは従来のディーゼルバスと比較して、40%のCO₂を削減することができるなど、環境対策に非常に適しています。また、災害時には、バス車内に取り付けたコンセントから給電をすることができ、バックアップ電源として使用することが可能です。



タクシー事業

タクシー事業は、首都圏と三浦半島全域・鎌倉地区に6社7営業所を構え、事業を展開しています。環境やお客さまのニーズに対して、スピーディに対応するべく、スマートフォン用タクシー配車アプリや交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入し、お客さまの日常の足として便利にご利用いただいています。

||||| お客さまの利便性向上を目指して

■お客さまニーズに対応

京急タクシーグループ（京急交通、京急横浜自動車、京急文庫タクシー、京急葉山交通、京急中央交通、京急三崎タクシー）では、京急沿線で常に安全な運行をこころげ、安全・安心・快適にお客さまを目的地までお届けできるように、様々な取り組みを行っています。

① スマホ用タクシー配車アプリ『ココきて・TAXI』『スマホ de タックン』

京急交通<品川営業所>では、2013年5月からスマートフォン用タクシー配車アプリ『ココきて・TAXI』のサービスを開始しました。また、2015年8月からは新たに『スマホ de タックン』にも参画し、運用を開始しています。これにより、お客さまのニーズに合わせ、より便利で簡単に近くのタクシーを呼ぶことができるようになりました。また、タクシーの予約配車や料金検索など、様々なサービスをさらに便利にご利用いただけます。



② 決済サービスの向上

京急タクシーグループは、全車両（419台）へ交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入しています。また、交通系ICカードの全国相互利用サービス開始に伴い、Suica、kitaca、TOICA、manaca、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCAも電子マネーとしてご利用いただけます。ほかにも、京急プレミアムポイントサービス、クレジットカード決済など、多様なニーズにお応えし、お客さまの利便性の向上に努めています。



■空港アクセスを強化

京急タクシーグループでは、東京エリア～横須賀・三浦エリアまで「定額制タクシー」を導入しています。定額制タクシーとは、羽田空港・成田空港ターミナルと目的地を結ぶ2点区間において、あらかじめ明示された定額運賃でタクシーを利用できるサービスです。降車するまで運賃がわからないメーター料金では不安で、タクシー利用を控えられていたお客さまも、運賃を明示する定額制タクシーで、お気軽にご利用いただけます。

2014年12月からは、羽田空港国際線ターミナルを発着する定額制タクシーの利用対象エリアが拡大。横須賀市内全域と三浦市内全域が加わり、東京・川崎・横浜と三浦半島全域をカバーしました。2015年4月からは、国際線だけでなく国内線ターミナルも対象となり、羽田空港へのアクセスが、ますます便利になりました。



羽田空港発着の定額制タクシー 2014年12月から横須賀・三浦エリア新規拡大

横須賀市 追浜・田浦地区
定額運賃 11,500円
深夜早期割増運賃 13,500円

横須賀市 逸見・本庁・衣笠地区
定額運賃 14,200円
深夜早期割増運賃 16,900円

横須賀市 西地区
定額運賃 15,300円
深夜早期割増運賃 18,100円

横須賀市 大津・浦賀・久里浜・北下浦地区
定額運賃 16,000円
深夜早期割増運賃 18,900円

三浦市全域
定額運賃 17,400円
深夜早期割増運賃 20,600円

既存エリア(参考)

【東京エリア】江戸川区、台東区、墨田区、文京区、千代田区、新宿区、渋谷区、足立区、葛飾区、荒川区、北区、豊島区、中野区、杉並区、世田谷区、板橋区、練馬区、武蔵野市、三鷹市
【横浜エリア】港北区、神奈川区(金港町、栄町、大野町のみ)、西区、南区、緑区、磯子区、旭区、保土ヶ谷区、都筑区、港南区、戸塚区、金沢区、泉区、青葉区、瀬谷区、栄区
【川崎エリア】宮前区、高津区、多摩区、麻生区
【鎌倉・逗子・葉山エリア】鎌倉市、逗子市、三浦郡葉山町

■観光タクシー(横浜観光・鎌倉観光)

海外のお客さまからも人気の観光地、横浜と鎌倉において、貸切観光や個人旅行の足として便利な「観光タクシー」を導入しています。横浜観光タクシーでは、普通車タクシーで名所を巡る2時間・2時間半・3時間のコースをご用意しています。鎌倉観光タクシーでは、普通車タクシーに加え、7人乗り・9人乗りのジャンボタクシーを配備。2時間と3時間の推奨コースがあり、鎌倉のまちを知り尽くしたドライバーが、お客さまのご要望に応じて、様々な見どころをご案内しています。



不動産事業

- 不動産販売業
- 不動産賃貸業

不動産販売業

沿線の宅地造成を行うとともに、戸建住宅・マンションなどの建設から販売・住み替え支援・リフォームなどをトータルに手がけています。

住宅事業の強化

■京急グループ住宅事業ブランドを「PRIME」に統一

京急グループの住宅事業ブランドを「PRIME」に統一。従来は物件ごとに物件名称やロゴマークを設定していましたが、日本語で“最高の”“最良の”という意味である「PRIME」にブランドを統一し、プライムブランドのロゴマークを新設しました。京急グループが贈る住まいのクオリティおよびイメージアップを図りました。また、今回のブランド統一にあたり、「自然豊かな美しい三浦半島と都心、そして羽田空港を結ぶ京急グループが贈る住まいは、お客さまにとっての特等席でありたい」との思いを込め、ブランドスローガンを「世界の特等席。」として、プライムブランドの浸透を図っています。そして、今回のブランド統一に合わせ、京急グループは賃貸住宅事業に本格参入。今後は京急沿線を中心に、単身者向け賃貸マンションのほか、多様化する様々なニーズをとらえるべく、高齢者向け賃貸マンション等の開発も視野に入れ、良質な住まいを提供し、魅力ある沿線づくりを進めます。

PRIME

Presented by KEIKYU



■プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー

①世界ブランドへと進化する品川のシーサイドを住む

国際戦略総合特区、リニア中央新幹線の発着駅※1、そして駅前再開発構想※2が控え、世界都市：品川という新しいビジョンを次代へ提示する“グローバルブランド”へと歩み始めている品川。ダイナミックに進化する都市の利便を享受しながら、シーサイドの潤いと旧東海道品川宿から連なる、歴史ある生活文化に抱かれる日々を提唱します。

※1：リニア中央新幹線／2027年、品川・名古屋間工事完了予定。また本プロジェクトにはJR東海は関与していません。
 ※2：品川駅西口地区開発／品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014(2014年9月策定)。構想段階であり、完成時期は未定です。



②複合一体型開発 地上29階建て免震タワーマンション全817邸、始動

2000年から2004年にかけて「品川シーサイド」駅と一体的に開発されたタワー複合街区「品川シーサイドフォレスト」。7棟のタワーオフィスを中心に、大型商業施設やタワーマンションが揃う未来的な都市景観に出会えます。「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」は、その街区内の南西角に残された一角に誕生します。街区内の各エリアや品川シーサイド駅には、ペDESTリアンデッキ(2019年3月下旬完成予定)でダイレクトに接続。さらに、徒歩9分で京急本線「青物横丁」駅も利用できる利便性が魅力です。さらに子育て家族に嬉しい認可保育施設※3(2019年4月供用開始予定)や、生活支援施設としてコンビニエンスストアを誘致予定(2019年4月営業開始予定)など複合一体型開発で、湾岸タワーライフの新たな理想を描きます。



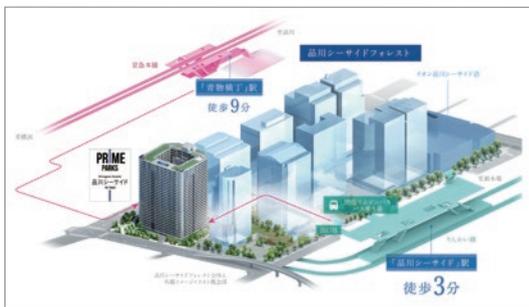
外観完成予想図※4

※3：認可保育施設は本計画の居住者専用ではありません。また居住者が優先的に入園できる施設ではありません。

※4：外観完成予想図／計画段階の図面に基き描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合があります。雨樋・エアコン室外機・給湯器等再現されていない設備・機器等がございます。植栽は特定の季節やご入居時の状態を想定して描き起こしたものではありません。周辺道路・建物等は簡略化しております。
 ※敷地には公開空地が含まれており、居住者以外の第三者も利用または通行できます。

※5：品川シーサイドフォレスト全体と外観イメージイラスト概念図／品川シーサイドフォレスト内の建物及び周辺道路と「品川シーサイド」駅・「青物横丁」駅を概念的に描いたものに、計画段階の図面に基き描き起こした外観完成予想イラストを合成したもので、実際とは多少異なる場合があります。また、「青物横丁」駅の位置はイメージであり実際とは異なる場合があります。

※掲載の徒歩分／「品川シーサイド」駅(約200m)はデッキエントランス(2F)・クロスエントランス(1F)より計測、「青物横丁」駅(約720m)はグランドエントランスより計測、1分80mとして算出(端数切上げ)したものです。



品川シーサイドフォレスト全体と外観イメージイラスト概念図※5

■プライム新杉田

①800㎡超の中庭をやさしく包む、洗練された3棟構成156邸のレジデンス



外観完成予想図※6

白を基調とし、ブラウン系タイルで全体を引き締めている上質感に満ちた外観。その中心には、緑豊かな中庭(オアシスガーデン)が広がります。敷地の約25%を緑化、採光・通風に優れた配棟計画によって、住まう人の思いを追求したランドスケープを実現。また、コミュニケーションを育む大規模なならではの共用施設も魅力。明るく落ち着いた佇まいと、身近な自然が暮らしを美しく彩ります。

②JR「新杉田」駅よりフラットアプローチ。3駅3路線利用可能。「横浜」駅へ直通17分

近隣には大きな公園があり、子育て環境も良好。駅前のショッピングモールや個性豊かな商店街は、日々のお買い物にも便利。通勤・通学はもちろん、横浜周辺も気軽に楽しむことのできるロケーションです。

■川崎・港町駅前のトリプルタワーズシティ「リヴァリエ」

港町駅前に建設している全1,394戸※7のトリプルタワーズシティ「リヴァリエ」は、市街地と多摩川の自然とが一体となる住環境が高く評価されています。

①ハイクオリティな共用施設とサービス。ホテルライクな迎賓空間が日常の舞台に



C棟外観完成予想図(C棟は1番手前の棟です)※6

※6：掲載の完成予想図は計画段階の図面に基き描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合があります。なお、植栽は特定の季節の状態を示すものではありません。また、竣工時には完成予想図程度には成長していません。

※7：C棟461戸(28階建)のほか、当該敷地にB棟478戸(29階建・分譲済み)、および隣接地にA棟455戸(29階建・分譲済み)があり、「リヴァリエ」全体では1,394戸となります。



ロイヤルスイート(ゲストルーム) スカイラウンジ(C棟12F) 完成予想図

●リヴァリエA棟・B棟(分譲済)



A棟スカイラウンジ(2013年2月撮影) B棟エントランスホール(2014年10月撮影)

②駅と街並みをリニューアル。安心で便利なまちづくり

「リヴァリエ」A棟の完成にあわせて港町駅をリニューアル。敷地内にはコンビニエンスストア、カフェ、保育園、クリニックモールが開業し、安心で便利なまちづくりを進めています。

③京急川崎駅まで1駅2分、日常の利便性と緑豊かな自然を同時に叶える

川崎は神奈川屈指の大商業エリア。京急川崎駅前に「ウィング川崎」、C棟から徒歩5分に大型商業施設がオープンするなど、近年ますます進化しています。近隣には四季折々の自然にふれあえる場所もたくさんあります。

④大林組の特許技術・DFS制振構造※8や数々のサービス・設備で安全・安心に配慮



※8：DFS制振構造は、2011年6月に日本免震構造協会賞・技術賞(奨励賞)を受賞(特許取得済み)。

■京急ニューシティ 湘南佐島なぎさの丘

総開発面積約41ha。海拔約25~50mの高台で安心な丘の上の住宅地

三浦半島の西海岸に位置する「京急ニューシティ 湘南佐島なぎさの丘」は、京急電鉄がこれまで手がけてきた沿線開発の大規模プロジェクトです。総開発面積約41ha（東京ドーム8.7個分）に、戸数は667戸、ゆとりと格調を備えた南向きの天然ひな壇の台地では、海外の著名な都市のように、公共道路も住まいの一部ととらえる美しい街並みが形成されています。開放的な雰囲気を保ちつつも、セキュリティ面では24時間365日の常駐警備と監視カメラにより、安心して暮らせる生活環境づくりが行われています。



アメリカ西海岸のように広々とした開放的な街並み

■京急すまいるステーション

快適・最適な住環境をワンストップで提案・提供する情報&相談窓口

「京急すまいるステーション」は、住まいに関する様々な悩みを抱えるお客さまの相談窓口とし、お客さまの住まいと暮らしがより素晴らしいものになるために、豊富な知識を持つ専門スタッフが快適・最適な住環境をワンストップで提案・提供する、京急沿線「超」地域密着型の“情報&相談ステーション”です。京急グループをはじめとした、幅広いバックボーンを活かし、売買・賃貸・リフォームから相続まで、お客さま一人一人にマッチした情報を提供し、検討プロセスを全面的にサポートします。



京急すまいるステーション 金沢文庫店

■主な分譲マンション一覧

物件名	所在地	交通	戸数	販売開始時期	竣工時期
リヴァリエ A棟	神奈川県川崎市川崎区港町	港町駅から徒歩1分	455戸	2011年 7月	2013年 3月
プライム横浜生麦	神奈川県横浜市鶴見区生麦	生麦駅から徒歩3分	49戸	2012年 5月	2013年 3月
プライム新川崎	神奈川県川崎市幸区小倉	JR新川崎駅から徒歩11分	57戸	2012年 7月	2013年 3月
プライム雑色フロントアクセス	東京都大田区東六郷	雑色駅から徒歩2分	62戸	2013年 6月	2014年 3月
リヴァリエ B棟	神奈川県川崎市川崎区港町	港町駅から徒歩2分	478戸	2013年 8月	2015年 3月
ザ・タワー横須賀中央	神奈川県横須賀市大滝町	横須賀中央駅から徒歩3分	297戸	2014年 3月	2015年 11月
プライム川崎矢向	神奈川県川崎市幸区塚越	JR矢向駅から徒歩8分	61戸	2014年 12月	2015年 8月
プライム湘南辻堂リーフィアレジデンス	神奈川県茅ヶ崎市赤松町	JR辻堂駅から徒歩10分	61戸	2015年 5月	2016年 1月
プライム横浜屏風浦	神奈川県横浜市磯子区森	屏風浦駅から徒歩1分	75戸	2015年 4月	2016年 3月

■主な地域開発事業一覧

物件名	所在地	交通	戸数	販売開始時期
京急ニュータウン金沢能見台	神奈川県横浜市金沢区能見台	金沢文庫駅から徒歩6分ほか	戸建用地2,200区画、マンション2,800戸 (京急シティ能見台ほか)	1983年 5月
京急ニュータウン富岡9期	神奈川県横浜市金沢区富岡西	京急富岡駅から徒歩16分ほか	戸建用地278区画、 マンション120戸	1993年 1月
京急ニュータウン富岡10期	神奈川県横浜市金沢区富岡西	能見台駅から徒歩9分ほか	戸建用地331区画ほか	1991年 9月
京急ニュータウンマリンヒル横須賀野比	神奈川県横須賀市長沢	YRP野比駅から徒歩1分ほか	戸建用地77区画	1989年12月
京急ニュータウン野比海岸	神奈川県横須賀市野比	YRP野比駅から徒歩12分	戸建用地160区画、 マンション410戸	1998年 4月
京急ニューシティ湘南大津の丘	神奈川県横須賀市池田町	新大津駅から徒歩10分、 京急大津駅から徒歩7分ほか	戸建用地181区画	2002年12月
京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘	神奈川県横須賀市佐島の丘	新逗子駅から徒歩27分、 シヤトルバス27分	戸建用地等、総計戸数667戸	2007年 1月
パームヒルズ京急富岡	神奈川県横浜市磯子区杉田	京急富岡駅から徒歩19分、 バス7分下車徒歩1分	戸建用地191区画	2011年 4月

■主な京急グループ分譲実績



60の企業・団体が進出する国内最大規模の研究開発拠点

■YRP (横須賀リサーチパーク)

YRPは無線・移動体通信技術を中心とした情報通信技術 (ICT) の国内最大規模の研究開発拠点です。NTTドコモをはじめ、大手情報通信関連企業、国の研究機関、大学など約60の企業・団体が進出。約3,500人が就労しています。

YRP概要

- 開業：1997年10月
- 所在地：神奈川県横須賀市光の丘
- 面積：58.8ha
- 施設計画：研究開発施設、居住施設、商業サービス施設など

YRP内賃貸ビル一覧

YRPセンター2番館	
延床面積	7,414㎡ (2,242坪)
賃貸面積	2,890㎡ (874坪)
構造・規模	鉄骨造7階建
施設内容	研究開発室、ATM

YRP3番館	
延床面積	6,744㎡ (2,040坪)
賃貸面積	4,829㎡ (1,460坪)
構造・規模	鉄骨造5階建
施設内容	研究開発室

YRPベンチャー棟	
延床面積	3,998㎡ (1,209坪)
賃貸面積	2,568㎡ (776坪)
構造・規模	鉄骨造4階建
施設内容	研究開発室

YRP5番館	
延床面積	19,786㎡ (5,985坪)
賃貸面積	14,832㎡ (4,487坪)
構造・規模	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造10階建
施設内容	研究開発室

主な進出企業	
国立研究開発法人 情報通信研究機構	(株) NTTドコモ
矢崎総業 (株)	富士通 (株)
日本電気 (株)	(株) アルファシステムズ
(一財) テレコムエンジニアリングセンター	(株) ニフコ

この他企業・大学など約60の団体が進出



YRP全景

<主な生活支援施設>

ローステリア	食堂・カフェレストラン (全200席)
ラ・ルールブルYRP	フレンチレストラン (全60席)
ポプラ	コンビニエンスストア (軽飲食・文具ほか)
ホテルYRP	宿泊施設 (シングル60室・ツイン7室)
ハイム光の丘	寮、ウィークリーマンション (全147室)



Column

YRPロケーションサービス

緑あふれる研究都市・YRPは、「三浦半島有数のロケ地」という第2の顔を有しています。海と山林に近接する豊かな自然環境を背景に、研究所・オフィスビル・レストラン・ホテル等の多様な施設が集積する地区は全国的にも珍しく、通常のロケ地と比較しても数倍の受注率となっています。その撮影内容も、キー局のTVドラマや全国ロードショー映画をはじめ、CM・カタログなど多岐にわたります。YRPは、映像コンテンツの素材として重宝されるほどに、美しい研究街区としてのポテンシャルを秘めているといえます。



不動産賃貸業

長期安定収益の確保と、所有地や遊休地のスペースの有効活用を目指す不動産賃貸業は、商業・オフィス・賃貸ビルの建設や駐車場設置などを積極的に展開しています。マーケットに対応した既存テナントの見直しや、建物・設備の定期的なリニューアルも実施。顧客満足度の高い施設の維持を目指しています。

鉄道高架下スペースの積極的な活用

■ウィングキッチン京急蒲田

2015年12月、京急蒲田駅に開業した「ウィングキッチン京急蒲田」は、京急蒲田駅付近連続立体交差事業によって新たに創出された鉄道高架下スペースを活用した、駅直結の地域密着型商業施設です。1階には施設の核となる「食物販ゾーン」のほか、カフェやレストランなどの飲食ショップを配置。中2階と東口部分には、コンビニや書店、クイックサービス型のショップなど、駅立地ならではの利便性の高いショップが揃い、「最寄り駅にあると嬉しい、毎日でも立ち寄れる、普段使いの商業施設」となっています。また、羽田空港に至近の立地を活かし、訪日外国人旅行者などの観光拠点として大田区による「大田区観光情報センター」を設置。羽田空港の玄関口、そして大田区の顔としての役割も担います。→P14



■黄金町・日ノ出町エリア高架下開発

黄金町・日ノ出町エリアでは、高架下に文化芸術スタジオの連続的な整備を行うなど、「アートによるまちの再生」を目指し、地域住民・行政・警察とも連携したまちづくりを推進してきました。アーティストの滞在制作やショップが注目を集めるとともに、地元NPOが毎年開催する、アートフェスティバル「黄金町バザール」が定着するなど、多くの人々が訪れるエリアに変わりました。また、黄金町駅前に「セブン-イレブン京急ST黄金町店」や「京急黄金町駅前第1駐輪場」、「業務スーパー黄金町店」を開業するなど、地域の暮らしやすさに貢献する施設の整備も行っています。今後も引き続き、地域のニーズにあわせた高架下の有効活用を計画していきます。



高架下スタジオSite-D



かいだん広場



黄金町バザール



セブン-イレブン京急ST黄金町店

品川駅から徒歩3分の好立地、利便性の高い複合施設

■SHINAGAWA GOOS (シナガワ グース)

ビジネスホテル「京急EXイン 品川駅前」を中心に、レストラン・ショップ・カンファレンス・ウェディングなど、様々なテナントが集積する複合施設「SHINAGAWA GOOS」。品川駅高輪口から徒歩3分、同駅から羽田空港国際線ターミナル駅まで11分というアクセスの良さと、滝や池のある日本庭園をはじめ豊かな緑環境を兼ね備えていることから、宿泊やお食事など、国内外の幅広いお客さまにご利用いただける、品川の顔ともいえる人気の施設です。

京急EXイン 品川駅前

SHINAGAWA GOOSの中心となる宿泊施設を、京急イーエックスインがビジネスホテルとして運営しています。935室の客室規模を誇り、広い客室と抜群の立地が魅力のホテルです。→P52



ゆったりくつろげる客室

多くの魅力ある賃貸物件を提供

■京急開発関連

京急グループの京急開発では、物流事業会社のエヌ・ティ・ティ・ロジスコ (NTTロジスコ) と共同事業により、大田区平和島に新たな物流センタを建設しました。建設地の平和島は、羽田空港や大井埠頭が至近距離にあり、「陸・海・空」への好アクセスの立地特性を最大限活かすことのできる利便性の高い場所であり、両社の共同事業による賃貸建物および、物流施設です。また、横浜駅きた東口から直結の「横浜イーストスクエア」は、機能性と快適性を重視した設備を配し、高稼働率を維持しています。



■賃貸ビル一覧

物件名	所在地	開業	交通
京急第1ビル	港区高輪4-10-18	1983年11月30日	品川駅前
京急第2ビル	港区高輪3-25-23	1974年6月1日	品川駅から徒歩3分
京急第3ビル	港区高輪2-21-28	1981年4月1日	泉岳寺駅から徒歩3分
京急第5ビル	港区高輪3-25-20	1981年2月4日	品川駅から徒歩2分
京急第6ビル	港区高輪3-24-19	1986年12月1日	品川駅から徒歩5分
京急第7ビル	港区高輪4-10-8	1989年4月1日	品川駅から徒歩2分
京急第10ビル	港区高輪3-26-33	2012年9月28日(取組日)	品川駅前
青物横丁京急ビル	品川区南品川3-1-20	2002年2月1日	青物横丁駅隣接
大鳥居第1京急ビル	大田区羽田1-1-3	2002年11月28日	大鳥居駅隣接
大鳥居第2京急ビル	大田区羽田1-1-7	2003年5月20日	大鳥居駅から徒歩1分
川崎第1京急ビル	川崎市川崎区駅前本町21-2他	1971年9月23日	京急川崎駅前
川崎第3京急ビル	川崎市川崎区駅前本町21-12	2000年3月15日	京急川崎駅前
京急川崎駅前ビル	川崎市川崎区砂子1-3-1	2016年4月27日	京急川崎駅隣接
八丁畷京急ビル	川崎市川崎区池田1-6-3	2009年5月11日	八丁畷駅前
京急鶴見高架下第1商業施設 ※1	横浜市鶴見区鶴見中央1-30-22	1982年6月17日	京急鶴見駅構内(高架下)
京急鶴見高架下第2商業施設 ※2	横浜市鶴見区鶴見中央1-32	1986年7月18日(一部24日)	京急鶴見駅から徒歩1分
新町第1京急ビル	横浜市神奈川区新町21-8	2014年4月2日(一部3月14日)	神奈川新町駅から徒歩1分
新町第2京急ビル	横浜市神奈川区新町12-1	2014年4月2日(一部3月14日)	神奈川新町駅から徒歩1分

物件名	所在地	開業	交通
横浜イーストスクエア	横浜市神奈川区金港町1-4	2008年5月7日	横浜駅から徒歩3分
元町京急ビル	横浜市中区元町4-166	2011年8月5日	JR石川町駅から徒歩5分 みなとみらい線元町中華街駅から徒歩5分
上永谷京急ビル	横浜市港南区丸山台1-12-40	1982年11月26日	横浜市営地下鉄上永谷駅から徒歩1分
上大岡京急ビル	横浜市港南区上大岡西1-6-1	商業棟、中央棟の一部/ 1996年10月1日 再開発事業竣工 1997年3月14日	上大岡駅直結
ルミネウイング	鎌倉市大船1-4-1	1992年9月18日	JR大船駅隣接
金沢文庫第1京急ビル	横浜市金沢区谷津町384	1980年11月25日	金沢文庫駅から徒歩1分
金沢文庫第2京急ビル	横浜市金沢区谷津町327外	2004年12月28日	金沢文庫駅から徒歩1分
金沢八景第1京急ビル	横浜市金沢区泥亀2-13-1	1972年7月1日	金沢八景駅から徒歩10分
金沢八景第2京急ビル	横浜市金沢区泥亀1-25	1968年10月1日	金沢文庫駅から徒歩10分
新逗子第1京急ビル	逗子市逗子5-1-6	1991年3月15日	新逗子駅隣接
新逗子第2京急ビル	逗子市逗子2-6-34	2004年6月21日	JR逗子駅から徒歩3分
能見台商業施設	横浜市金沢区能見台3-1-1外	1986年4月17日	能見台駅からバス約12分
鎌倉御成町京急ビル	鎌倉市御成町11-35	1982年5月13日	JR鎌倉駅から徒歩1分
鎌倉小町京急ビル	鎌倉市小町1-4-26	1981年4月1日	JR鎌倉駅から徒歩1分
久里浜京急ビル	横須賀市久里浜4-4-10	1987年4月25日	京急久里浜駅隣接

※1 耐震補強工事実施のため閉鎖中
※2 耐震補強工事実施のため一部閉鎖中

モーダルシフト推進策として展開

■パーク&ライドサービス

京急グループが進めるモーダルシフト推進策は、最寄り駅まで自家用車を使い、目的地へは電車でアクセスすることを支援・推進する取り組みです。京急サービスが管理する京急線沿線の約60駅の駐車場では、「駅まで車、駅から電車」という環境にやさしい通勤スタイルを提案。京急線の定期券をお持ちの方に、月額料金を優待するサービスを提供しています。また、時間貸駐車場「タイムズ」を運営するタイムズ24は、PASMOを使って京急線に乗りすると、「タイムズ」の駐車料金が割引になる「パーク&ライドサービス」を展開しています。



パーク&ライド対応精算機

■時間貸・月極駐車場一覧

2016年3月末日時点

駐車場名	「駐車場」は省略	所在地	区分	区画数
高輪時間貸		港区高輪2-21-28	時間貸(一括)	32
京急高輪第2		港区高輪3-301-3	月極(一括)	6
京急第10ビル時間貸		港区高輪3-26-33	時間貸	58
品川駅前時間貸		港区高輪4-11-21	時間貸	15
八ツ山時間貸		品川区北品川1-2	時間貸	5
京急北品川/バイク		品川区北品川2-1	月極	11/6
北品川時間貸		品川区北品川2-1	時間貸	12
京急北品川第2		品川区北品川1-27	月極	11
京急北品川第3		品川区北品川1-25	月極(一括)	15
京急南馬場		品川区南品川2-1	月極	12
京急城南		品川区南品川2-2	月極	66
京急青横		品川区南品川2-3	月極	26
タイムズ京急青物横丁		品川区南品川3-1	月極(一括)	41
京急鮫洲/バイク		品川区東大井1-22	月極	5/26
京急浜川		品川区東大井2-2	月極	10
京急東大井/バイク		品川区東大井2-11	月極	10/7
京急鮫浜		品川区東大井2-13	月極	25
京急立会川		品川区東大井2-13	月極	10
京急立会川第2/バイク		品川区東大井2-21	月極	42/2
立会川駅前時間貸		品川区東大井2-21	時間貸	20
京急南大井/バイク		品川区南大井1-13	月極	34/2
京急道路公園前		品川区南大井1-21	月極(一括)	15
道路公園前時間貸		品川区南大井1-21	時間貸	3
京急鈴ヶ森		品川区南大井3-32	月極	54
京急鈴ヶ森第2		品川区南大井3-3	月極	38
京急平和島第3		品川区南大井3-10	月極	44
京急平和島第2A		大田区大森北2-17	月極	24
大森海岸時間貸		大田区大森北2-12	時間貸	19
京急平和島第2B/バイク		大田区大森北2-12	月極	53/3
京急平和島第2C		大田区大森北3-44	月極	44
大森北時間貸		大田区大森北3-44	時間貸	10
京急平和島第2D/バイク		大田区大森北3-36-15	月極	41/10
京急平和島第4		大田区大森北6-77	月極(一括)	128
京急蒲田駅前駐輪場		大田区南蒲田1-12-5	時間貸	213
京急蒲田駅前時間貸		大田区南蒲田1-12-5の一部地	時間貸	18
京急羽田第1		大田区羽田5-7	月極(一括)	55
京急羽田第2		大田区羽田5-11	月極	58
京急羽田第3		大田区羽田5-6-15	月極(一括)	42
羽田・穴守稲荷駅前時間貸		大田区羽田5-11	時間貸	22
六郷土手駅前時間貸		大田区仲六郷4-31	時間貸	15
京急六郷土手第3		大田区仲六郷4-27	月極	55
京急川崎駅前		川崎市川崎区日進町28	月極	118
川崎駅前時間貸		川崎市川崎区日進町28	時間貸	79
京急日進町バイク		川崎市川崎区日進町28	月極	12

駐車場名	「駐車場」は省略	所在地	区分	区画数
京急川崎本町		川崎市川崎区本町1-2	月極	13
川崎本町時間貸		川崎市川崎区本町1-2	時間貸	38
京急夜光		川崎市川崎区塩浜4-14-17	月極(一括)	10
京急八丁畷		川崎市川崎区池田1-1-6	月極(一括)	9
京急鶴見市場第1		横浜市鶴見区市場西中町1	月極	19
京急鶴見市場第2		横浜市鶴見区市場下町1	月極	45
京急鶴見第1/バイク		横浜市鶴見区鶴見中央2-21	月極	211/18
鶴見中央時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央2-21	時間貸	9
鶴見中央第2時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央2-21	時間貸	6
京急鶴見第2		横浜市鶴見区鶴見中央1-30	月極	21
鶴見第2時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央1-30	時間貸	39
鶴見駅前時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央1-30	時間貸	19
京急平沼第2		横浜市西区平沼1-37	月極	5
京急平沼第3		横浜市西区平沼1-27	月極(一括)	5
京急南太田		横浜市南区南太田町1-25	月極	3
京急上大岡		横浜市南区中里1-108-2	月極(一括)	50
京急上大岡第2/バイク		横浜市南区別所1-5	月極	48/11
京急上大岡第3		横浜市港南区最戸1-5	月極	37
京急上大岡第4		横浜市港南区最戸1-7	月極(一括)	13
京急上大岡バイク		横浜市港南区上大岡西2-3	月極	8
京急上大岡ウエスト/バイク		横浜市港南区上大岡西2-3	時間貸	35/8
京急上大岡西		横浜市港南区上大岡西3-10	月極	22
ゆめおおおか京急/3F		横浜市港南区上大岡西1-6-1	時間貸	458/28
金沢文庫時間貸		横浜市金沢区谷津町379	時間貸	39
京急六浦		横浜市金沢区六浦町1855	月極	4
京急小川町		横須賀市小川町27-16	月極	16
京急浦賀第1/バイク		横須賀市浦賀町1-4	月極	69/55
浦賀駅前時間貸		横須賀市浦賀町3-1	時間貸	39
京急観音崎		横須賀市鴨居3-81	月極	28
京急久里浜北		横須賀市池田町5-8	月極	7
京急久里浜北第2		横須賀市池田町5-8	月極	13
京急舟倉		横須賀市舟倉町383-4	月極(一括)	16
京急久比里		横須賀市久比里1-7	月極	7
京急久里浜駅前		横須賀市久里浜4-1	月極	18
久里浜駅前時間貸		横須賀市久里浜4-4-10	時間貸	262
京急久里浜		横須賀市久里浜4-19	月極	8
京急久里浜海岸		横須賀市久里浜7-6	月極	43
京急長沢		横須賀市長沢1-35	月極	24
長沢駅前時間貸		横須賀市長沢1-35	時間貸	8
京急三浦海岸第1/バイク		三浦市南下浦町上宮田3129	月極	46/6
京急三浦海岸第2		三浦市南下浦町上宮田1487	月極	29
京急三浦海岸第3		三浦市南下浦町上宮田2960	月極	55
京急小坪		逗子市小坪6-5	月極	3

レジャー・サービス事業

- 旅行業
- ホテル・旅館・飲食業
- レジャー施設・ゴルフ場業
- 水族館・遊園地業
- 広告代理業

羽田空港へのアクセス利便性を活かしたビジネスホテル「京急EXイン」を羽田空港周辺や都心部を中心に多店舗展開するほか、自然あふれる三浦半島において3つのホテルを運営しています。また、温泉施設や水族館、ヨットハーバーなどのレジャー施設やゴルフ場の運営、沿線を中心とした旅行業や広告代理業などのサービスを展開しています。

|||| 全館駅近のビジネスホテル

■京急EXイン



京急EXインは、全館最寄り駅から徒歩5分圏内と抜群のアクセスを誇り、羽田空港や成田空港へも乗り換えなしでアクセス可能と、国内外のお客さまに便利にご利用いただくことができるホテルです。Wi-Fi完備、スムーズチェックアウトなど、利便性の高さにもこだわりがあります。また、客室のみならず、エレベーター使用時や深夜の入館時にもカードキーシステムを採用、安全に安心して宿泊できるセキュリティ対策をとっています。

■新たな「京急EXイン」が続々オープン

2016年は、新たに「京急EXイン 秋葉原(3月)」、「京急EXイン 京急川崎駅前(4月)」、「京急EXイン 品川・泉岳寺駅前(6月)」、「京急EXイン 東銀座(8月予定)」の4館を開業。いずれも、客室デザインとサービスをワンランクアップした「京急EXイン」で、お客さまに落ち着きとくつろぎの時間を提供します。さらに2017年度は、羽田空港国際線ターミナル駅まで1駅、最寄りの天空橋駅まで徒歩3分の立地に「京急EXイン 羽田(仮称)」を開業予定です。これにより、12館2,700室を超える体制となります。



海を望むロケーションが自慢の宿泊施設

■観音崎京急ホテル

都心から約1時間のリゾートホテル。全室オーシャンビューの客室からは東京湾が一望でき、天気の良い日には、対岸の房総半島と東京スカイツリー®を眺めることができます。地産地消にこだわった旬の食材を使用したレストラン、180度オーシャンビューのシーサイドガーデンチャペル、温浴施設SPASSO（スパッツ）など、施設も充実。ご宿泊はもちろん、挙式、披露宴、同窓会などのパーティー、日帰りSPAなど、様々なニーズにお応えしています。



SPASSO（スパッツ）

観音崎京急ホテルに隣接する、アジアンテイストの温浴施設。目の前には東京湾が広がり、潮の香りを感じながら、心と体をゆっくりと癒していただくことができます。眺望の良い露天風呂をはじめ、ボディケアや岩盤浴など様々なサービスをご用意。アロマトリートメントサロン「Grand Mimpi」ではオリエンタル系天然オイルを使用したトリートメントで、極上のリラクゼーションを提供しています。



■ホテル京急油壺観潮荘

三浦半島油壺にある、小網代湾を一望できる露天風呂付きの部屋が人気のホテル。併設のレストランでは、三崎まぐろや地元の海の幸をふんだんに使った料理が楽しめます。大浴場露天風呂は、海水を汲み上げて沸かした海水風呂。ミネラルたっぷりのお湯が、身体を芯から温めてくれると好評です。「京急油壺マリンパーク」の入園券がセットになったお得な宿泊プランもあります。



塩化ナトリウムやミネラルをたっぷり含んだ海洋泉「油壺の湯」

■城ヶ島京急ホテル

ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに2つ星として認定された自然豊かな城ヶ島にある、緑と海の見える快適リゾート。本館は全室オーシャンビューとなっており、相模湾を眺めながら、三崎のまぐろをはじめ、食材の宝庫である三浦半島の味覚を、お部屋でゆっくりとご堪能いただけます。晴れた日には、露天風呂から相模湾に沈む夕日と富士山の姿を見ることができます。



夕刻には相模湾に沈む夕日も望める「雲母（きらら）の湯」

緑に囲まれた癒しの湯宿

■伊豆長岡温泉京急ホテル

いで湯の里伊豆長岡温泉に佇む純和風のリゾートホテル。心も体もリフレッシュできる自慢の温泉は、源泉100%掛け流しの贅沢湯。アルカリ性単純温泉という泉質で、刺激が少なくお子さまやご年配の方にもおすすめです。お食事は、伊豆長岡の地元素材や旬の食材を取り入れた季節の料理をご提供。テニスコート、夏はガーデンプールも併設し、スポーツも楽しめるホテルです。



黒湯天然温泉を使った日帰り入浴施設

■天然温泉みうら湯 弘明寺店

黒湯天然温泉を用いた露天風呂をはじめ、14種類のお風呂とサウナが揃う日帰り温浴施設。1年におよぐ耐震補強と改装工事を終え、2016年4月にリニューアルオープン。新陳代謝の促進や美肌効果で人気の高い「炭酸泉」が新たに導入されたほか、ロビー・脱衣所・浴室は明るく居心地のよい空間に生まれ変わりました。お食事処やリラクゼーション施設もあり、おひとりさまからご家族まで、存分にお楽しみいただくことができます。



有名店が揃うフードテーマパーク

■品達

京急線品川駅高架下にて12店舗を揃えたフードテーマパーク。全国にその名を轟かせる有名ラーメンなど12店舗が集結し、自慢の一品を品川で味わい楽しむことができるスポットとして、周辺の会社員や観光客まで幅広い方々にご利用いただいています。



Column

羽田にラーメンフードコート「品達 羽田」オープン

日本を訪れる海外からのお客さまにも人気の高い日本のラーメン。そのニーズに応えるため、2016年4月、羽田空港国際線ターミナル駅構内にある商業施設「ウィングエアポート羽田」の3階に、品達の出張店「品達 羽田」がオープンしました。気軽に食べられるフードコートスタイル&多言語表記の券売機を導入し、3ブランドのラーメン店を展開しています。



|||| アミューズメント施設や飲食店が集まるレジャーランド

■ BOAT RACE 平和島



BOAT RACE 平和島

BOAT RACE 平和島劇場

全国24場あるボートレース場のうち、数少ない都会の中に位置するレース場で、6艇によるエキサイティングなレースが年間約180日開催されています。併設の外向発売所「BOAT RACE 平和島劇場」では全国の開催場から1日最大8場96レースを昼夜発売。迫力の大画面で臨場感溢れるレース映像をお楽しみいただくことができます。

■ BIG FUN平和島

ディスカウントストアでのショッピングや、ボウリング、ゲーム、カラオケ、シネマコンプレックスなどのレジャーまで、ファミリーやカップルで1日中お楽しみいただくことができます。バラエティー豊かなお食事処や、癒しの空間の天然温泉もあり、総合レジャーランドとして「遊ぶ・楽しむ・食べる」を提供しています。



天然温泉 平和島

地下2,000mから1日150t湧出する都内屈指の天然温泉。入浴後、お肌が「しっとり・すべすべ」になる温泉のほか、湯舟につかりながら大画面スクリーンにて、スポーツ観戦などが楽しめるエリアや、高濃度炭酸泉やストーンサウナが人気となっています。また、羽田空港が至近なため、早朝便・深夜便ご利用のお客さま向けの、送迎バス付プランを提供しています。



平和島スターボウル

平和島スターボウルは、ワンフロア30レーンのボウリング場です。お子さまの時のみ自動的にガターがなくなる自動ノンガターレーンを全レーン完備しています。また、深夜はボウリング投げ放題を実施しています。ご家族、仲間同士、カップル、みんなで楽しめるボウリング場です。



|||| 海に面したレジャー施設

■ 京急油壺マリンパーク

三浦半島の西南端にある海のレジャーランド・水族館。大型のサメを常設する「魚の国」、三浦半島の自然が詰まった「みうら自然館」、人気者のコツメカワウソをはじめ、希少な生き物たちが暮らす水辺や洞窟を再現した「かわうその森」など、エリアごとに様々な生き物や珍しい展示を見ることができます。屋内大海洋劇場「ファンタジウム」では、音響設備や照明を駆使したミュージカル仕立てのイルカ・アシカのパフォーマンスを毎日公演。水辺の生き物とのふれあいや、魚たちへのエサやりなどが体験できる「すいぞくかん学園」も人気です。



イルカのジャンプ



コツメカワウソ

■ 葉山マリーナ

日本におけるヨット発祥の地である葉山に立つ、歴史と伝統を誇るマリーナ。ヨットやモーターボートの艇置のほか、ビジターでショートクルージングやレンタルボートの体験もできます。さらに、複数のレストラン、マリンウェアブランドを取り揃えたブティックや宴会場を併設した複合商業施設として、地元をはじめ遠方からも多くの方にご利用いただいています。海の向こうに江ノ島や富士山を望むことができる絶好のロケーションから、夕日を見るスポットとしても人気です。



■ 油壺京急マリーナ

三浦半島のほぼ南端、諸磯湾の静かな入り江に位置するマリーナ。緑に囲まれた風景の先には相模湾、そして雄大な富士山が一望できます。ご契約のオーナーさま同士でコミュニケーションが楽しめるオーナーズルームのほか、パーティールーム、バーベキューエリアやデッキスペースなど施設も充実。日常を忘れて、ゆっくりと休日をお過ごしいただくことができます。



|||| 快適なプレーが楽しめるゴルフ場

■ 2つのカントリークラブ

爽やかな高原気候で年間通じてコースコンディションの良い「長野京急カントリークラブ」と、南房総の温暖な気候で地形を活かしたアップダウンの少ないコースの「市原京急カントリークラブ」、2つのゴルフ場を運営しています。



長野京急カントリークラブ



市原京急カントリークラブ

流通事業

- 百貨店業
- ショッピングセンターの経営
- ストア業
- 物品販売業

百貨店業

「京急百貨店」は、駅から至近の利便性と、地域にあわせた店舗構成で、多くのお客さまにご愛顧いただいています。トレンドやニーズを捉えながら、皆さまから親しまれ、信頼され、満足いただける空間へと変化し続けています。

次の10年へつづく京急百貨店ブランドの創造

■京急百貨店

2016年10月に開店20周年を迎えます。この節目を第二の創業と捉え、次の10年へ続く京急百貨店ブランドの創造を推し進めます。「働く女性」「3世代家族」をメインターゲットに、多彩なライフスタイルにあわせ、様々な提案を行っています。駅直結の立地を活かし、お客さまの生活に密着した「生活文化拠点」として取り組んでいきます。



①免税サービスを開始

「食品売場」「化粧品売場」をはじめ、ドラッグストアの「マツモトキヨシ」、家電量販店の「ヨドバシカメラ」など幅広い品揃えと、海外への玄関口である羽田空港国際線ターミナル駅から京急線で35分（✕エアポート急行をご利用の場合）のダイレクトアクセスで、気軽に短時間でのお買物が可能となります。



②食品フロア総勢80店舗がリニューアルオープン

「My Favorite Dining ~おいしいが見つかる、私のお気に入りのダイニング」コンセプトのもと新規8店舗を含めて80店舗が生まれ変わりました。自主運営菓子売場「諸国銘菓 夢うらら」では、歳時記やオケーションへのギフト需要の強化を図るため、新たなサービスとして「オリジナルギフトBOX」をご用意しました。



③京急百貨店プロデュース

コスメ専門ショップ「ボーテ ガール」多店舗化へ向けて

新規事業として第1号店を「京急ショッピングプラザ ウィング高輪 EAST (イースト)」に初出店し、第2号店を「京急ショッピングプラザ ウィング川崎」にオープン、京急百貨店7階ヘルス&ビューティ売場も『ボーテ ガール 上大岡店』として生まれ変わりました。今後も百貨店プロデュースという強みと各店舗の特徴を最大限に活かし、京急沿線を中心としながら展開していきます。



沿線価値を高める快適なサービスの提供

■京急フードサービス

「そば処 えきめんや」「ベルフォール・カフェ」をはじめ、東京・神奈川の京急沿線で外食サービスを店舗展開しています。清潔で活気あふれる空間作り、安全・安心で期待感あふれる味と上品な接客で、ご来店いただいたお客さまに、楽しいひとときの空間を提供。沿線価値を高めていくとともに、快適で暮らしやすい都市生活の実現を通じて、地域社会に貢献します。



■京急観光

京急沿線を中心とした12の店舗、事業所で国内・海外ツアー、ハネムーンプラン、企業・団体向け商品のほか、旅に関するあらゆるご相談、手配を承っています。

沿線発着のバス旅「京急ナイスツアー」や沿線着地型の「京急大人の讃歌」「けいきゅうキッズチャレンジ」など、京急グループや京急沿線の魅力を伝えるツアーにも力を入れています。地域に根差した旅行会社として、お客さまの信頼に応え、豊かな沿線づくりに貢献しています。



■京急アドエンタープライズ

横浜・東京の2か所を営業拠点に、総合広告代理店として広告物制作、イベント・キャンペーンの企画・運営・実施、各種媒体の販売やWEB制作などのほか、モデルルーム等の設計・施工など、あらゆるコミュニケーションの場面において多種多様なニーズに対応することを目指しています。

また、京急電鉄・グループ各社の多様な事業と連携し、京急グループならではの商品ラインナップで良質なサービス提供をこころがけて活動しています。



お花見列車
「みうら河津桜号」

ツーリズムEXPO
ジャパン2015
HANEDA AIRPORT
ブース



ストア業

京急沿線を中心に、都心から三浦半島までのネットワークを持つストア業。さらなるネットワークの拡大や新業態での出店のほか、店舗ごとに地域にあわせたサービスを展開するなど、より便利で、より楽しいショッピングをご提案できるよう、新たな取り組みを続けています。

安全・安心な商品を沿線の皆さまへ

京急ストア

京急沿線のお客さまを中心に、「安全・安心」な商品・サービスを、日々、お届けする「京急ストア」。地域に根差すスーパーマーケットとして、神奈川県と「連携と協力に関する包括協定」を締結し、自治体との連携や地産地消、産業活性を推進し、地域社会と一体となり、明日の「食」を考えていきます。



ウイングキッチン京急蒲田/京急ストア 蒲田店

「ウイングキッチン京急蒲田」内に京急ストア 蒲田店オープン

京急ストア 蒲田店

2015年12月にオープンした「ウイングキッチン京急蒲田」内の1階、食物販ゾーンの核となる「京急ストア 蒲田店」は、毎日でも立ち寄れる、普段使いのスーパーマーケットとして多くのお客さまにご利用いただいています。

もとまちユニオン



もとまちユニオン元町店

高品質スーパーとしてお客さまのニーズにお応えする「もとまちユニオン」。2011年には元町商店街の「もとまちユニオン元町店」を全面建て替え、ランドオープンしたことに続き、都心部の新宿・六本木に進出、2013年4月には神奈川県川崎市中原区の綱島街道沿いのマンション1階に「もとまちユニオン日吉店」をオープン。個性ある商品の品揃え、さらには商品知識の高いスタッフによる接客などを通じ、もとまちユニオンブランドの浸透に努めています。

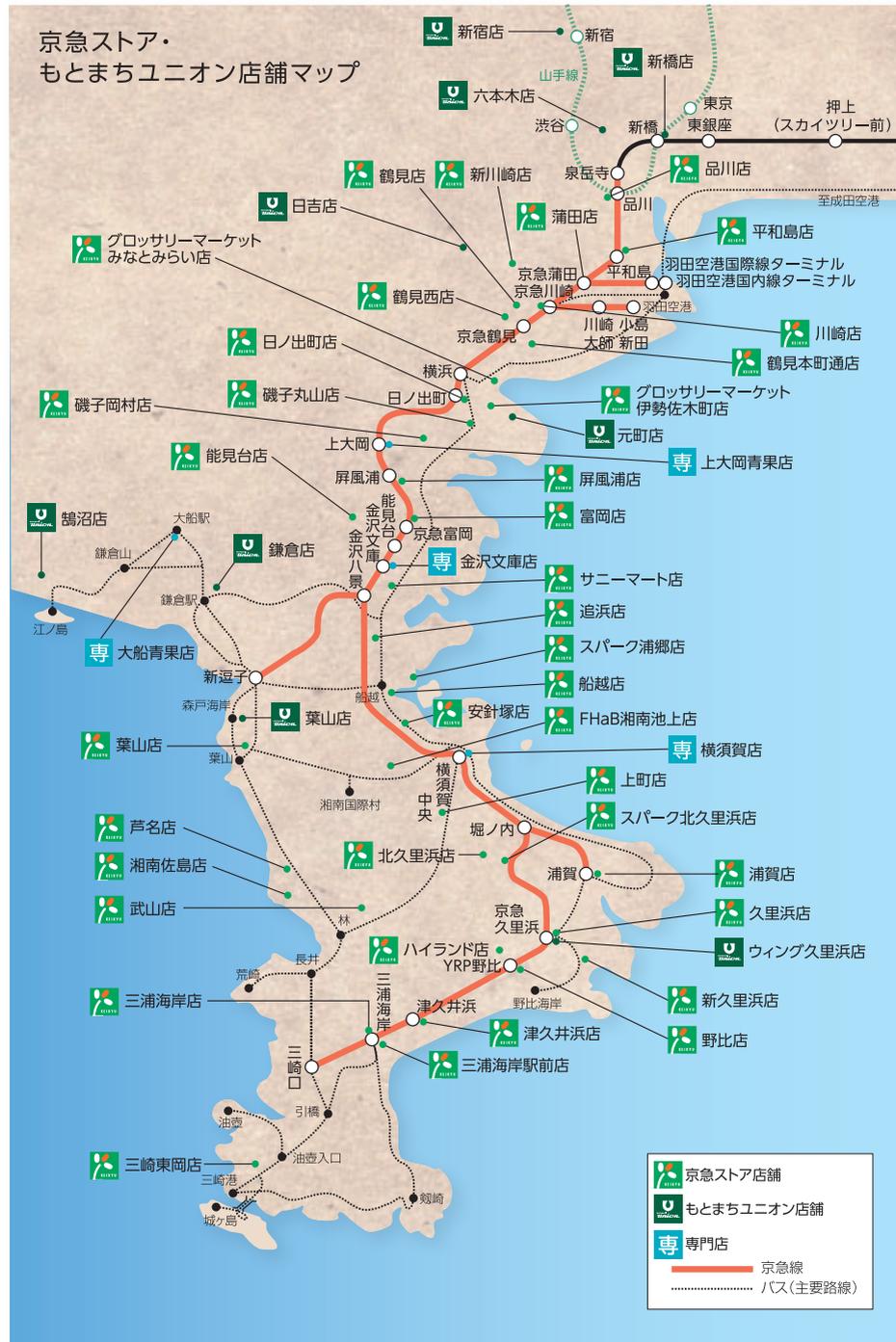


もとまちユニオン新宿店



もとまちユニオン日吉店

京急ストア・もとまちユニオン店舗マップ



※2016年8月1日現在

物品販売業

京急線の駅をお客さまに便利にご利用いただけるよう、「駅ナカ」店舗を中心に展開しています。

利便性を重視した店舗展開

■ ウイングエアポート羽田

2015年10月、羽田空港国際線ターミナルおよび羽田空港国際線ターミナル駅が開業5周年を迎えたことを機に、駅ナカの商業ゾーンを、空港内商業施設の新ブランド「ウイングエアポート」としてリニューアルオープン。新たに誕生した「ウイングエアポート羽田」では、「帰国直前までショッピング」をコンセプトに、海外からのお客さまをターゲットにした免税サービスを実施する店舗を誘致、人気を得ています。

2016年4月の第2弾リニューアルでは、ラーメンフードコート「品達 羽田」、グローバルWiFi店舗のリニューアルおよびWi-Fi受取ロッカーの導入、SIMカードの自動販売機設置など、海外からのお客さまにニーズの高いサービスをさらに強化しています。→P17



SIMカード自動販売機 Wi-Fi受取ロッカー グローバルWiFi店舗

■ セブン-イレブン京急ST

セブン-イレブン・ジャパンと提携し、京急線の駅ナカ売店「セブン-イレブン京急ST」を24駅39店舗にて展開。公共料金の支払いや銀行ATMも利用でき、ご好評をいただいています。2013年3月からは、19駅21店舗で、セブン&アイグループのインターネットショッピングサイト「オムニ7」の受取サービスを開始。商品の受取に、お客さまにとって利便性の高い駅ナカ店舗が利用できるようになりました。



セブン-イレブン京急ST 金沢文庫中央店

■ 駅ナカ店舗の活性化

お客さまの多様なニーズに応えるため、鉄道ファンをはじめ多くのお客さまにご利用いただいている京急グッズショップ「おとどけいきゅう」鮫洲店や、話題のスイーツショップが入れ替わりに登場する「スイーツカレンダー」（4店舗）など、魅力ある店舗を展開しています。



スイーツカレンダー（横浜店）

ショッピングセンターの経営

「ウイング」は、駅直結で利便性が高く、ファッショナブルなショップや多彩なグルメ店が並ぶショッピングセンターです。快適さと使いやすさで、お客さまから高い支持を受けています。

駅直結・駅近のショッピングセンター

■ ウイング川崎

2016年4月、京急川崎駅に開業した「京急川崎駅前ビル」内に、京急ショッピングプラザ・ウイングの5館目となる「ウイング川崎」がオープン。「毎日のお気に入りプレイス～駅で楽しむ・駅から始まる・素敵なお毎日～」をコンセプトに、幅広い年齢層のお客さまが気軽に利用できる店舗やサービスを取り揃えました。



● ボーテ ガールの2号店が出店

1階はベーカリーやスイーツを中心に、駅ナカ感覚のマルシェをイメージしたフロア。京急百貨店がプロデュースする癒しのビューティーセレクトショップ「ボーテガール」が川崎エリアに初出店しています。

● レストランフロア

3階のレストランフロアはモーニングからランチ、ディナーまで、様々なシーンで利用できるオールデイダイニングとして展開しています。（京急EXイン 京急川崎駅前のフロントとも直結。）

■ 京急ショッピングプラザ・ウイング

① ウイング新橋

新橋駅に隣接した地下街型ショッピングセンター。利便性を重視するお客さまを中心にご利用いただいています。



ウイング新橋

② ウイング高輪

品川駅前にEAST・WESTの2館。国際都市「品川」の玄関口として、ファッションからグルメまで洗練されたショップが並んでいます。



ウイング高輪WEST

③ ウイング上大岡

上大岡駅と京急百貨店に直結し、地下1階、地上3階の広々としたフロアに、ファッション・雑貨・飲食などの人気店が出店。



ウイング上大岡

④ ウイング久里浜

京急久里浜駅直結。専門店と京急ストアの融合により、幅広い品揃えで親子3世代が楽しめる施設。



ウイング久里浜

京急プレミアポイント

京急プレミアポイントで沿線の暮らしをますます便利に！

京急グループの施設および店舗をはじめ、羽田空港※1や横浜ポルタなどの京急線沿線の「京急プレミアポイント」加盟店で、ご利用金額・ご利用頻度に応じてポイントが貯まります。貯めたポイントはポイント券にお引き換えでき、「京急プレミアポイント」加盟店でご利用いただけます。2016年3月には、京急線駅ナカでも京急プレミアポイントが貯まる「京急駅ナカポイントサービス」を開始するなど、会員の皆さまに、沿線での毎日の生活をより便利によりお得にお過ごしいただけるよう、各種サービスの向上に取り組んでいます。



※1：一部対象外がございます。

■カードの種類と機能

京急線沿線でポイントが貯まる、お得な3種のカード。お客さまのライフスタイルにあわせてお選びいただけます。

	クレジット機能付ポイントカード	ポイント専用カード
年会費	1,905円(税別、初年度無料)	無料
基本ポイント	○	○
ボーナスポイント	○	○
クレジットポイント ※2	○	○
クレジット決済	[加盟店]	100円 >> 1P
	[羽田空港]※3	100円 >> 2P
	[非加盟店]	100円 >> 1P
京急線鉄道定期券購入	200円 >> 1P	200円 >> 1P
PASMOオートチャージサービス	200円 >> 1P	200円 >> 1P
京急ケータイdeウィング	200円 >> 1P	200円 >> 1P
京急オンライン書店 BOOKFAN by eBookJapan	100円 >> 5P	100円 >> 5P
揭示割引・優待サービス	○	○
ETCカード	○	○
カード付帯保険	○	-

※2：クレジットポイントは、京急プレミアポイントクレジット機能付ポイントカードによるカード決済で貯まります。 ※3：羽田空港第1・2旅客ターミナル

■京急ならではのサービス！（クレジット会員に限る）

- クレジット払いで京急線の鉄道・バスの定期券がご購入いただけ、ポイントも貯まります 🍷
 - PASMOオートチャージサービスをご利用の際もポイントが貯まります 🍷
 - 京急ケータイdeウィングをご利用の際もポイントが貯まります 🍷 ➡P19
- （「京急ケータイdeウィング」会員のご登録には、京急のクレジット機能付ポイントカードが必要です。スマートフォンからもご利用いただけます。）
※モーニング・ウィング号はご利用いただけません。

京急プレミアポイントの詳細は www.keikyuu-point.jp

その他事業

- 建設・土木・造園業
- ビル管理業
- 輸送用機器修理業
- 情報処理業
- 電気設備工事業
- 自動車教習所業

長年にわたって築かれた技術と経験を礎にした、建築・土木・造園業、電気設備工事業の拡大はもとより、障がい者の雇用創出を推進する鉄道業界初の特例子会社「京急ウィズ」など、グループ全体で京急線沿線の地域社会の発展に貢献しています。

未来に向け信頼をかたちにした京急建設

■京急建設



豊かな都市環境や自然との共生など、様々な快適環境を追求し、多様化する社会とお客さまのニーズに応えるため、新時代の総合建設業として、これまで培ってきた経験と技術力をもとに綿密なマーケティング調査をすすめ、基本構想から設計・施工・維持管理までを一貫して行っています。

「未来に向け信頼をかたちにした京急建設」をスローガンに、お客さまに安心と信頼を提供し、社会から求められ、社会に貢献できる企業を目指しています。

長年培われた秀逸な技術力による施工品質の提供

■京急電機

主力事業である鉄道部門は、特殊な技術力と確固たる安全の確保を基に120km/hで高密度高速度運転をする京急線の保守・改良工事を行い、安全かつ安定した輸送に貢献しています。また、発電設備、電気設備、空調・衛生設備に精通した設備部門は、様々な設備に対応できる技術力と豊富な実績を背景に、新設工事から、省エネ化、設備の改良工事や保守点検に至るまで、多彩なニーズに万全な体制でお応えしています。



「住まい」に関する様々なニーズに応える

■京急リブコ



京急リブコは沿線活性化策の1つとして、ストック事業の強化を目的としたグループ内の再編により、2015年7月に誕生しました。「マンション管理事業」、「リフォーム事業」、空き家管理・ハウスクリーニングなどの「住生活支援事業」を通じて、沿線のお客さまの快適な生活をサポートしています。住まいの快適性や資産価値を高めるために、京急グループの長年の経験と豊富な実績に裏付けられた提案で、お客さまのご希望を叶えていきます。 ➡P16

|||| 業界に先駆けた技術革新とシステム開発

■京急ファインテック

卓越した技術で信頼の品質を創造する輸送用機器修理業では、鉄道・自動車等の車両更新・保守、販売業務を柱とした事業を推進。また、駅構内や事務所の備品製造取付など、積極的に取り組んでいます。今後もお客さま第一主義を掲げ、様々な側面から地域社会に貢献していきます。



鉄道車両全般にわたる事業を幅広く展開

|||| 沿線の生活に密着したサービスを提供

■京急キッズランド

高架下や駅近マンションなど、駅へのアクセスに利便性が高い京急グループの施設を活用し、「京急キッズランド」（認可保育園7園）を展開し、沿線地域の子育てを支援しています。保育園と家庭と地域の協働を目指し、地域の皆さまと交流し、お子さまを安心してお預けできる施設として運営しています。



■京急ライフサポート

網戸の張り替え、水廻りのトラブルやマンション専有部の全面リフォーム、戸建て住宅の増改築工事など、安心施工で快適なお住まいのカタチを提供する「住まいのリフォーム」、ご要望に合わせたオーダーメイドサービスで暮らしのあれこれをお手伝いする「家事代行・おそうじサービス」、長期出張やご転動中に不在となる部屋・庭の手入れをする「留守宅管理」、訓練された警備員が最新技術を駆使して日常生活を24時間サポートする「ホームセキュリティ」、介護のご相談、ケアプランの作成、ホームヘルパーの派遣を通じて介護のお手伝いをする「介護サービス」を展開しています。建物総合管理、ホームヘルプサービスで培ったノウハウを活かし、沿線の皆さまの暮らしをこころを込めてお手伝いします。



|||| 障がい者の雇用の場を創出

■京急ウイズ

地域社会の皆さまとのより良い関係を育んでいくために、障がいのある方や高齢の方が対応できる業務を集約し、より働きやすい環境を提供する一方で、雇用の一元管理などの業務の効率化を進めています。「あらゆる人がともに住み、ともに生活できるような社会を築く」というノーマライゼーションの理念を掲げ、「生産性を発揮できる仕組みづくり」「職域拡大の推進と個人の能力向上」「人材育成とサポート体制の強化・促進」を運営方針とし、これまでに駅清掃業務、クリーニング業務、布団乾燥業務や京急電鉄本社ビル内で宅配受付・立会業務などの事業を行うなど、京急グループ一丸となって職域の拡大に努め、「障がい者雇用の促進」と「ノーマライゼーション意識の徹底」に努力しています。2016年6月現在、障がい者の雇用の促進などに関する法律に基づいた京急グループの関係会社特例認定会社は、京急電鉄と京急ウイズを含め20社で、障がい者雇用率は2.39%となりました。



クリーニング工場での作業風景

Column

特例子会社とは？

設立時に障がい者の雇用に配慮し、一定の条件を満たしていると公共職業安定所長の認定を受けた場合「特例子会社」として認められます。特例子会社に雇用されている従業員は親会社に雇用されているとみなして、親会社の障がい者雇用率を計算することができ、これにより企業は障がい者雇用を推進しやすくなります。

|||| こころ温まるお見送りの儀式をご提案

■京急メモリアル

経験豊かなスタッフが、こころを込めてご葬儀をサポート。3か所ある斎場は、いずれも駅から近く、ご会葬者に便利な好立地。ご親族のための仮眠もできる和室の控え室や、故人を偲び、語らいのひとときを提供する会食室など、配慮の行き届いた空間で、こころ温まる葬儀式をご提供しています。



|||| 沿線のカーライフを応援

■京急自動車学校

「上大岡校」「茅ヶ崎校」の2校の自動車学校を運営しています。無料送迎バスに加え、乳幼児をお連れの方のために、無料託児所を完備し、安心して学べる環境の中で安全を最優先し「人に優しい」ドライバーを育成しています。



京急グループのCSR・その他

- 社会的責任に対する取り組み ●危機管理
- 京急グループにおける安全・安心なサービス ●環境
- 住民や自治体との取り組み ●PR活動 ●CS活動
- 株主・投資家への取り組み IR活動

社会的責任に対する取り組み

京急グループは、グループ全体が協力して社会的責任を果たし、豊かな都市生活の基盤づくりを通じて社会に貢献できるよう、CSR推進体制の充実に注力しています。

コーポレートガバナンス

■コーポレートガバナンスの基本的な考え方

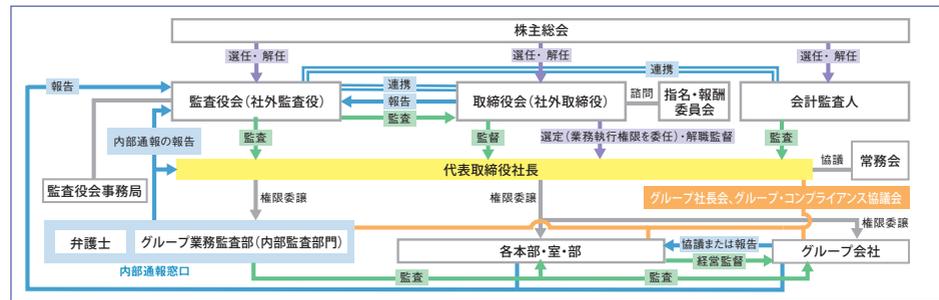
京急グループは、法令を順守し、経営の透明性・健全性を確保したうえで、経営計画の達成に向けて、適法かつ適正に意思決定と職務執行を行うことにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しています。京急電鉄は、現状において、適時かつ適切に取締役会などの運営を行い、迅速かつ適切な意思決定ができていると考え、従前どおり監査役制度を採用しています。取締役会は、社外取締役3名を含む16名で構成され、法令・定款で定められた事項や経営上の重要事項の決議および報告ならびに職務執行の監督を行っています。また、常勤取締役および常勤監査役で構成する常務会は、取締役会に付議する事項を協議するとともに、詳細な業務に関する事項を審議することで、取締役会から代表取締役社長への権限委譲を進めています。さらに、監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成され、各監査役の監査状況の報告および監査意見の形成を行っています。各監査役は、経営状況の監査や取締役の職務執行の適法性などの監査を行うほか、取締役会などの重要な会議に出席し、必要に応じて意見陳述を行っています。このほか、代表取締役と監査役との間で

職務執行や監査に関して定期的に会合を行い、監査上の重要課題などについて意見交換を行っています。なお、取締役の事業年度の経営責任を明確にするとともに、経営環境の変化に迅速に対応した経営体制を構築することができるようにするため、取締役の任期は1年としています。

京急電鉄では、公共交通機関を中心に事業を行っている社会的責任を踏まえ、短期的な業績に限らず、事業継続の大前提となるサービス・商品の安全確保など中長期にわたる企業価値向上を実現するため、取締役会においては、京急グループの事業や戦略に精通する取締役を中心とした体制をとっています。また、社外役員が独立した立場から経営に参画することで、さらに透明性、客観性の高いコーポレートガバナンス体制を推進できることから、上記に記載した体制を採用しています。

グループ全体においては、グループ会社社長が出席するグループ社長会を定期的に開催し、グループ全体における経営方針の徹底と経営情報の共有化を図っています。

京急グループ コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンス

■コンプライアンスの基本的な考え方

京急グループは、法令や社会規範に則り、京急グループを取り巻くすべての皆さまからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、「京急グループ・コンプライアンス指針」、「京急グループ・役員および従業員行動基準」を定めています。

京急グループ・コンプライアンス指針

- 1 お客さまに対して**
お客さまの豊かな生活のために、安全で、満足を得られるサービス・商品の提供に努めます。
- 2 株主・投資家に対して**
投資に対する期待に応えるために、長期的・安定的な企業価値の増大を目指した事業活動と、適時・適切な会社情報の開示に努めます。
- 3 地域・社会・環境に対して**
よりよい社会の形成に貢献するために、地域社会との協調・連携に努めるとともに、地球環境を守るために、環境への負荷軽減に努めます。
- 4 取引先に対して**
相互の繁栄のために、合理的な商慣習に則った、公正・透明な取引に努めます。
- 5 従業員に対して**
従業員が安心して意欲的に働くことができるために、個人の尊重と、良好な職場環境の維持・向上に努めます。

京急グループ・役員および従業員行動基準

- 1 お客さまに対して**
(1) 私たちは、常にお客さまの安全を最優先に考え、サービスや商品を提供します。
(2) 私たちは、お客さまのニーズを把握するとともに、お客さまの声を活かし、満足度の高いサービスや商品の提供に努めます。
- 2 株主・投資家に対して**
(1) 私たちは、株主・投資家などから正しい評価を得られるよう、適時・適切な企業情報の開示に努めます。
(2) 私たちは、業務上知りえた内部情報を利用して疑惑や不信を招く株式の売買などを行いません。
- 3 地域に対して**
(1) 私たちは、地域に密着した企業グループの一員であることを自覚し、地域の発展のために活動します。
(2) 私たちは、明るく住みやすい社会となることを目指して、地域社会への貢献に努めます。
- 4 社会に対して**
(1) 私たちは、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力との関係を断ち、毅然とした態度で対応します。
(2) 私たちは、社会的に許されない政治献金や寄付、社会から誤解や不信を抱かれるような接待や贈答を行わず、また、受けません。
- 5 環境に対して**
(1) 私たちは、地球環境を守る担い手として、環境への負荷軽減、資源の有効活用に努めます。
(2) 私たちは、環境の保全に配慮し、自然環境と調和した事業活動に努めます。
- 6 取引先に対して**
(1) 私たちは、不当な取引制限や、不正な方法による取引は行いません。
(2) 私たちは、取引先との間で公正な取引関係を築き、会社と取引先の双方にとって最適な取引を行うよう努めます。
- 7 会社に対して**
(1) 私たちは、会社の財産(知的財産、企業ブランドを含む)を大切に扱い、その価値の維持・増大に努めます。
(2) 私たちは、会社の重要情報およびお客さまや他社の機密情報を厳重に取り扱い、漏洩の防止に努めます。
- 8 役員・従業員相互の関係**
(1) 私たちは、職場における事故の防止に全力を尽くし、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。
(2) 私たちは、個人の人格と人権を尊重し、国籍・性別・宗教などによる差別やセクシュアルハラスメントなどの嫌がらせのない、明るく活気のある職場づくりに努めます。

■コンプライアンスに関する教育・研修

京急グループの全従業員が、コンプライアンスに対する理解を深め、一人ひとりが正しく行動できるよう、新入社員から管理・監督職まで階層別に研修を実施し、2015年度は700人の社員が受講しています。また、日々の業務を遂行するうえで、どのようなことに注意して行動すべきかをまとめた「京急コンプライアンスブック」を研修等において適宜配布したほか、「京急グループ・コンプライアンス指針」や「京急グループ・役員および従業員行動基準」をカードサイズに印刷した「コンプライアンスカード」を、グループのすべての役員および従業員に携行させ、常にその趣旨を意識し、行動できるようにしています。

■個人情報保護方針

京急グループは、個人情報保護に対する社会的要請に応えるべく、法令などを順守するとともに、個人情報保護に関する取り組み姿勢を明確にするため、プライバシーポリシーを定め、忠実に実行します。

※個人情報保護方針の全文は、京急電鉄ウェブサイト(トップページ→プライバシーポリシー)をご覧ください。

■内部通報制度(コンプライアンス窓口)

京急グループでは、所属会社や雇用形態を問わず、すべての従業員が利用できるコンプライアンス窓口を社内と社外に設置し、コンプライアンス違反に関する通報を受け付けています。

また、「内部通報規程」を整備し、通報者の保護など公正かつ適正な窓口の運営を徹底しています。さらに、コンプライアンスカードに窓口の連絡先を記載するなど、グループの全従業員に周知し、窓口の実効性を確保することで、コンプライアンス違反情報を早期に察知し、違反を防ぐ体制を構築しています。

危機管理体制

■リスクマネジメントの基本的な考え方

公共交通機関を中心に事業を行う京急グループの社会的責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、京急グループ危機管理規程に基づき、平時から安全対策に積極的に取り組むとともに、万一の事故や災害などの発生に備え、各種対応方法を整備しています。また、危機発生時に、グループ全体の情報を集約・共有することにより、危機のすみやかな収拾と再発防止を図っています。

さらに、グループ全体のリスク情報を管理するため、各部門は当社事業に係るリスク情報を把握するとともに、職制および業務分掌規程に基づき、所管する各グループ会社のリスク情報を把握し、損失の最小化を図るための対策を講じています。

このほかグループ業務監査部は、各部門および各グループ会社のリスク管理体制についての監査を行っています。各部門が把握するリスク情報については、グループ全体のリスク情報として集約し、グループ・コンプライアンス協議会において情報の共有化を図っています。

||||| 危機管理

京急グループでは、自然災害、テロ攻撃などの緊急事態に際し、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続および、早期復旧を可能とするため、危機管理体制の強化に取り組んでいます。

■危機管理委員会の設置

公共交通機関を中心に事業を行う京急グループの社会的な責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、グループ全体の危機に対応する事項を検討・立案する「危機管理委員会」を設置し、平時から安全対策などに積極的に取り組んでいます。また、京急電鉄の各本部長、部長およびグループ会社社長は「危機管理統括責任者」または「危機管理責任者」として、危機管理委員会の方針および指示に従い、自部署・自社における対応策の立案・実行・見直しを行っています。

■危機対策総本部の設置

重大な事件、事故、不祥事、自然災害、疫病、テロの発生など、グループ全体での対応が必要な場合には、京急電鉄の社長もしくは危機管理委員会委員長を本部長とした「危機対策総本部」を設置し、迅速かつ正確な事実確認と情報公開を行うとともに、ステークホルダーの損害を最小限にとどめるための具体案を立案し、実行します。

■京急グループ全体での情報の集約・共有

危機のすみやかな収拾と未然防止のため、京急グループの緊急連絡網を整備し、一斉配信メールを活用するなど、京急グループ全体の情報の集約・共有を図っています。また、地震など大規模災害が発生した際に、グループ会社間が連携して対応していけるように、様々な訓練を行っています。

■自衛消防訓練の実施

京急電鉄本社ビルでは、消防法に基づく自衛消防訓練を毎年春・秋の年2回実施しています。この訓練は、主に新入社員や新任者を対象に実施しており、通報・避難・消火などの基本的な訓練、AEDを使用した応急手当訓練や起震車を使用した地震体験訓練などをとおして、万一の災害時にも落ち着いて行動できることを目指しています。



■鉄道本部防災訓練

大規模地震を想定した訓練として、毎年防災週間に実施しています。東海地震の警戒宣言発令を想定した予知対応訓練、その後地震が発生し、災害が起きたことを想定する発災対応訓練を実施しました。2015年度は金沢文庫現業事務所内に危機対策本部の設置および京浜急行バスグループと危機対策総本部を通じて運行情報を相互に共有する訓練を、合わせて実施しました。



京急グループにおける安全・安心なサービス

京急グループの交通機関や施設を利用されるお客さまが、いつでも安心してご利用いただけるよう、積極的に「安全・安心」に取り組んでいます。

■京浜急行バスグループ [安全・安心輸送に関する取り組み]

京浜急行バスグループでは、大きな地震が発生し、津波警報が発令された際に安全な場所へ避難する目安として、バス車内に掲出している運行系統図に、神奈川県、神奈川県内市町村および大田区発行の津波ハザードマップをもとにした浸水予想地域を緑青色に着色し、震災時避難場所、津波避難場所および津波避難ビルの名称と位置を掲載しています。このマップは、2016年4月1日現在、一般路線バスのすべての営業所に掲載しています。



2016年4月1日現在 掲載営業所

- ◎三崎営業所 ◎久里浜営業所 ◎衣笠営業所 ◎逗子営業所
- ◎能見台営業所 ◎追浜営業所 ◎堀内営業所 ◎鎌倉営業所
- ◎大森営業所 ◎東京営業所 ◎杉田営業所

※浸水予想地域は各自治体が最大クラスの津波を想定して公表したものを参考に掲載しておりますが、浸水予想地域の範囲外でも津波の浸水が発生する場合があります。浸水の深さは場所によって異なりますので、あくまでも目安としてご覧ください。

■京急ストア [食の安全]

社内に食品安全委員会を設置し、食の安全・安心について全社的な対応を図っています。また、各店舗においては、従業員に対して定期的な腸内細菌検査の実施や食品衛生に関する教育を行っているほか、外部機関に委託し、商品の細菌検査を実施するなど、食の安全管理に細心の注意を払っています。



環境

京急グループは、自ら定める「京急グループ環境基本方針」に則り、全社員が日ごろの事業活動や社会貢献活動を通して、環境保全と環境負荷の低減や、省エネルギーに努めています。

京急グループ 環境基本方針

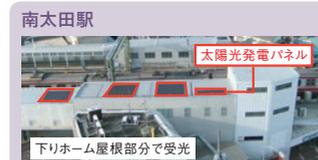
私たちは、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。

行動指針

- 私たちは、環境にやさしい公共交通機関を中心に、さらなる利便性の向上と魅力ある沿線価値の創造に努めます。
- 私たちは、資源やエネルギーの有効活用と、廃棄物の削減・再利用・再資源化への取り組みを通じ、環境負荷の低減に努めます。
- 私たちは、次世代を担う子ども達に、より良い沿線環境を引き継ぐため、沿線の豊かな自然との共生・保全に努めます。
- 私たちは、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にし、地域社会との協調・連携に努めます。
- 私たちは、環境に関する法令等を正しく理解・順守するとともに、啓発・教育活動を通じて、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めます。

■鉄道施設での薄膜太陽光発電システムの導入

神奈川県補助金事業として南太田駅と金沢文庫駅に薄膜太陽光設備を導入しました。駅前街路灯や駅構内照明に活用しています。



■電気自動車の導入

日産自動車株式会社の募集する「e-NV200フリートモニターキャンペーン（商用自動車の3年間無償貸与）」に参加し、1台を金沢変電区の事業用車として活用しています。



■LED照明を採用した車両を導入

2012年3月以降に新造・更新を行った車両については、客室照明すべてにLEDを採用しています。従来の蛍光灯に比べ、照明の消費電力を約3割削減できるこれらの車両には、室内両端およびドア上にLED照明であることをお知らせする案内を掲示しています。



||||| 住民や自治体との取り組み

人々の生活に密着した様々な事業を行っている京急グループだからこそ、地域に根差した企業集団として、住民の皆さまや自治体と連携した地域貢献に努めています。

地域住民とのコミュニケーション

■ 事業所周辺での美化活動

京急グループでは、駅や事業所周辺で日常的な清掃活動を実施しているほか、沿線の自治体や地元団体などが実施している地域美化活動にも積極的に参加し、コミュニケーションを図りながら、きれいなまちづくりに取り組んでいます。



■ 観音崎ビーチクリーン活動

京急グループ推進協議会がCSR活動の一環として、積極的にボランティア活動をすすめていこう!という取り組みの第一弾として、ボランティア研修およびビーチクリーンを実施しました。研修では、「京急グループ社員としてできるボランティア活動について考える」をテーマに、京急沿線で取り組むボランティアについて活発な意見交換を行いました。



■ 駅長が小児病棟を訪問

京急電鉄では、平和島、京急蒲田および羽田空港国内線ターミナル駅の3駅長が、2016年2月に東京都大田区の東邦大学医療センター大森病院小児病棟を訪問しました。当日はクイズ大会やペーパークラフトの制作、制服を着用しての記念撮影などを実施し、病気と闘う子どもたちと和やかに楽しいひと時を過ごしました。



■ 子どもたちが描いた「環境絵日記」作品を展示

京急百貨店では、横浜市資源リサイクル事業協同組合・港南区役所区政推進課と共同で、港南区に寄せられた「環境絵日記」の展示を2016年2月に行いました。「環境絵日記」とは、環境問題や環境保全について、子どもたちが家庭で話し合ったことや自分で考えた内容を絵と文章で自由に表現するものです。



■ 「“楽”ecoプロジェクト」を実施

京急百貨店では、お中元・お歳暮ギフトのご注文1個ごとの販売からお届けまでに発生するCO₂排出量に、横浜市が所有する水源林支援を行い認定された、整備を行った森林によるCO₂吸収量をあてるカーボンオフセット型の「“楽”ecoギフト」を販売しています。2015年度は、約6.6トンのCO₂吸収量を充当しました。また、京急ストアでは、「“楽”eco活動」の取り組みとして2010年10月から植林による環境支援活動を行っています。お客さまのレジ袋辞退1回につき京急ポイントカードの1ポイント相当を京急ストアが負担し、NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する森林再生プロジェクトに寄付しています。現在までの累計で3,000本の木を植えることができました(2016年6月末現在の植林先は北海道雨竜郡)。



■ EV(電気自動車)の推進

京急百貨店

外商用営業車としてEV「日産リーフ」3台を導入しています。2015年4月から2016年3月までの1年間で、同程度の大きさのガソリン車で走行した場合と比較して、約2.6トンのCO₂削減に貢献しました。



京急グループ

自治体としてEVの普及促進を図っている横須賀市の施策に賛同し、横須賀市内にある京急グループ施設にEV用の充電器を設置しました。設置場所は、観音崎京急ホテル、同ホテル内の温浴施設SPASSO、京急ストアFHaB湘南池上店、京急ストアハイランド店の各駐車場で、営業時間内に無料でご利用いただけます。

※将来的に有料化される場合もあります。



■ 缶・ペットボトルの減容処理

京急EXイン・京急ウィズ

専用の機械を用いて缶やペットボトルの減容処理を行っています。ゴミの体積を減らすことで、効果的なゴミ収集を図っています。



■ LED照明の導入

京急グループ

京急グループ内の各商業施設・ホテル・事務所などにおいて、照明のLED化を進めてきました。特に、照明の稼働時間が長い商業施設においては、京急百貨店で6,300灯の照明器具をLED化しており、年間780トンのCO₂排出量削減に貢献しています。



■ 「小網代の森」の自然環境保全に協力

三浦市の「小網代の森」は自然のままの水系が残され、希少種を含む貴重な生態系が形成されている、地域のかげがえのない財産です。京急電鉄は、神奈川県による「小網代近郊緑地保全区域」の指定に同意し、所有する約10haを自主保存するとともに、約2haを神奈川県に寄付、さらに2014年5月には森林内を散策するための木道の一部整備し神奈川県に寄付するなど、小網代の森の自然環境保全に協力しています。



■イベント列車の運行

京急沿線の催事等と連携し、沿線の魅力を伝えるイベント列車の運行を実施しています。

京急ジャズトレイン

川崎市および、かわさきジャズ2015実行委員会と共同で、「かわさきジャズ2015」のプレイベントとして、2015年11月に、一夜限定で大師線を運行。走る電車をライブ会場に見立て、電車という細長い空間を活かした、臨場感溢れるジャズライブが開催されました。



みうら河津桜号

三浦海岸の河津桜が見ごろになる時期に合わせ、品川駅から三浦海岸駅まで直通のお花見特別列車を2016年2月に運行。車内ではビールと軽食を配布し、琴や三味線の演奏が披露されたほか、終着地の三浦海岸駅においては地元の三浦野菜のプレゼントも行いました。



京急サイクルトレイン

三浦半島の4市1町で構成される「三浦半島サミット」で「自転車半島宣言」が出されるなど、近年、三浦半島では積極的にサイクリストの誘致が行われています。京急電鉄でも、品川駅から自転車を折りたたむことなく、そのまま電車に積み込める特別列車を2016年5月に運行。参加者はサイクリングを楽しむとともに、昼食でみさきまぐろを堪能しました。▶P13



■三浦半島への旅客誘致

三浦半島への観光誘客を通じて、地域活性化と豊かな沿線づくりを図っています。

横須賀市

京急電鉄、横須賀市、横須賀商工会議所は、官民連携による戦略的な集客促進活動を推進し、交流・定住人口の増加、地域経済の活性化などを目的に、「横須賀集客実行委員会」を運営しています。よこすか京急沿線ウォークの実施、エリアマップの発行、旅客誘致イベントでのプロモーションなど、横須賀市の魅力が詰まった企画を3者共同で実施しています。



三浦市

京急電鉄、三浦市、(社)三浦市観光協会は「三浦市観光情報発信協議会」を組織し、三浦海岸納涼会まつり、エリアマップの制作など、数々の魅力溢れる観光催事を開催しています。また、2月から3月にかけて開催される「三浦海岸桜まつり」にあわせ、毎年、夜間ライトアップや桜色の駅名看板の設置のほか、プレゼントキャンペーンを実施するなど、京急線で行く春の三浦半島の魅力を広くPRしています。



河津桜のライトアップ



三浦海岸駅前

■京急あきたフェア2015

7回目となる2015年も、JA全農あきたと共同で、秋田県の協力のもと京急グループの商業施設などにおいて、イベントや物産展などの開催や、秋田県産あきたこまち「あきた ecoらいす」の販売を実施。秋田県産品の販売促進とさらなる認知度向上を目指しました。



生産者・販売者それぞれの立場で交流

秋田米に精通した「JA全農あきた」や、「秋田県立秋田北鷹高校」農業クラブの生徒さん協力のもと、普段、消費者と直接かかわる京急グループ社員が、秋田米の生産についての一連の流れや、食物の大切さ、自然環境への配慮の必要性などを学びました。また、生産者のたまごである「秋田県立秋田北鷹高校」の生徒さんには、消費者であるお客さまの前で収穫した「あきた ecoらいす」の店頭販売を体験してもらい、生産者、販売者それぞれの立場で交流を図りました。



■京急くまもとキャンペーン

熊本県および熊本市と共同で、京急電鉄の車両カラーと火の国熊本のイメージカラーが同じ「赤」という共通点から、京急沿線で熊本のPRキャンペーンを実施しました。

「くまもと号」の運行

キャンペーン初日から、京急線を熊本の魅力が詰まったラッピング列車「くまもと号」が運行。車両の外装には、人気ご当地キャラクターのくまモンのイラストや熊本城おもてなし武将隊と熊本城をラッピングし、車両内は熊本城、阿蘇山などの観光情報や、熊本の物産品をPRするポスターでジャックしました。



京急くまもんスタンプラリーの実施

京急線の各駅(品川・平和島・横浜・上大岡・京急久里浜)に熊本の物産品をデザインしたスタンプ台を設置し、集めたスタンプの個数に合わせて、抽選で「羽田-熊本往復航空券」や「熊本物産品詰合」などが当たるスタンプラリーを実施したほか、京急グループの商業施設では、けいきゅんとくまモンのキャラクターショーを開催。新聞やテレビなど、多くのメディア媒体で紹介されました。



PR活動

沿線情報誌、ウェブサイトやSNSなど、京急電鉄では、あらゆるメディア媒体を活用して京急の認知度向上に努めています。

■沿線情報誌（フリーペーパー）の発行

京急線各駅では無料の沿線情報誌をお客さま向けに配布しています。1956年に発行をはじめ創刊60周年となる京急のまちマガジン「なぎさ」では、沿線の魅力やおすすすめスポットなどを紹介しています。また、2015年5月から発行を始めた「Haneiro（はねいろ） KEIKYU」では、羽田空港のトピックスや世界各国の旅情報などを発信しています。



■京急電鉄マスコットキャラクター「けいきゅん®」

赤い電車の京急電鉄マスコットキャラクター「けいきゅん」は、2011年羽田空港国際線ターミナル駅開業1周年を記念して誕生しました。新1000形のボディーにつぶらな瞳の人気者。京急沿線のびらり散歩や、子どもと遊ぶのが大好き。趣味は旅行で、羽田空港から国内外へ旅立ちます。京急の広報PR担当として沿線各地のイベント等で活動しています。最近では電車についている車内ディスプレイや券売機でもご案内をしています。



公式サイト <http://www.keikyu.co.jp/information/recommend/keikyun/>
 Twitter ID: @keikyunofficial
 URL: <https://twitter.com/keikyunofficial>
 facebook <https://www.facebook.com/keikyunofficial>



■駅メロディの導入

京急線の駅をご利用いただいているお客さまに一層の親近感を感じていただくとともに、駅周辺地域をPRするため、2008年度から、一部の駅の列車接近案内音として駅メロディを導入しています。列車が駅に接近すると、ホームに設置された列車接近案内装置からメロディが流れる仕組みです。

実施駅名	使用楽曲(導入時期)
本線	
品川	赤い電車(2008年)
青物横丁	人生いろいろ(2008年)
立会川	草競馬(2009年)
平和島	いい湯だな(2009年)
京急蒲田	夢で逢えたら(2008年)
京急川崎	上を向いて歩こう(2008年)
生麦	ニューヨーク・ニューヨーク(2012年)
横浜	ブルーライトヨコハマ(2008年)
井土ヶ谷	さくら(2015年)
上大岡	夏色(2008年)
金沢文庫	MY HOME TOWN(2008年)
金沢八景	道(2008年)

実施駅名	使用楽曲(導入時期)
横須賀中央	横須賀ストーリー(2008年)
堀ノ内	かもめが翔んだ日(2008年)
浦賀	ゴジラのテーマ(2008年)
空港線	
羽田空港国際線ターミナル	世界に一つだけの花(2010~2015年) Dragon Night(2015年)※駅開業5周年
羽田空港国内線ターミナル	赤い電車(2008年)※駅開業10周年
大師線	
港町	港町十三番地(2013年)
豆子線	
新豆子	LIFE(2008年)
久里浜線	
京急久里浜	秋桜(2008年)
三崎口	岬めぐり(2008年)

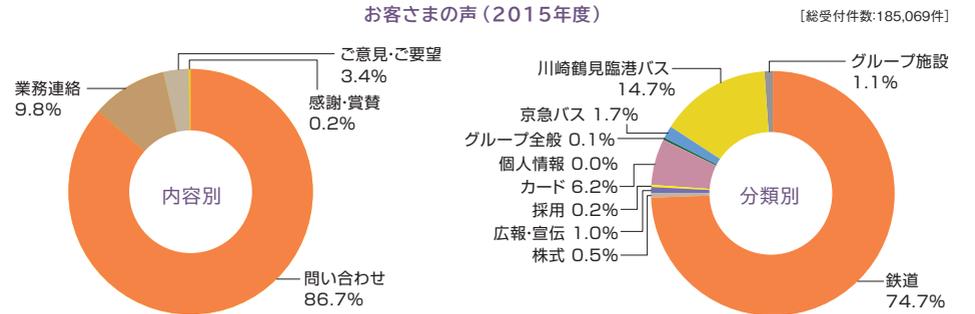
(2016年4月現在)

CS活動

京急ご案内センターを中心に、お客さまとのコミュニケーションを図り、その声をサービスに活かす取り組みを行っています。

■京急ご案内センター

京急電鉄では、京急グループをより身近に感じていただけるよう、京急線の時刻や運賃、お忘れ物のご案内はもちろん、京急グループのサービスや施設に関するお問い合わせ、ご意見・ご要望にお応えするため、「京急ご案内センター」を開設しています。



■お客さまの声に基づく改善事例

事例:みさきまぐろきつぷ

ご意見

食事をしようと思ったが、混雑していて食べられなかった。事前に混雑がわかれば、ほかの店に行けたのに…。

対応

店舗の混雑状況を確認できるシステムを開発し、品川駅・三浦海岸駅・三崎口駅のほか、スマートフォンやパソコンで確認できるようにした。



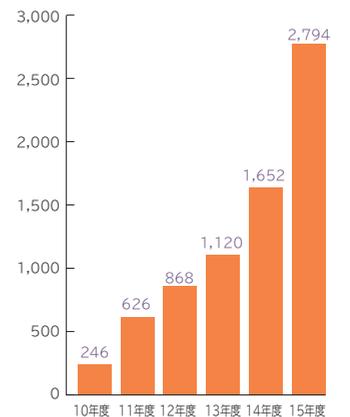
■京急通訳サービス

羽田空港の国際化に伴い、2010年10月から、京急線全72駅(泉岳寺駅を除く)および京急グループ各社で利用可能な「京急通訳サービス」を行っています。英語・中国語・韓国語に対応する専門オペレーターが、3者間通話により、お客さまとの会話を電話でサポートしています。複雑で多岐にわたる質問にも、京急通訳サービスを利用することで、迅速かつ正確な対応が可能になり、利用件数も年々増加しています。これからも、海外からのお客さまが、より安心して京急グループの交通機関や施設を利用できるようなサービスを提供するとともに、お客さまのニーズをサービス向上に反映できるよう、取り組みの検証を進めていきます。

京急ご案内センター
 ハローハロー
TEL 03-5789-8686
 または TEL 045-441-0999
 受付時間/平日9:00~19:00 ※2016年9月16日から。
 土・日・祝日9:00~17:00
 ※営業時間に変更になる場合がございます。



京急通訳サービス利用件数の推移



株主・投資家への取り組み IR活動

京急グループでは、透明性の高い経営の実現に向けて、適時・適切な情報開示に努めるとともに、IR活動の強化に取り組んでいます。

株主・投資家とのコミュニケーション

■情報開示

京急グループでは、法令などに基き、重要情報を適時・適切に開示しています。また、ウェブサイトのIRページにおいて、鉄道月次営業成績のほか、決算短信や有価証券報告書、ファクトブック、株主総会や投資家向け会社説明会で用いた資料や動画を公開するなど、株主・投資家への情報開示に努めています。



当社ウェブサイト「IRライブラリー」

■株主総会

毎年800名ほどの株主の皆さまにご出席いただき、1年間の事業内容を、映像やナレーションを用いてわかりやすく報告しています。また、質疑応答を通し、開かれた株主総会を実践しています。さらに、議決権行使の円滑化を図るため、招集通知を発送に先立ちウェブ上で早期開示しています。



定時株主総会

■投資家向け会社説明会

京急グループの経営方針や将来展望、株式や株主優待制度などを、より多くの皆さまにご理解いただき、投資の参考としていただくため、機関投資家・個人投資家向け会社説明会を定期的に開催しています。



機関投資家向け会社説明会

個人投資家向け会社説明会

■IRイベントへの参加

個人投資家の皆さまに京急グループの事業や当社の株式の魅力などをご理解いただき、投資の参考にしていただくため、首都圏だけでなく、全国各地でIRイベントや説明会に参加し、積極的な情報の提供に努めています。



日経IRフェア(説明会)

日経IRフェア(社長講演)

■株主向け施設見学会



観音崎京急ホテル 三浦半島リゾートの魅力体感ツアー
世界とつながる駅の魅力を知る 羽田空港国際線ターミナル駅見学ツアー

株主の皆さまに京急グループの事業について理解を深めていただくため、定期的に株主向けの施設見学会を開催しています。2015年度は「観音崎京急ホテル 三浦半島リゾートの魅力体感ツアー」「鉄道の安全を支える 新町検車区見学ツアー」「世界とつながる駅の魅力を知る 羽田空港国際線ターミナル駅見学ツアー」「安全運行の秘密に迫る 保守作業の現場見学ツアー」の4回を開催しました。

■株主優待のご案内(年2回)

グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

1,000株以上ご所有のすべての株主さま

■京急グループ施設株主優待割引券

(主な割引施設)
京急グループのホテル、京急百貨店、京急ストア、葉山マリーナ、羽田空港駅構内対象店舗ほか



3,000株以上30,000株未満ご所有の株主さま

5,000株以上ご所有の場合、電車・バス全線きっぷもしくは京急EXイン宿泊券(シングル) **いずれか1つ選択**

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
3,000~ 5,000株未満	6枚	—
5,000~10,000株未満	15枚	1枚
10,000~20,000株未満	30枚	2枚
20,000~30,000株未満	60枚	4枚

30,000株以上ご所有の株主さま

いずれか1つ選択 + 電車・バス全線きっぷ15枚 さらに3年以上継続の場合 + 電車・バス全線きっぷ15枚

ご所有株式数	電車全線バス	バス全線バス	電車・バス全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
30,000~45,000株未満	1枚	—	90枚	6枚
45,000~60,000株未満	1枚	1枚	135枚	6枚
60,000株以上	電車・バス共通全線バス 1枚		180枚	6枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

京急電鉄 会社概要

会社概要

社名／京浜急行電鉄株式会社 [Keikyu Corporation]
 創立／明治31(1898)年2月25日(前身:大師電気鉄道株式会社)
 設立／昭和23(1948)年6月1日
 本社／〒108-8625
 東京都港区高輪2丁目20番20号
 資本金／437億円
 代表者／取締役社長
 原田 一之(はらだ かずゆき)
 従業員／1,824人
 主な事業内容／交通事業
 不動産事業
 レジャー・サービス事業
 流通事業
 その他事業

社紋



円形が企業の主体である電車・バスの車輪と、会社の団結とを象徴し、京急のイニシャルKと、片仮名のケの文字を、スピード感、安定感のある型にデフォルメし、この円と組み合わせたもので、Kの先端が円形の外側までシャープにつきでているのは、将来如何なる困難にあっても、その壁を突破して伸展していく力強さをあらわしています。

ロゴ



スローガン

あんしんを羽ばたく力に —— 京急グループ

「安全」。それは、鉄道を中心とした京急グループにとっての社会的使命です。すべては、「安全」を守ることで「安心」につながり、その「安心」が、未来へ羽ばたく力となる。
 このような想いを込めたスローガンが、この「あんしんを羽ばたく力に」です。「あんしん」という言葉によって、お客さまとともに未来を築くグループである、という宣言をし、「羽ばたく」という言葉によって、京急の躍進の象徴である「羽田」を意識させながら、さらなる前進の意思を表明します。

役員

取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫	取締役	佐々木 謙二	常勤監査役	猿田 明里
取締役社長 (代表取締役)	原田 一之	取締役	友永 道子	常勤監査役	國生 伸
取締役副社長	小倉 俊幸	取締役	平位 武	監査役	末綱 隆
専務取締役	田中 伸介	取締役	上野 賢了	監査役	須藤 修
常務取締役	道平 隆	取締役	大賀 祥介		
常務取締役	廣川 雄一郎	取締役	浦辺 和夫		
常務取締役	本多 利明	取締役	渡辺 静義		
取締役	武田 嘉和	取締役	川俣 幸宏		

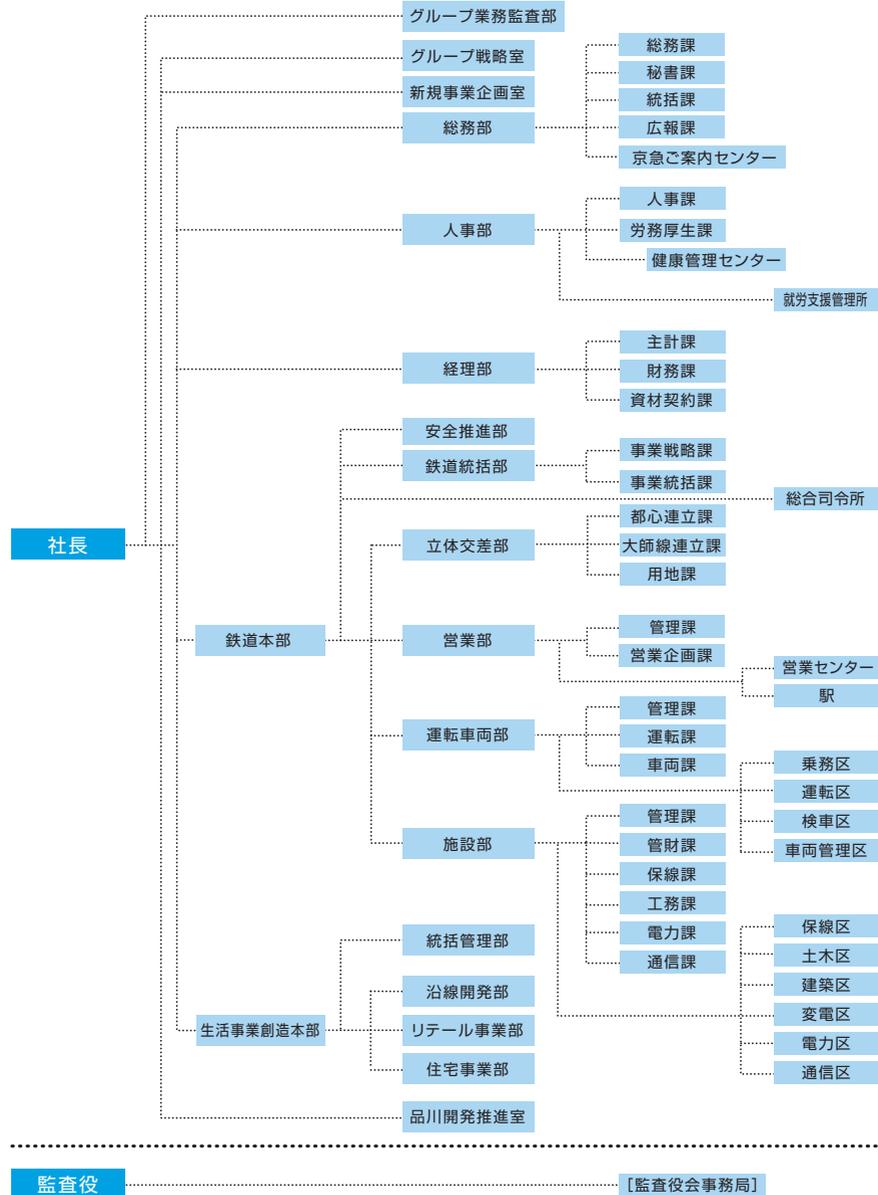
社歌

人間が好きだから-京急の仲間達-

作詞 田中京子 補作詞 荒木とよひさ 作曲 服部克久

- この空が好きだから 微笑が好きだから
 心の夢をふくらます 風色の未来をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この世界で暮してる 人間が好きだから
 この世界で暮してる 人間が好きだから
- この海が好きだから 優しさが好きだから
 瞳の中に映してる 風色の季節をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この地球で暮してる 人間が好きだから
 この地球で暮してる 人間が好きだから
- この街が好きだから ふれ合いが好きだから
 笑顔の花をゆらしてる 風色の希望をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この宇宙で暮してる 人間が好きだから
 この宇宙で暮してる 人間が好きだから

業務組織図



人員構成

部門別人員

区分	性別	人員(人)	平均年齢(歳)	平均勤続(年)
本社	男	378	42.10	20.03
	女	64	34.0	10.06
	計	442	41.07	18.10
現業	男	1340	36.05	14.08
	女	42	34.02	8.04
	計	1382	36.05	14.06
全社	男	1718	37.10	15.11
	女	106	34.01	9.08
	計	1824	37.08	15.06

所属別人員

部・室	性別	男(人)	女(人)	計(人)
グループ業務監査部		7	5	12
グループ戦略室		25	8	33
新規事業企画室		5	0	5
総務部		35	10	45
人事部		51	6	57
経理部		20	3	23
鉄道本部	安全推進部	6	0	6
	鉄道統括部	14	3	17
	立体交差部	20	1	21
	営業部	30	8	38
	運転車両部	1041	35	1076
	施設部	348	11	359
	総合司令所	33	1	34
生活事業創造本部	統括管理部	25	5	30
	沿線開発部	12	3	15
	リテール事業部	11	2	13
	住宅事業部	18	3	21
品川開発推進室		15	2	17
監査役会事務局		2	0	2
合計		1718	106	1824

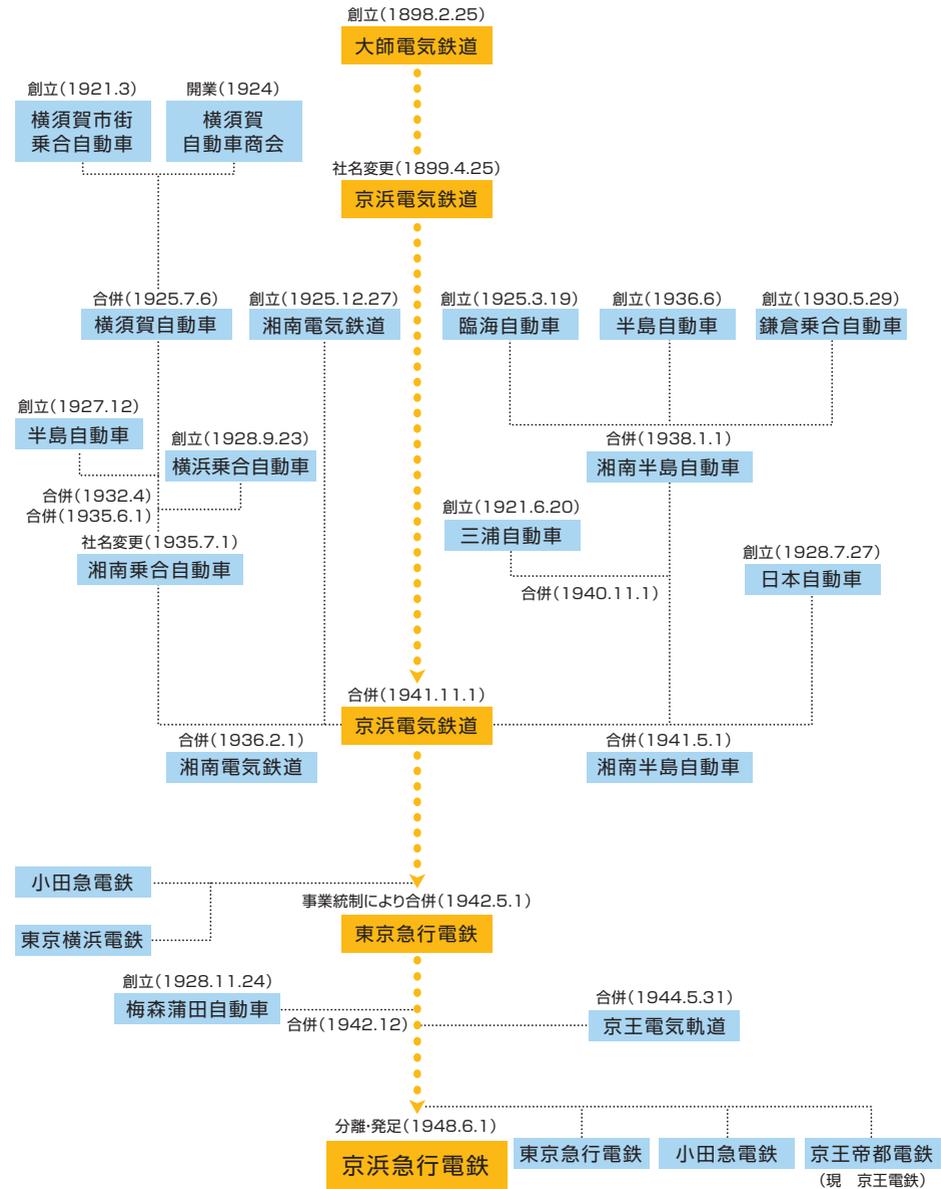
年齢別人員

年齢	人員(人)
16~20歳	55
21~25歳	274
26~30歳	245
31~35歳	258
36~40歳	182
41~45歳	372
46~50歳	248
51~55歳	131
56~60歳	58
61歳以上	1

勤続別人員

年数	人員(人)
0~5年	584
6~10年	309
11~15年	29
16~20年	84
21~25年	357
26~30年	263
31~35年	115
36~40年	70
41年以上	13

沿革図



京急グループ 決算概要

第95期 (2015年4月1日~2016年3月31日)

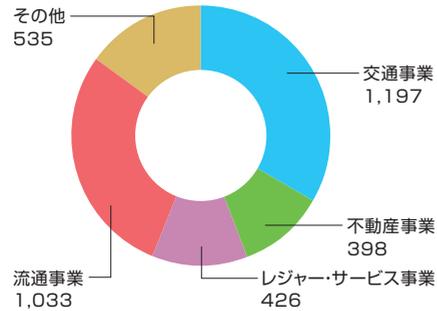
連結決算ハイライト

■ 経営成績の概要

営業収益 3,132億円 (前期比 1.4%減)	営業利益 148億円 (前期比 44.7%減)	経常利益 117億円 (前期比 46.4%減)	親会社株主に帰属する 当期純損失 30億円 (前期は親会社株主に帰属する 当期純利益 107億円)
--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---

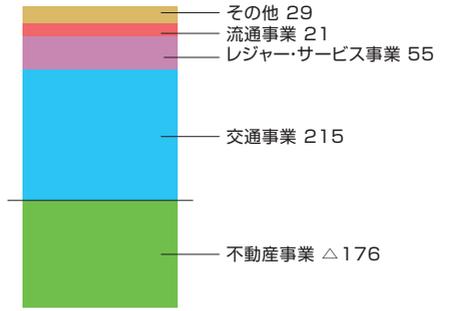
■ セグメント別(事業別)

営業収益(億円)

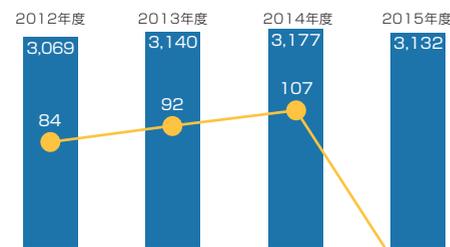


■ セグメント別(事業別)

営業利益又は営業損失(△)(億円)



■ 連結営業収益・親会社株主に帰属する
当期純利益の推移(億円)



■ 総資産・有利子負債等の推移(億円)



◆有利子負債については、社債+借入金+コマース・ペーパーにより算出しております。

Ⅲ 連結財務諸表(要旨)

第95期(2015年4月1日~2016年3月31日)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
資産の部		
流動資産	132,321	151,546
現金及び預金	43,891	45,088
受取手形及び売掛金	16,185	14,266
商品及び製品	2,625	2,519
分譲土地建物	57,250	80,849
仕掛品	1,788	1,155
原材料及び貯蔵品	585	566
繰延税金資産	3,592	2,744
その他	6,423	4,380
貸倒引当金	△ 20	△ 26
固定資産	890,196	918,376
有形固定資産	766,755	763,171
建物及び構築物	309,046	302,698
機械装置及び運搬具	38,509	37,350
土地	154,005	154,732
建設仮勘定	259,307	262,706
その他	5,885	5,682
無形固定資産	8,843	9,312
のれん	2,957	3,192
その他	5,885	6,120
投資その他の資産	114,598	145,892
投資有価証券	65,038	71,656
長期貸付金	1,612	1,802
繰延税金資産	2,890	2,574
退職給付に係る資産	22,466	47,130
その他	22,788	22,936
貸倒引当金	△ 198	△ 208
資産合計	1,022,518	1,069,923

科目	当期末	前期末
負債の部		
流動負債	227,732	240,523
支払手形及び買掛金	39,702	36,268
短期借入金	126,853	131,711
コマーシャルペーパー	20,000	-
1年内償還予定の社債	-	30,006
未払法人税等	3,380	5,147
前受金	6,473	4,968
賞与引当金	1,366	1,435
役員賞与引当金	94	80
その他の引当金	745	-
その他	29,116	30,904
固定負債	573,064	577,055
社債	100,000	100,000
長期借入金	226,909	227,124
繰延税金負債	7,789	19,615
役員退職慰労引当金	357	350
退職給付に係る負債	10,821	9,401
長期前受工事負担金	199,485	193,085
その他	27,700	27,477
負債合計	800,796	817,578
純資産の部		
株主資本	199,803	206,442
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	112,515	118,832
自己株式	△ 608	△ 286
その他の包括利益累計額	21,442	45,430
その他有価証券評価差額金	16,037	21,063
退職給付に係る調整累計額	5,405	24,366
非支配株主持分	475	471
純資産合計	221,721	252,344
負債純資産合計	1,022,518	1,069,923

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
営業収益	313,217	317,710
営業費	298,408	290,926
営業利益	14,809	26,783
営業外収益	3,416	2,462
営業外費用	6,435	7,240
経常利益	11,790	22,005
特別利益	200	1,672
特別損失	10,722	5,342
税金等調整前当期純利益	1,268	18,335
法人税、住民税及び事業税	5,029	7,052
法人税等調整額	△ 775	461
法人税等合計	4,253	7,514
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 2,985	10,821
非支配株主に帰属する当期純利益	25	45
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	△ 3,011	10,775

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,844	58,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,422	△ 32,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,728	△ 24,482
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,306	1,739
現金及び現金同等物の期首残高	45,017	43,277
現金及び現金同等物の期末残高	43,710	45,017

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	43,738	44,158	118,832	△ 286	206,442	21,063	24,366	45,430	471	252,344
当期変動額										
剰余金の配当			△ 3,306		△ 3,306					△ 3,306
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△ 3,011		△ 3,011					△ 3,011
自己株式の取得				△ 322	△ 322					△ 322
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 5,026	△ 18,961	△ 23,987	4	△ 23,983
当期変動額合計	-	0	△ 6,317	△ 322	△ 6,639	△ 5,026	△ 18,961	△ 23,987	4	△ 30,623
当期末残高	43,738	44,158	112,515	△ 608	199,803	16,037	5,405	21,442	475	221,721

京急グループ 会社概要

※社員数はいずれも正社員数で2016年3月31日現在

● 交通事業

株式会社 京急ステーションサービス

〈本社事務所〉〒108-8625
東京都港区高輪2-20-20
TEL 03-3280-5400
〈主な事業内容〉鉄道旅客サービス業

〈代表者〉櫻井 和秀
〈設立〉2005年7月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉295人

京浜急行バス株式会社



〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-20-20
TEL 03-3280-9170
www.keikyu-bus.co.jp
〈主な事業内容〉乗合バス事業

〈代表者〉平位 武
〈設立〉2003年4月
〈資本金〉50億円
〈社員数〉993人

羽田京急バス株式会社

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-20-20
TEL 03-3280-9170
〈主な事業内容〉乗合バス事業

〈代表者〉岩田 信夫
〈設立〉1999年4月
〈資本金〉2億円
〈社員数〉242人

横浜京急バス株式会社

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-20-20
TEL 03-3280-9170
〈主な事業内容〉乗合バス事業

〈代表者〉生出 淳
〈設立〉2000年12月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉283人

湘南京急バス株式会社

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-20-20
TEL 03-3280-9170
〈主な事業内容〉乗合バス事業

〈代表者〉松本 行彦
〈設立〉2000年12月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉195人

東洋観光株式会社

〈本社事務所〉〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜7-6-1
TEL 046-837-3800
www.toyokankou.co.jp
〈主な事業内容〉貸切バス事業

〈代表者〉清野 尚
〈設立〉1953年2月
〈資本金〉2,000万円
〈社員数〉40人

川崎鶴見臨港バス株式会社



〈本社事務所〉〒210-0818
神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6
TEL 044-280-3421
www.rinkobus.co.jp
〈主な事業内容〉乗合バス事業、
貸切バス事業

〈代表者〉宮沢 和徳
〈設立〉1937年11月
〈資本金〉1億8,000万円
〈社員数〉764人

京急交通株式会社



ジャンボタクシー

〈本部事務所〉〒233-0002
神奈川県横浜市港南区上大岡西
3-11-15
TEL 045-841-0015
www.keikyu-taxi.com

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1948年10月
〈資本金〉9,000万円
〈社員数〉207人

〈品川営業所〉〒140-0011
東京都品川区東大井1-21-13
TEL 03-3474-2262
〈大船営業所〉〒247-0055
神奈川県鎌倉市小袋谷1-173-3
TEL 0467-45-8132
〈主な事業内容〉タクシー事業

京急横浜自動車株式会社



〒233-0002
神奈川県横浜市港南区上大岡西
3-11-15
TEL 045-847-5537
〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1954年8月
〈資本金〉6,000万円
〈社員数〉79人

京急文庫タクシー株式会社

〒236-0004
神奈川県横浜市金沢区福浦2-15-2
TEL 045-784-0055
〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1954年1月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉87人

京急葉山交通株式会社

〒240-0113
神奈川県三浦郡葉山町長柄1番地
TEL 046-877-1284
〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1950年10月
〈資本金〉1,400万円
〈社員数〉58人

京急中央交通株式会社



ユニバーサルデザインタクシー

〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜2-12-5
TEL 046-835-1564
〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1952年1月
〈資本金〉2,000万円
〈社員数〉119人

京急三崎タクシー株式会社

〒238-0223
神奈川県三浦市原町15-13
TEL 046-882-4195
〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉久保 由樹
〈設立〉1963年4月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉37人

●不動産事業

京急不動産株式会社

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28
TEL 03-3449-6911
www.keikyu-sumai.com
〈主な事業内容〉土地・建物の売買、
仲介、賃貸の各事業

〈代表者〉榎野 敏弘
〈設立〉1958年9月
〈資本金〉10億円
〈社員数〉130人

臨港エステート株式会社

〈本社事務所〉〒210-0818
神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6
TEL 044-280-3451
〈主な事業内容〉不動産賃貸事業

〈代表者〉遠藤 治男
〈設立〉2005年10月
〈資本金〉8,000万円
〈社員数〉0人

●レジャー・サービス事業

株式会社観音崎京急ホテル

〈本社事務所〉〒239-0811
神奈川県横須賀市走水2-1157-2
TEL 046-841-2200
〈主な事業内容〉ホテルの経営

〈代表者〉草川 晴夫
〈設立〉1984年9月
〈資本金〉2億円
〈社員数〉18人

観音崎京急ホテル www.kannon-kqh.co.jp

所在地	神奈川県横須賀市走水2-1157-2 TEL 046-841-2200
開業	1985年7月
交通	馬堀海岸駅からバス10分 ※無料送迎バスあり
規模	延床面積 6,734㎡(2,037坪)
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階 一部3階建
内容	客室60室 収容人員145名、チャペル、レストラン170席、 駐車場72台、プール、バー・ラウンジ



SPASSO go-spasso.jp

所在地	神奈川県横須賀市走水2-1157-2 TEL 046-844-4848
開業	2005年6月
交通	馬堀海岸駅からバス10分 ※無料送迎バスあり
規模	延床面積 1,863㎡(563坪)
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建
内容	露天風呂他各種浴槽、ミストサウナ他各種サウナ、ヒーリングルーム、 ボディケアルーム、エステルーム(女性限定)、駐車場70台



株式会社 京急イーエックスイン

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪 3-13-3
(SHINAGAWA GOOS内)
TEL 03-5798-3970
www.keikyu-exinn.co.jp
〈代表者〉四宮 浩
〈設立〉2007年7月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉223人
〈主な事業内容〉ホテルの経営、運営受託および経営指導

京急EXイン 品川駅前

所在地	東京都港区高輪3-13-3(SHINAGAWA GOOS内) TEL 03-6743-3910
開業	2011年4月
交通	京急線・JR線・新幹線 品川駅高輪口から徒歩3分
規模	延床面積 84,014㎡(25,414坪)
構造	鉄筋コンクリート造 地上29階建
内容	客室935室(シングル279室、ツイン・ダブル573室 ほか)



京急EXイン 高輪

所在地	東京都港区高輪4-10-8 TEL 03-5423-3910
開業	2011年11月
交通	京急線・JR線・新幹線 品川駅高輪口から徒歩3分
規模	延床面積 4,384㎡(1,326坪)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階～地上2階、地上6階～地上12階建
内容	客室163室(シングル131室、ツイン32室)



京急EXイン 大森海岸駅前

所在地	東京都品川区南大井3-32-1 TEL 03-5764-3910
開業	2007年11月
交通	大森海岸駅から徒歩1分
規模	延床面積 1,962㎡(598坪)
構造	鉄筋コンクリート造 地上12階建
内容	客室105室(シングル104室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 新馬場駅北口

所在地	東京都品川区北品川2-18-1 TEL 03-5769-3910
開業	2008年8月
交通	新馬場駅北口から徒歩1分
規模	延床面積 2,499㎡(756坪)
構造	鉄筋コンクリート造 地上6階建
内容	客室127室(シングル126室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 浅草橋駅前

所在地	東京都台東区浅草橋1-27-9 TEL 03-5820-3910
開業	2010年4月
交通	JR総武線・都営地下鉄浅草線 浅草橋駅から徒歩2分
規模	延床面積 約3,731㎡(約1,128坪)
構造	鉄骨造 地上13階建
内容	客室179室(シングル178室、ユニバーサル1室)



●レジャー・サービス事業

株式会社京急イーエックスイン

京急EXイン 横浜駅東口

所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町5-7	TEL 045-441-3910
開業	2010年9月	
交通	京急線横浜駅きた東口から徒歩2分	
規模	延床面積 2,016㎡(610坪)	
構造	鉄筋コンクリート造 地上10階建	
内容	客室96室(シングル95室、ユニバーサル1室)	



京急EXイン 蒲田

所在地	東京都大田区蒲田5-28-18	TEL 03-3736-3910
開業	2010年10月	
交通	京急蒲田駅西口・JR蒲田駅東口から徒歩5分	
規模	延床面積 3,778㎡(1,142坪)	
構造	鉄筋コンクリート造 地上16階/地下1階建	
内容	客室155室(シングル154室、ユニバーサル1室)	



京急EXイン 秋葉原

所在地	東京都台東区秋葉原2-1	TEL 03-5289-3910
開業	2016年3月	
交通	JR秋葉原駅中央改札口から徒歩5分	
規模	延床面積2,840㎡(約859坪)	
構造	鉄骨造 地上10階建	
内容	客室146室(シングル145室、ユニバーサル1室)	



京急EXイン 京急川崎駅前

所在地	神奈川県川崎市川崎区砂子1-3-1	TEL 044-246-3910
開業	2016年4月	
交通	京急川崎駅から徒歩1分	
規模	延床面積3,374㎡(約1,020坪)	
構造	鉄骨造 地上12階建	
内容	客室175室(シングル173室、ユニバーサル2室)	



京急EXイン 品川・泉岳寺駅前

所在地	東京都港区三田3-11-26	TEL 03-3453-3910
開業	2016年6月	
交通	泉岳寺駅A4出口から徒歩1分	
規模	延床面積2,675㎡(約836坪)	
構造	鉄骨造 地上11階建	
内容	客室120室(シングル119室、ユニバーサル1室)	



三崎観光株式会社

〈本社事務所〉〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代1152
TEL 046-881-5216
www.misakikanko.co.jp
〈主な事業内容〉
宿泊施設の経営、ヨット・ボート保管

〈代表者〉草川 晴夫
〈設立〉1950年4月
〈資本金〉4億4,000万円
〈社員数〉39人

城ヶ島京急ホテル

所在地	神奈川県三浦市三崎町城ヶ島693	TEL 046-881-5151
開業	1965年3月	
交通	三崎口駅からバス30分	
規模	敷地面積 4,201㎡(1,271坪) 建築延面積 4,161㎡(1,259坪)	
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階一部2階	
内容	客室30室、収容人員152名、宴会場3室、会議室1室、レストラン60席、大浴場、露天風呂、カラオケルーム、売店、駐車場50台	



ホテル京急油壺観潮荘

所在地	神奈川県三浦市三崎町小網代1152	TEL 046-881-5211
開業	1959年1月	
交通	三崎口駅からバス15分	
規模	延床面積 3,799㎡(1,149坪)	
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建	
内容	客室31室、収容人員160名、宴会場2室、会議室1室、レストラン106席、大浴場、露天風呂、駐車場70台	



油壺京急マリナー

所在地	神奈川県三浦市三崎町諸磯1574	TEL 046-882-2720
開業	1962年7月	
規模	敷地面積 14,782㎡(4,471坪) 建物延床 378㎡(114坪)	
内容	ヨット・モーターボート100隻	

株式会社
京急油壺マリンパーク

〈本社事務所〉〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代1082
TEL 046-881-6281
www.aburatsubo.co.jp
〈主な事業内容〉水族館の経営

〈代表者〉草川 晴夫
〈設立〉1967年11月
〈資本金〉2,000万円
〈社員数〉38人

京急油壺マリンパーク

所在地	神奈川県三浦市三崎町小網代1082	TEL 046-881-6281
開業	1968年4月	
交通	三崎口駅からバス15分	
規模	敷地面積 53,782㎡(16,269坪) 建築延面積 9,578㎡(2,897坪)	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造	
内容	水族館、屋内海洋劇場(ファンタジアム)、レストラン、駐車場	



● レジャー・サービス事業

株式会社
葉山マリーナー

〈本社事務所〉〒240-0112
神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2
TEL 046-875-2670
www.hayamamarina.com
〈主な事業内容〉
ヨットハーバーの経営、
飲食店・物販店の経営

〈代表者〉長岡 紀雄
〈設立〉1963年9月
〈資本金〉4億3,750万円
〈社員数〉15人

葉山マリーナプラザ・ヨットハーバー

所在地	神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2	TEL 046-875-2670
開業	1964年7月	
交通	新逗子駅南口からバス6分	
規模	敷地面積 25,162㎡(7,611坪) 建築延面積 3,637㎡(1,100坪)	
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄筋造 地上4階建	
内容	ヨット・モーターボートの保管、整備工場、観光クルージング、ボートチャーター、レンタルボート、レストラン(4店舗)、物販・サービス(5店舗)、駐車場	



京急開発株式会社

〈本社事務所〉〒143-8532
東京都大田区平和島1-1-1
TEL 03-3768-9013
www.keikyu-kaihatsu.co.jp
〈主な事業内容〉
ボートレース事業、不動産賃貸事業、レジャー事業

〈代表者〉小山 勝男
〈設立〉1934年12月
〈資本金〉10億円
〈社員数〉64人

BIG FUN平和島 www.big-fun.jp

所在地	東京都大田区平和島1-1-1	TEL 03-3768-9090
開業	2002年7月	
交通	平和島駅から徒歩10分 ※送迎バスあり	
規模	敷地面積 17,860㎡(5,402坪) 延床面積 48,610㎡(14,704坪)	
構造	鉄筋造地上8階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)	
内容	ディスカウントストア、スーパー、フードコート、アミューズメント、飲食店、ゲームセンター、シネマコンプレックス、ボウリング、天然温泉	



天然温泉 平和島 www.heiwajima-onsen.jp

所在地	東京都大田区平和島1-1-1 BIG FUN平和島 2階	TEL 03-3768-9121
開業	1988年11月	
交通	平和島駅から徒歩10分 ※送迎バスあり	
規模	延床面積 4,400㎡(1,331坪)	
構造	鉄筋コンクリート造地上4階(一部鉄骨造)	
内容	天然温泉大浴場(気泡浴、寝湯、全身・部分浴、トータル浴、サウナなど)、ビューイングスパ(高濃度炭酸泉、ストーンサウナ)、レストラン(126席)、癒し処(整体、エステなど8店舗)、リラクスルーム(女性コーナー)、ごろ寝コーナー、団体コーナー、和室 他	



天然温泉みうら湯弘明寺店 www.miurayu.com

所在地	神奈川県横浜市長南区中里1-25-1	TEL 045-710-1126
開業	2003年6月	
交通	弘明寺駅から徒歩7分	
規模	敷地面積 2,975㎡(901坪) 建築延面積 1,906㎡(577坪)	
構造	鉄骨造	
内容	露天風呂、ミストサウナなど14種類のお風呂、お食事処、手もみ処、アカスリ処、カッククラブ、エステ・ネイル、無料駐車場90台	



京急伊豆開発株式会社

〈本社事務所〉〒410-2201
静岡県伊豆の国市古奈168
TEL 055-948-1612
〈主な事業内容〉ホテル・旅館の経営

〈代表者〉笠井 裕一
〈設立〉1968年11月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉11人

伊豆長岡温泉京急ホテル www.izu-keikyuhotel.com

所在地	静岡県伊豆の国市古奈168	TEL 055-948-1612
開業	1968年11月	
交通	伊豆長岡駅から車5分 ※送迎あり	
規模	敷地面積 19,591㎡(5,926坪) 建築延面積 4,292㎡(1,298坪)	
構造	鉄骨造 地上2階建	
内容	客室 和室15室、露天風呂付き特別室2室、和洋室(禁煙)5室、洋室(ツイン)5室、洋室(シングル)4室、収容人員130名、大宴会場1室、中宴会場2室、大浴場、露天風呂、足湯、娯楽室、会議室、カラオケラウンジ、お食事処、ガーデンプール(夏季)、テニスコート4面、卓球1台、駐車場50台	



京急ロイヤルフーズ株式会社

〈本社事務所〉〒143-0006
東京都大田区平和島1-1-1
TEL 03-3768-9074
〈主な事業内容〉飲食店等の経営

〈代表者〉中島 啓之
〈設立〉1954年12月
〈資本金〉3,000万円
〈社員数〉18人

平和島整備株式会社

〈本社事務所〉〒143-0006
東京都大田区平和島1-1-1
TEL 03-3768-9186
〈主な事業内容〉
ボートレース用ボート・モーター
の賃貸および管理

〈代表者〉大原 富明
〈設立〉1965年6月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉7人

株式会社京急ビルテック

〈本社事務所〉〒143-0006
東京都大田区平和島1-1-1
TEL 03-3768-9161
www.k-bt.co.jp
〈主な事業内容〉
保安警備、清掃、施設維持管理

〈代表者〉三ツ木 哲夫
〈設立〉2002年11月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉21人

株式会社
市原京急カントリークラブ

〈本社事務所〉〒290-0221
千葉県市原市馬立3022-13
TEL 0436-36-6361
www.ichiharakeikyu.co.jp
〈主な事業内容〉ゴルフ場の経営

〈代表者〉金子 好隆
〈設立〉1972年12月
〈資本金〉2億円
〈社員数〉16人

市原京急カントリークラブ

所在地	千葉県市原市馬立3022-13	TEL 0436-36-6361
開業	1980年8月	
交通	JR内房線五井駅から車で約20分	
規模	敷地面積 約30万坪	
構造	鉄筋コンクリート造 平屋建 1,806㎡(546坪)	
内容	18ホール、バー72、距離6,715ヤード レストラン60席、練習場7打席40ヤード、駐車場150台	



交通事業
不動産事業
レジャー・サービス事業
流通事業
その他事業
CSR・その他
京急電鉄
会社概要
京急グループ
決算・会社概要
資料

交通事業
不動産事業
レジャー・サービス事業
流通事業
その他事業
CSR・その他
京急電鉄
会社概要
京急グループ
決算・会社概要
資料

● レジャー・サービス事業

株式会社 長野京急カントリークラブ

〈本社事務所〉〒381-0075
長野県長野市北郷2016-327
TEL 026-239-1025
www.naganokeiky.com
〈主な事業内容〉ゴルフ場の経営

〈代表者〉鈴木 隆一
〈設立〉2002年11月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉25人

長野京急カントリークラブ

所在地 長野県長野市北郷2016 TEL 026-239-1025
開業 1998年7月
交通 JR長野駅から車で約30分
規模 敷地面積 約44万坪
構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建2,906㎡(879坪)
内容 18ホール、バー72、距離7,045ヤード、レストラン100席、練習場12打席200ヤード、駐車場180台



京急フードサービス 株式会社

〈本社事務所〉〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島2-16-1 京急横浜ビル7階
TEL 045-461-2515
〈主な事業内容〉飲食店・カフェの経営、店舗の賃貸

〈代表者〉藤田 隆司
〈設立〉1948年12月
〈資本金〉3,200万円
〈社員数〉31人

株式会社 京急アド エンタープライズ

〈本社事務所〉〒233-0002
神奈川県横浜市港南区上大岡西1-13-8
三井生命上大岡ビル2階
TEL 045-848-2711
www.keiky-ad.co.jp
〈主な事業内容〉広告代理店業、各種イベントの企画・立案および実施

〈代表者〉亀掛川 悟
〈設立〉1992年12月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉90人

株式会社 京急アド交通 メディアワーク

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪3-25-23
TEL 03-3447-4822
〈主な事業内容〉鉄道車両および
駅構内における広告作業

〈代表者〉塩谷 正樹
〈設立〉2007年3月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉2人

京急観光株式会社

〈本社事務所〉〒143-0016
東京都大田区大森北6-12-17
TEL 03-5767-9715
www.keiky-travel.com
〈主な事業内容〉旅行業

〈代表者〉田村 晃浩
〈設立〉1974年7月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉71人

株式会社 京急エルペフーズ

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル
TEL 03-5449-4345
〈主な事業内容〉飲食店、カフェ、
ペーカリー等の経営・受託運営

〈代表者〉牧 貴志
〈設立〉1952年6月
〈資本金〉3,000万円
〈社員数〉3人

臨港コミュニティ 株式会社

〈本社事務所〉〒210-0818
神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6
TEL 044-280-3311
〈主な事業内容〉不動産仲介斡旋および
管理業、旅行業、商業業

〈代表者〉坂野 正典
〈設立〉1972年10月
〈資本金〉3,200万円
〈社員数〉7人

流通事業

株式会社京急百貨店

〈本社事務所〉〒233-8556
神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1
TEL 045-848-1111(代表)
〈主な事業内容〉百貨店業、ショッピングセンター業

〈代表者〉上野 賢了
〈設立〉1989年12月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉190人

京急百貨店 www.keiky-depart.com

所在地 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 TEL 045-848-1111
開業 1996年10月
交通 上大岡駅前
規模 売場面積 42,000㎡(12,727坪)
構造 地下1階地上12階建
内容 営業時間 10:00~20:00(一部の店舗除く) 10階レストラン 11:00~22:00
駐車場約1,000台



ウィング上大岡 www.keiky-depart.com/wing

所在地 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 TEL 045-848-7800
開業 1996年10月
交通 上大岡駅前
規模 店舗面積5,936㎡(1,795坪)
構造 地下1階地上3階建
内容 営業時間 物販10:00~20:00(飲食店舗11:00~22:00)
※一部営業時間が異なります 駐車場約760台



株式会社京急友の会

〈本社事務所〉〒233-8556
神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1
TEL 045-848-7100
〈主な事業内容〉百貨店友の会業、各種文化教室の運営

〈代表者〉小泉 雅彦
〈設立〉1996年3月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉0人

株式会社京急ストア

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル
TEL 03-5449-4322
www.keiky-store.co.jp
〈主な事業内容〉ストア業

〈代表者〉今井 守
〈設立〉1933年6月
〈資本金〉5億714万2千円
〈社員数〉423人

京急ストア

東京都／品川店・平和島店・蒲田店
川崎市／川崎店・新川崎店
横浜市／鶴見店・鶴見西店・鶴見本町通店・グロッサリマーケットみなとみらい店・日ノ出町店・グロッサリマーケット伊勢佐木町店・磯子丸山店・磯子岡村店・屏風浦店・富岡店・能見台店・サニーマート店
横須賀市／追浜店・スパーク浦郷店・船越店・安針塚店・FHaB湘南池上店・上町店・浦賀店・北久里浜店・スパーク北久里浜店・久里浜店・新久里浜店・ハイランド店・野比店・津久井浜店・芦名店・湘南佐島店・武山店
三浦市／三浦海岸店・三浦海岸駅前店・三崎東岡店
三浦郡／葉山店
もたちユニオン／新宿店・六本木店・新橋店・日吉店・元町店・鶴沼店・鎌倉店・葉山店・ウィング久里浜店
専門店他／金沢文庫店・横須賀店・上大岡青果店・大船青果店
※2016年4月1日現在



京急ショッピングプラザ・ウィング高輪 EAST

所在地 東京都港区高輪3-26-26 TEL 03-3441-4481
開業 2003年9月
交通 品川駅高輪口前
規模 店舗面積4,673㎡(1,413坪)
構造 地上1階地下1階建
内容 営業時間 10:00~21:00 / 10:00~23:00(京急ストア品川店)



● 流通事業

株式会社 京急マリーナフーズ

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル
TEL 03-5449-4349
〈主な事業内容〉水産物の加工および販売、
惣菜の製造および販売

〈代表者〉牧 貴志
〈設立〉2003年3月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉7人

株式会社 京急ショッピング センター

〈本社事務所〉〒105-0004
東京都港区新橋2丁目東口地下街1号
TEL 03-6252-5005
www.wing-net.ne.jp
〈主な事業内容〉
ショッピングセンターの経営、駐車場業

〈代表者〉岩田 圭祐
〈設立〉1995年4月
〈資本金〉4億円
〈社員数〉32人

ウイング高輪 WEST

所在地 東京都港区高輪4-10-18 TEL 03-3449-1436

開業 1983年11月

交通 品川駅高輪口から徒歩1分

規模 店舗面積 5,428㎡(1,642坪)

構造 地上14階 地下2階建(京急第1ビル)の地上3階 地下1階部分
地上12階 地下2階建(京急第7ビル)の地上1階部分

内容 営業時間 11:00~21:00(平日) 10:00~20:00(土日祝)
飲食店舗は11:00~23:00(月~土) 11:00~22:00(日祝)(※WEST-II2階、WEST-III、一部飲食店舗は営業時間が異なります)



ウイング新橋

所在地 東京都港区新橋2丁目東口地下街1号 TEL 03-3573-7304

開業 駐車場:1972年4月 店舗:1972年6月

交通 新橋駅直結

規模 店舗面積1,807㎡(547坪)〈新橋駅東口駐車場〉6,349㎡(1,920坪)、駐車場台数:四輪196台、二輪59台

構造 地下1階 〈新橋駅東口駐車場〉地下2~4階

内容 営業時間 10:00~22:00 飲食店舗は11:00~22:00
(※一部店舗は営業時間が異なります)〈新橋駅東口駐車場〉24時間営業



ウイング久里浜

所在地 神奈川県横須賀市久里浜4-4-10 TEL 046-834-8958

開業 1987年4月

交通 京急久里浜駅前

規模 店舗面積 9,706㎡(2,936坪)

構造 地上6階建

内容 営業時間 10:00~21:00(※一部店舗は営業時間が異なります)
飲食店舗は11:00~22:00 京急ストアは10:00~22:30



ウイング川崎

所在地 神奈川県川崎市川崎区砂子1-3-1 TEL 044-233-8673

開業 2016年4月

交通 京急川崎駅直結 JR川崎駅から徒歩3分

規模 店舗面積 2383.04㎡(720.87坪)

構造 地上1~4階

内容 営業時間 10:00~21:00
飲食店舗は11:00~23:00(※一部店舗は営業時間が異なります)



株式会社 京急ハウツ

〈本社事務所〉〒236-0021
神奈川県横浜市金沢区泥亀1-25-2
TEL 045-785-3011
www.keikyu-hautsu.com
〈主な事業内容〉ホームセンター、マツモトキヨシFC(ドラックストア)

〈代表者〉佐藤 憲治
〈設立〉2002年4月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉22人

京急ハウツ

所在地 神奈川県横浜市金沢区泥亀1-25-2 TEL 045-785-3011

開業 1994年7月(京急サニーマートA館 文庫サニーマート店)

交通 金沢文庫駅から徒歩10分

規模 敷地面積 3,576㎡(1,082坪) 延床面積 4,363㎡(1,320坪)
売場面積 3,018㎡(913坪)1階 1,512㎡(458坪)2階 1,505㎡(456坪)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 7階建 地下1階塔屋2階の1~2階部分

店舗 1階:DIY(日曜大工)、園芸、エクステリア、サイクル、電器、家庭内小口修理出張サービス(お助けハウツマン)、
文具、レジャー用品、マツモトキヨシ
2階:ペット(生体・用品)、ペットの病院、インテリア用品、日用家庭用品、カー用品



マツモトキヨシFC店舗/京急ハウツ店・京急久里浜駅店・金沢文庫駅店・日吉店・京急羽田空港国際線ターミナル駅店

株式会社 京急ステーション コマース

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル5階
TEL 03-6408-5481
www.keikyu-sc.com
〈主な事業内容〉売店事業、賃貸事業

〈代表者〉佐藤 憲治
〈設立〉2001年6月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉80人

株式会社 京急フレッシュワン

〈本社事務所〉〒143-0006
東京都大田区平和島1-1-1
TEL 03-3768-9481
〈主な事業内容〉
業務用食品スーパーの運営

〈代表者〉船引 孝良
〈設立〉2003年3月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉11人

その他事業

京急建設株式会社

〈本社事務所〉〒221-0056
神奈川県横浜市神奈川区金港町1-4
TEL 045-450-7311
www.keikyu-const.jp
〈主な事業内容〉土木・建築工事の請負等

〈代表者〉三富 利夫
〈設立〉1961年7月
〈資本金〉3億円
〈社員数〉232人

京急電機株式会社

〈本社事務所〉〒210-0022
神奈川県川崎市川崎区池田2-2-3
TEL 044-322-5311
www.kjee.co.jp
〈主な事業内容〉電気工事業、
電気通信工事業、管工事業

〈代表者〉小島 好人
〈設立〉1946年9月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉154人

京急電気工事株式会社

〈本社事務所〉〒210-0022
神奈川県川崎市川崎区池田2-2-3
TEL 044-328-7672
〈主な事業内容〉電気通信・信号装置
工事業、電気工事業

〈代表者〉京田 透
〈設立〉2006年1月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉12人

株式会社 京急ファインテック

〈本社事務所〉〒236-0037
神奈川県横浜市金沢区六浦東2-1-1
TEL 045-781-1663
www.keikyu-ftec.co.jp
〈主な事業内容〉電車・自動車等輸送用
機器の製作、改造、修理ならびに売買

〈代表者〉松田 義明
〈設立〉1948年10月
〈資本金〉4,300万円
〈社員数〉222人

株式会社 京急ファインサービス

〈本社事務所〉〒239-0805
神奈川県横須賀市舟倉2-4-1
TEL 046-833-9915
〈主な事業内容〉電車・自動車等輸送用
機器の清掃業務、塗装工事業務

〈代表者〉響田 吉夫
〈設立〉2002年2月
〈資本金〉300万円
〈社員数〉53人

株式会社 京急リビング

〈本社事務所〉〒210-0807
神奈川県川崎市川崎区港町5-5
TEL 044-246-7080
www.keikyu-livco.com
〈主な事業内容〉マンション管理事業、
リフォーム事業、住生活支援事業

〈代表者〉本多 利明
〈設立〉1977年12月
(商号・事業内容変更2015年7月)
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉45人

京急サービス株式会社

〈本社事務所〉〒233-0002
神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおかオフィスタワー21階
TEL 045-840-2600
www.keikyu-service.co.jp
〈主な事業内容〉ビルメンテナンス・清掃・警備事業、生活支援事業、
生花事業、保育園運営事業

〈代表者〉佐々木 久雄
〈設立〉1971年2月
〈資本金〉2億円
〈社員数〉427人

京急キッズランド金沢文庫保育園

所在地	神奈川県横浜市金沢区谷津町384	TEL 045-783-9979
開業	2005年1月	
交通	金沢文庫駅から徒歩2分	
規模	延床面積 299㎡(90坪)	
構造	鉄骨造 地上4階建の1階部分	
内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2005年4月1日認可保育園	



京急キッズランド井土ヶ谷駅保育園

所在地	神奈川県横浜市港南区井土ヶ谷中町161	TEL 045-730-6206	規模	敷地面積 629㎡(190坪) 建築延面積 299㎡(90坪)
開業	2000年11月		構造	鉄骨造 2階建
交通	井土ヶ谷駅隣接		内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2006年4月1日認可保育園

京急キッズランド上大岡保育園

所在地	神奈川県横浜市港南区上大岡西3-10-17	TEL 045-849-1212	規模	敷地面積 652㎡(197坪) 建築延面積 291㎡(88坪)
開業	2002年3月		構造	鉄骨造 平屋建
交通	上大岡駅から徒歩5分		内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2004年4月1日認可保育園

京急キッズランド上永谷保育園

所在地	神奈川県横浜市港南区丸山台1-2-1	TEL 045-882-1281	規模	延床面積 299㎡(90坪)
開業	2007年4月		構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 中央棟
交通	横浜市営地下鉄上永谷駅から徒歩1分		内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2007年4月1日認可保育園

京急キッズランド港町駅前保育園

所在地	川崎市川崎区港町5-4	TEL 044-245-0231
開業	2013年4月	
交通	港町駅から徒歩0分	
規模	敷地面積957㎡(289坪) 建築延面積334㎡(101坪)	
構造	鉄骨造 1階建	
内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2013年4月1日認可保育園	



京急キッズランド黄金町保育園

所在地	横浜市南区白金町1-23-2番地先	TEL 045-260-6147	規模	敷地面積675㎡(204坪) 建築延面積385㎡(116坪)
開業	2013年4月		構造	軽量鉄骨造 1階建
交通	黄金町駅から徒歩4分		内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2013年4月1日認可保育園

京急キッズランド京急川崎保育園

所在地	川崎市川崎区砂子1-3-1 京急川崎駅前ビル5階	TEL 044-245-5802	規模	延床面積311.06㎡(94坪)
開業	2016年6月		構造	鉄骨造 12階建
交通	京急川崎駅から徒歩3分		内容	保育対象年齢 0歳～未就学児童 定員60名 2016年6月1日認可保育園

●その他事業

株式会社京急メモリアル

〈本社事務所〉〒236-0016
神奈川県横浜市金沢区谷津町384
TEL 045-784-9945
www.keikyu-memorial.com
〈主な事業内容〉葬祭場の経営

〈代表者〉池谷 文彦
〈設立〉1998年7月
〈資本金〉3,300万円
〈社員数〉33人

京急メモリアル金沢文庫斎場

所在地	神奈川県横浜市金沢区谷津町384	TEL 045-784-9833
開業	1998年8月	
交通	金沢文庫駅東口から徒歩1分	
規模	延床面積 1,522㎡(460坪)	
構造	鉄骨造 4階建	
内容	セレモニーホール、お清めホール、遺族控室、霊安室、車寄せ	



京急メモリアル上永谷斎場

所在地	神奈川県横浜市港南区上永谷5-1	TEL 045-847-1194
開業	2001年11月	
交通	横浜市営地下鉄上永谷駅前	
規模	延床面積 1,090㎡(330坪)	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根地下1階付2階建	
内容	セレモニーホール、お清めホール、遺族控室、霊安室、車寄せ	



京急メモリアル久里浜斎場

所在地	神奈川県横須賀市久里浜4-5-1	TEL 046-830-5590
開業	2003年3月	
交通	京急久里浜駅前	
規模	延床面積 945㎡(286坪)	
構造	鉄骨造 2階建	
内容	セレモニーホール、お清めホール、遺族控室、霊安室、車寄せ	



株式会社京急システム

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28
TEL 03-5449-1390
www.keikyu-system.co.jp
〈主な事業内容〉コンピューターソフトウェアの設計・開発・販売・賃貸および保守

〈代表者〉小林 要司
〈設立〉1999年4月
〈資本金〉1億円
〈社員数〉74人

株式会社
京急自動車学校



〈本社事務所〉〒233-0003
神奈川県横浜市港南区港南2-13-12
TEL 045-842-8244
www.keikyu-driving.co.jp
〈主な事業内容〉自動車教習所の経営

〈代表者〉土屋 剛
〈設立〉1962年6月
〈資本金〉6,000万円
〈社員数〉66人

茅ヶ崎校

所在地	神奈川県茅ヶ崎市本村3-8-54	TEL 0467-52-7106
教習車種	普通車／普通二種／普通二輪／大型二輪／中型車／けん引車／大特車	

上大岡校 (横浜市指定・身体障がい者校)

所在地	神奈川県横浜市港南区港南2-12-1	TEL 045-842-8241
教習車種	普通車／普通二種／普通二輪／大型二輪／大特車	

株式会社
鴨居自動車学校



〈本社事務所〉〒226-0003
神奈川県横浜市緑区鴨居1-5-1
TEL 045-931-5388
www.kamoi-ds.co.jp
〈主な事業内容〉自動車教習所の経営

〈代表者〉長谷川 伸一
〈設立〉1964年5月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉34人

株式会社
京急保険サービス

〈本社事務所〉〒140-0001
東京都品川区北品川1-26-10
TEL 03-5463-2151
www.keikyu-hoken.co.jp
〈主な事業内容〉生命保険募集人業務、損害保険代理店業務、保険事務代行業務

〈代表者〉芹沢 康彦
〈設立〉2004年10月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉29人

株式会社
京急ビルマネジメント

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル
TEL 03-5449-2335
www.keikyu-bm.com
〈主な事業内容〉土地・建物の所有・管理・賃貸借、土木・建築工事の企画・設計

〈代表者〉川俣 幸宏
〈設立〉2000年8月
〈資本金〉3,000万円
〈社員数〉43人

株式会社
京急ビジネス

〈本社事務所〉〒108-0074
東京都港区高輪2-21-28 京急第3ビル
TEL 03-3280-9197
www.keikyu-business.co.jp
〈主な事業内容〉経理・人事業務の代行、人材派遣紹介事業

〈代表者〉加藤 美智雄
〈設立〉2001年9月
〈資本金〉5,000万円
〈社員数〉86人

株式会社
京急ウィズ

〈本社事務所〉〒249-0006
神奈川県逗子市逗子5-10-25
TEL 046-874-0350
〈主な事業内容〉駅清掃、駐輪場管理、名刺作成、布団乾燥、クリーニング業務、電鉄本社ビル内 宅配受付と立会業務、施設管理(寮、ファミリー倶楽部など)業務、データ入力業務、団体旅客受付業務

〈代表者〉根岸 一雄
〈設立〉2003年9月
〈資本金〉1,000万円
〈社員数〉54人

京急グループ年譜 ●1898(明治31)年～2016(平成28)年

1898(明治31)年

- 2.25 大師電気鉄道(株)創立
立川勇次郎が専務取締役(代表)に就任
本社を東京市京橋区南鍋町1丁目5番地に置く
- 7.25 第1回定時株主総会を開催

1899(明治32)年

- 1.21 六郷橋～大師間(約2km)が開通
(日本初の1,435mmの軌間を採用)

六郷橋～大師間
を行く電車

- 2.8 本社を川崎町久根崎19番地に移転
- 4.25 大師電気鉄道(株)を京浜電気鉄道(株)に変更
- 11.29 六郷橋～大師間で複線運転開始

1901(明治34)年

- 2.1 品川延長線、六郷橋～大森停車場前間の営業開始
- 8.24 電灯電力供給事業開始

1902(明治35)年

- 9.1 六郷橋～川崎停留所間が開通
- 10.17 『京浜電気鉄道沿革』を発行

1903(明治36)年

- 12.5 岩田作兵衛が専務取締役(代表)に就任

1904(明治37)年

- 5.8 品川(ハツ山)～八幡(大森海岸)間の開通により品川～川崎間全通、八幡～学校裏間の複線専用軌道開通
- 9.21 日本最初のボギー電車(76人乗りセミクロスシート型)10両を新造
- 10.23 雨宮敬次郎が専務取締役(代表)に就任
- 12.22 社長制を設け雨宮敬次郎が取締役社長に就任

1905(明治38)年

- 12.24 川崎～神奈川間の開通により、品川～神奈川間全通

1906(明治39)年

- 10.1 学校裏～梅屋敷間、雑色～川崎間の複線専用軌道開通(六郷川架橋を建設)

1907(明治40)年

- 4.17 本社を川崎町堀之内831番地へ移転

1908(明治41)年

- 10.24 栗生武右衛門が取締役社長に就任
- 1908(明治41)年
- 12.- 京浜広告社と広告請負契約締結、鉄道広告営業開始

1909(明治42)年

- 5.15 三浦泰輔が取締役社長に就任
- 10.1 横浜電気鉄道(のち横浜市電)と連絡運輸開始
- 10.16 横浜鉄道(現JR横浜線)との汽車電車連絡切符発売契約を締結

1910(明治43)年

- 1.1 『京浜遊覧案内』を発行
- 7.15 仲木戸付近、横浜鉄道との立体交差化工事竣工
- 8.5 青木正太郎が取締役社長に就任

1911(明治44)年

- 4.1 六郷川鉄橋開通
- 8.- 初の3扉車(90人乗り)25号形3両を新造

1912(明治45・大正元)年

- 6.24 福利共済事業として「一心会」発足

1913(大正2)年

- 7.1 大森変電所、鶴見変電所の運転開始

1914(大正3)年

- 4.17 鶴見花月園開園
- 5.1 生麦住宅地の販売開始

1915(大正4)年

- 10.12 手動式の閉そく信号機完成(2灯式)

1918(大正7)年

- 6.28 安田善三郎が取締役社長に就任

1919(大正8)年

- 10.4 創業20周年祝賀会を花月園で開催

1920(大正9)年

- 10.1 線路上に特別高圧送電線架設
- 11.25 海岸電気軌道(株)設立

1921(大正10)年

- 6.1 貨物運輸の営業開始
- 12.24 安田善五郎が取締役社長に就任

1922(大正11)年

- 6.1 川崎運河の完成で、工場用地、住宅用地の販売開始

1923(大正12)年

- 5.1 電灯・電力事業から撤退。群馬電力に売却
- 9.1 関東大震災による全線の営業停止
- 9.11 震災による営業停止の一部運転再開
- 10.18 青木正太郎が取締役社長に再就任

1924(大正13)年

- 3.29 市電が品川停留場へ乗り入れ運転開始

1925(大正14)年

- 1.- 日本初の本格的半鋼製軽量ボギー車(旧51号形)20両の使用開始

- 3.11 品川鉄橋(ハツ山橋)～高輪間が開通し、路線が東京市内へ入る(高輪停留場開業)
- 12.27 湘南電気鉄道(株)設立、野村龍太郎が取締役会長(代表)に就任

1926(大正15・昭和元)年

- 12.- 六郷橋～京浜川崎間の新設複線専用軌道開通

1927(昭和2)年

- 8.27 ハ丁噺～川崎住宅地内(循環)の乗合自動車運輸開始(初のバス事業)
- 11.- 客車に暖房設備(電熱)設置

1928(昭和3)年

- 6.- 電車2両連結(総括制御)の運転開始
- 12.28 六郷橋～川崎大師間の新設複線専用軌道開通

1929(昭和4)年

- 6.22 神奈川～横浜(仮)駅(月見橋)間が開通(横浜駅で省線と連絡)

1930(昭和5)年

- 2.5 横浜(仮)駅～横浜(新)駅間が開通
- 4.1 湘南電気鉄道(株)の黄金町～浦賀間、金沢八景(六浦荘)～湘南逗子間開通
- 4.- 電車回数乗車券を販売開始
- 6.24 生野田六が取締役社長に就任

- 7.6 湘南電気鉄道(株)が馬堀海岸海水浴場開設

- 7.13 湘南電気鉄道(株)が富岡駅を開業、富岡海水浴場を開設

1931(昭和6)年

- 1.1 急行の運転開始(高輪～蒲田間)
- 1.15 臨海自動車(株)がグループ会社となる
- 4.1 湘南電気鉄道(株)湘南逗子駅葉山口乗降場の営業開始により、逗子線延長
- 12.26 黄金町～横浜間の開通により、湘南電気鉄道(株)と連絡線完成。横浜～浦賀間の直通運転開始(バス連絡廃止)

1932(昭和7)年

- 4.12 品川駅前～六郷橋詰間を生麦ガード下まで路線を延長し、運行開始

- 10.1 横浜市との契約により、生麦～横浜駅前間を延長し、品川～横浜運行開始

- 11.29 本社を川崎市京町1丁目2番地1に新築し、移転

1933(昭和8)年

- 1.15 蒲田乗合自動車(株)がグループ会社となる
- 4.1 省線品川駅へ乗り入れ開始



- 品川～浦賀間の直通運転開始
- 品川～横浜間の軌間変更工事竣工(1,372mmを1,435mmに)

1935(昭和10)年

- 2.14 望月軍四郎が湘南電気鉄道取締役会長(代表)に就任
- 5.3 大型貸切自動車事業開始

- 6.28 本社を川崎市堀川町29番地に移転
高輪事務所を高輪南町17番地高輪ビルに開設

- 8.1 鎌倉乗合自動車(株)がグループ会社となる
- 9.1 梅森自動車(株)がグループ会社となる

1936(昭和11)年

- 2.1 湘南電気鉄道(株)が湘南乗合自動車(株)を合併
- 6.- 半島自動車(株)設立

- 12.25 品川～上大岡間の急行運転開始

1937(昭和12)年

- 8.8 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業開始、湘南丸就航

1938(昭和13)年

- 1.1 半島自動車(株)、臨海自動車(株)、鎌倉乗合自動車(株)の3社が合併し、湘南半島自動車(株)を設立

- 6.- 電車42両のトローリーボールをパンタグラフに改造(通称、改パン)

- 7.1 日本自動車道(株)を買収

1939(昭和14)年

- 4.21 脇道馨が湘南電気鉄道(株)取締役会長(代表)に就任
- 9.23 電車3両の連結運転が許可

- 11.10 京浜タクシー(株)設立

- 11.11 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業を廃止

1940(昭和15)年

- 3.29 京浜興業(株)設立

- 12.19 京浜運輸(株)設立

1941(昭和16)年

- 5.1 湘南半島自動車(株)が日本自動車道(株)を合併
- 11.1 京浜電気鉄道(株)、湘南電気鉄道(株)、湘南半島自動車(株)3社合併、社名を京浜電気鉄道(株)とする

- 11.25 五島慶太が取締役社長に就任

1942(昭和17)年

- 5.1 京浜電気鉄道(株)、東京横浜電鉄(株)、小田急電鉄(株)3社合併、社名を東京急行電鉄(株)とする(局制を敷き、品川・渋谷・新宿の3営業局を設置)
- 五島慶太が東京急行電鉄の取締役社長に、品川営業局長に田中百敏が就任
- 公郷変電所新設使用開始

- 12.1 横須賀堀ノ内～久里浜(仮駅)間開通

1943(昭和18)年

- 7.5 湘南自動車工業(株)設立
- 9.21 久里浜駅を約500m延長移設

1944(昭和19)年

- 2.24 篠原三千郎が取締役社長に就任
- 5.31 東京急行電鉄(株)が京王電気軌道(株)を合併
- 6.1 川崎大師～産業道路間開通
- 10.1 産業道路～入江崎間開通

1945(昭和20)年

- 1.7 入江崎～桜本間開通
- 3.12 平山孝が取締役社長に就任
- 8.20 小宮次郎が取締役社長に就任
- 12.6 大師線と川崎市電が桜本で接続

1946(昭和21)年

- 3.1 小林中が取締役社長に就任
- 6.14 横浜～浦賀間で連合国軍専用車(白帯車)の運転開始



1947(昭和22)年

- 6.25 東京都との協定により、乗合バスの都内相互乗り入れ開始
- 11.28 (株)京急共栄会設立(2010年7月解散)
- 10.16 井田正一が取締役社長に就任

1948(昭和23)年

- 6.1 京浜急行電鉄(株)発足
本社を東京都港区芝高輪南町17番地に置き、上田甲午郎が専務取締役(代表)に就任
- 6.4 デハ5400形就役
- 7.3 逗子線、湘南逗子～逗子海岸間開通
- 7.15 品川～浦賀間の直通運転再開
- 8.10 大師線、3線式乗り入れ契約を川崎市、味の素、運輸省鉄道総局と締結

- 8.一 逗子線、金沢八景～神武寺間の複線復旧工事竣工
- 9.6 横浜～逗子海岸間の直通運転開始
- 10.2 京浜自動車工業(株)のち京急車輛工業(株)、現(株)京急ファインテック)設立
- 10.28 京浜観光開発(株)(現京急交通(株))設立
- 10.一 東京電機(株)(現京急電機(株))がグループ会社となる
- 12.21 川崎鶴見臨港バス(株)がグループ会社となる
- 12.23 井田正一が取締役社長に就任

1949(昭和24)年

- 2.1 急行バス、横浜～三崎間の運行開始
東京都営バスと相互乗り入れ開始(東京駅八重洲口～川崎駅間)
- 2.23 デハ420形を新造
- 5.16 東京証券取引所一部に上場

- 6.1 創業50周年記念式典挙行
- 6.25 京浜百貨店(株)(現(株)京急ストア)がグループ会社となる
- 7.10 品川～逗子海岸間の直通運転(夏季)開始
○ 3両編成運転再開
- 11.1 遊覧バス、鎌倉駅～建長～江の島循環の運行開始

1950(昭和25)年

- 2.20 葉山観光自動車(株)がグループ会社となる
- 6.一 ニュージャパンモーター(株)がグループ会社となる
- 12.25 田中百敏が取締役社長に就任

1951(昭和26)年

- 3.16 大師線の塩浜～桜本間に川崎市電が乗り入れ開始
- 5.8 逗子線の金沢八景第2踏切道に初の自動踏切遮断機設置
- 9.15 高周波式搬送指令電話装置を駅長所在駅に設置
- 10.1 日本航空との特定旅客の自動車運送事業を開始

1952(昭和27)年

- 1.1 大師線、塩浜～桜本間を川崎市へ譲渡
- 3.21 急行の終日運転開始
- 6.1 社歌制定
- 6.23 湘南逗子駅に初の自動継電連動装置設置
- 6.24 神武寺～湘南逗子間の複線復旧工事竣工
- 7.6 品川～逗子海岸間で特急の直通運転開始

10.14 電車内の案内放送開始

1953(昭和28)年

- 2.25 社是制定
- 3.25 観音崎観光(株)がグループ会社となる
- 8.一 三崎観光(株)がグループ会社となる
- 9.30 600形を新造(3扉通勤車)
- 10.一 信号機に警戒・減速の現示方式を初めて採用

1954(昭和29)年

- 1.19 大森水上レクリエーション(株)(現京急開発(株))がグループ会社となる
- 6.15 久里浜線の横須賀堀ノ内～湘南井田間の複線工事竣工
- 6.25 久里浜線に初の列車集中制御装置(CTC)新設
- 7.7 品川～湘南久里浜間の直通運転開始
- 7.25 三浦半島一周定期遊覧バス「さざなみ」号運行開始
- 12.一 横浜交通(株)(現京急横浜自動車(株))がグループ会社となる

1955(昭和30)年

- 5.20 急行バス、東京駅八重洲口～羽田空港間の運行開始
- 6.一 初の乗車券自動販売機を品川・京浜川崎駅に設置
- 7.30 東洋観光(株)がグループ会社となる

1956(昭和31)年

- 3.24 品川～横浜間の全踏切道で急行列車選別装置の使用開始
- 10.25 700形4両を新造(初のカルダン駆動採用)

- 11.1 広報誌「なぎさ」を創刊
- 12.10 国際シブサービス(株)がグループ会社となる
(2001年3月清算)

1957(昭和32)年

- 9.16 文庫タクシー(株)(現京急文庫タクシー(株))がグループ会社となる
- 10.4 電車運転士の養成教習開始
- 12.27 金田湾観光開発(株)がグループ会社となる

1958(昭和33)年

- 2.9 神奈川新町駅構内に電車運転士養成の教習所竣工
- 2.12 (株)京急油壺レストハウス(のち油壺観光(株)、現三崎観光(株))設立
- 3.16 はとバスと提携し、都内～羽田空港～鎌倉～江の島～都内の周遊コースの連絡運輸開始
- 6.11 800形4両を新造
- 6.一 湘南逗子～逗子海岸間の複線化工事竣工
- 9.30 京急興業(株)(現京急不動産(株))設立

1959(昭和34)年

- 1.23 京急油壺レストハウス(のち観瀨荘)竣工
- 3.15 久里浜線の湘南井田～湘南久里浜間の複線運転開始
- 5.4 羽田営業所の新築工事竣工
- 7.9 京浜汽船が横須賀～富津間の航路開設
- 7.31 中央交通(株)(現京急中央交通(株))がグループ会社となる
- 11.1 葉山自動車(株)(現京急葉山交通(株))がグループ会社となる

1960(昭和35)年

- 4.20 城ヶ島大橋開通により路線バス乗り入れ運行開始
- 7.11 (有)青堀タクシーがグループ会社となる
- 9.1 京光タクシー(株)(現京急交通(株))設立
- 9.15 湘南井田分譲地の販売開始
- 9.一 (株)大和屋(現京急フードサービス(株))がグループ会社となる
- 10.15 南太田変電所新設使用開始
- 11.28 わが国最初の電気式1号形ATS完成

1961(昭和36)年

- 4.25 京浜定期貨物運送(株)がグループ会社となる
- 7.4 京浜不動産(株)(現京急建設(株))設立
- 11.11 ワンマンバス、羽田空港駅～空港ターミナル間の運行開始
- 12.13 光電式自動踏切防護装置を生麦第2踏切道で使用開始

1962(昭和37)年

- 3.15 観音崎ホテル竣工
- 7.30 追浜に自動車教習所を開設
- 10.1 (株)川崎自動車教習所設立

1963(昭和38)年

- 1.25 都心乗入線品川～泉岳寺間の第1期建設工事着手
- 4.5 三崎観光ハイヤー(株)(現京急三崎タクシー(株))設立

- 4.12 上大岡駅ビル竣工
- 5.2 金沢八景～堀ノ内間に列車選別装置を設置
- 10.1 ホーム監視テレビの本格的な使用開始(横浜駅下りホーム)
- 11.1 京浜久里浜～野比間開通
○ 井田車両工場(現久里浜工場)の操業開始
○ 駅名変更により「湘南」を「京浜」に改称
- 11.3 葉山上山口分譲地の販売開始
- 11.28 (株)京浜共栄会(現(株)京急共栄会)がグループ会社となる(2011年7月清算)

1964(昭和39)年

- 2.25 鈴木三郎助が取締役社長に就任
- 3.25 大師線の小島新田～塩浜間営業休止
- 5.20 京急更埴陸送(株)がグループ会社となる(現京急物流、2005年6月売却)
- 5.23 佐藤晴雄が取締役社長に就任
- 7.17 (株)京急自動車学校 上大岡校開校
- 8.1 (株)東京観光ホテル(のち(株)ホテル京急(2013年3月清算))がグループ会社となる
- 10.1 新社紋制定、社名略称の冠称「京浜」を「京急」に変更
- 11.1 飯綱高原温泉開発(株)がグループ会社となる
- 12.2 葉山マリーナ全館開業
- 12.一 横須賀根岸台分譲地の販売開始

1965(昭和40)年

- 1.1 社旗制定
- 3.15 城ヶ島温泉ホテル(現城ヶ島京急ホテル)竣工
- 6.6 野比第1期分譲地の販売開始
- 8.19 羽田に観光バスセンター新設

1966(昭和41)年

- 1.1 特殊代用信号機を全線27踏切道(第1種乙踏切)で正式使用開始
○ 第1種甲踏切4か所を自動化
- 3.23 浦賀駅に、日本初のプログラム式列車運行制御装置(PTC)設置使用開始
- 3.27 野比～津久井浜間開通
- 5.21 京浜川崎駅付近下り線高架工事竣工、使用開始(上り線は5月11日)
- 7.7 津久井浜～三浦海岸間開通・特急を終日10分間隔で運転開始
- 7.19 観音崎ビーチホテル(のち観音崎ビーチホテル)竣工
- 12.10 京浜川崎駅付近で踏切道の除却工事と京浜川崎駅改良工事竣工
○ 京浜川崎駅に新型連動装置新設
○ 朝のラッシュ時に金沢文庫～品川間特急8両編成の運転開始
- 12.12 京急新橋地下駐車場(株)設立

1967(昭和42)年

- 5.27 電車の戸開閉操作を運転士から車掌に切り替え

- 6. - 700形を新造(初の4扉車)
- 7.9 「京急川崎レジャーセンター」営業開始
- 11.19 生麦駅の改良工事竣工(初の橋上駅)
- 11.- 合成電車線使用開始(川崎大師～東門前間)

1968(昭和43)年

- 1.29 武山球場竣工
- 4.1 ATS(自動列車停止装置)を品川～堀ノ内間で部分使用開始
- 4.27 「京急油壺マリンパーク」営業開始
- 6.1 運転司令所、電力司令所を新設
- 6.21 快速特急列車の運転開始
 - 都心乗り入れ、品川～泉岳寺間開通
 - 誘導式列車無線装置の使用開始(泉岳寺～京浜川崎間)
- 9.22 横須賀池田建売住宅の販売開始
- 10.1 「京急サニーマート」営業開始
 - 京急三浦海岸グラウンド完成
- 10.27 横須賀池田分譲地の販売開始
- 12.21 大師電気鉄道「発祥之地」記念碑を川崎大師駅構内に建立

1969(昭和44)年

- 6.25 運輸省指定区間(品川～堀ノ内間)のATS設置完了
- 6.30 「京急三浦ビーチセンター」営業開始
- 11.17 神武寺駅に第1種継電運動装置設置、これにより全線24か所の継電化完了
- 11.22 中川幸一が取締役社長に就任
- 12.9 本線と本線直通運転全区間のATS地上装置完成使用開始

1970(昭和45)年

- 2.16 (株)ホテルパシフィック東京設立
- 4.6 京急幼稚園開園
- 11.12 空港線、大師線でATS地上装置の使用開始(全線、全列車で使用開始)
- 11.20 休止中の大師線、小島新田～塩浜間廃止
- 12.1 鈴ヶ森～平和島間の全線高架化線開通(上り線1月20日開通)

1971(昭和46)年

- 1.24 休止中の空港線、羽田空港～穴守間廃止
- 2.15 京急レジャーサービス(株)(現京急サービス(株))設立
- 2.23 鶴見川新橋梁の上り線使用開始
- 4.- マルチプルタイヤ導入
- 7.1 新造1000形と600形屋上に冷房装置取付け初の冷房車就役

7.27 「ホテルパシフィック東京」営業開始



- 10.1 平和島と京浜久里浜両駅に初の乗車券センター営業開始、駅業務のオンライン化始動
- 12.23 電車に盲導犬の乗車を認める

1972(昭和47)年

- 3.31 六郷川新橋梁の切り替え完成、使用開始
- 4.1 京急新橋地下駐車場営業開始
- 5.26 大森電力司令所完成、変電所の集中制御開始
- 6.1 新橋地下街「しんちか」営業開始
- 7.1 金沢八景に「八景京急ボウル」オープン

1973(昭和48)年

- 3.19 大森営業所で低床式バスの使用を開始
- 10.1 神奈川地区で盲導犬のバス乗車を認める
- 12.8 (株)平和島が長野県青木湖畔に「ホテルブルーレイク」オープン(2001年3月売却)
- 12.15 駅の集中放送装置全線完成、車掌によるワイヤレスマイク使用開始

1974(昭和49)年

- 1.17 金沢文庫電車基地完成(収容能力272両)、車上進路設定装置使用開始
- 5.11 京急第2ビル完成
- 5.26 横浜駅相対式ホームを島式ホームに改良
- 7.11 (株)京急ツーリスト(現京急観光(株))設立
- 10.1 社員持株制度発足
- 12.2 朝のラッシュ時に金沢文庫～横浜間で私鉄初の特急12両編成運転開始

1975(昭和50)年

- 4.26 三浦海岸～三崎口間開通
- 5.27 片桐典徳が取締役社長に就任
- 7.23 南総興業(株)(現(株)市原京急カントリークラブ)がグループ会社となる

1976(昭和51)年

- 3.31 京急レストラン(株)がグループ会社となる
- 8.1 空港線車輛を大型化
- 10.15 北品川～青物横丁間の高架化工事完成。北馬場・南馬場を統合、新馬場駅開業

1977(昭和52)年

- 11.1 大師線の車輛を大型化
- 12.13 京急緑地開発(株)設立

1978(昭和53)年

- 6.1 京浜電鉄デ51形・湘南電鉄デ1形を復元し、久里浜工場内に永久保存

- 6.16 初のバス運賃自動清算装置導入
- 6.21 都営地下鉄線に8両編成の乗り入れ開始
- 7.20 「京急富津観光ホテル」営業開始(2001年8月休止)
- 12.27 新型車両800形を新造

1979(昭和54)年

- 5.1 「川崎京急スイミングスクール」オープン
- 7.8 800形が1979年度ローレル賞受賞



- 10.26 長沢隧道貫通
- 12.4 バス、横浜シティ・エア・ターミナル(YCAT)～新東京国際空港間(旅客限定)運行開始
- 12.16 港南丸山台ニュータウン第1回建売住宅の販売開始
- 12.19 鶴見市場～花月園前間下り高架線の使用開始(上り線は3月1日)

1980(昭和55)年

- 5.23 京浜久里浜駅に初のエスカレーター(昇り)設置
- 6.27 殿前隧道(京浜長沢駅付近)～津久井浜間の複線化工事竣工により運転開始
- 8.24 「市原京急カントリークラブ」営業開始
- 11.11 金沢文庫第1京急ビル(賃貸)完成

1981(昭和56)年

- 2.1 京急第5ビル(賃貸)完成
- 3.18 京急第3ビル(賃貸ビル)完成
- 3.27 港南丸山地区区画整理事業完成
- 3.30 本社を泉岳寺ビルへ移転統合
- 3.31 鎌倉小町京急ビル(賃貸)完成
- 6.22 平日ダイヤを全面改正、朝のラッシュ時に通勤快特を新設、金沢文庫～品川間を12両編成で運転
- 6.25 飯田道雄が取締役社長に就任

1982(昭和57)年

- 4.1 京急商事(株)設立(2010年7月解散)
- 5.10 鎌倉御成町京急ビル(賃貸)完成
- 6.7 品川駅の改良工事が竣工、12両編成列車の発着が可能となる
- 12.1 「谷津坂」に「能見台」と駅名改称
- 12.27 新型車両2000形を新造

1983(昭和58)年

- 5.20 「京急ニュータウン金沢能見台」建売住宅販売開始
- 8.28 2000形が1983年度ブルーリボン賞受賞
- 11.28 京急第1ビル完成、30日に「ウイング高輪」営業開始

1984(昭和59)年

- 6.13 新社は制定
- 9.20 ホテル京急(株)(現(株)観音崎京急ホテル)設立

1985(昭和60)年

- 1.9 京急猪苗代リゾート(株)設立
- 3.2 「京浜逗子」と「逗子海岸」を統合、「新逗子」に駅名改称
- 3.25 新型車両1500形を新造
- 7.20 「観音崎京急ホテル」営業開始

1986(昭和61)年

- 3.16 京急ニュータウン三浦海岸の建売住宅販売開始
- 7.15 「京急猪苗代リゾートホテル」営業開始

1987(昭和62)年

- 4.1 初のフリー乗車券「三浦半島ぐるりっぷ」販売開始
- 4.25 「ウイング久里浜」営業開始
- 6.1 駅名を改称、冠称「京浜」から「京急」へ
- 6.26 芹沢守利が取締役社長に就任
- 12.13 南太田駅の待避設備完成
- 12.15 京急商事(株)がグループ会社となる(2011年3月清算)

1988(昭和63)年

- 1.4 創立90周年シンボルマーク、「コーポレートスローガン」発表
- 1.11 1500形16両を新造(初のアルミ合金製車体導入)
- 3.29 京急幼稚園が岡岡地区から能見台地区へ移転
- 5.10 片桐典徳取締役名譽会長が、勲一等瑞宝章を受章
- 6.2 創立90周年記念式典挙行
- 7.26 電車の冷房化率100%達成
- 8.1 逗子にフライホイール式電車線電力蓄勢装置新設

1989(昭和64・平成元)年

- 10.14 京浜観音開眼50周年法要挙行
- 11.11 「京急クアアリゾート平和島」営業開始
- 11.13 弘明寺～上大岡間の立体交差工事完成
- 11.20 高速バスの座席予約システム運用開始
- 11.30 新社歌制定

1989(昭和64・平成元)年

- 1.15 品川バスターミナルが完成、使用開始
- 3.31 高輪京急ホテル(京急第7ビル)完成
- 4.1 大船～江の島の有料道路を廃止
- 12.20 (株)京急百貨店設立

1990(平成2)年

- 3.29 久里浜検車区竣工
- 7.21 横浜～清里間の高速バスの運行開始(夏季路線)
- 10.5 1500形初のVVVF車両を新造
- 12.2 新馬場～大森海岸間の立体交差化工事下り線が完成(上り1989年6月25日完成)、これにより新馬場第1踏切道から立会川第3踏切道までの13か所の踏切道廃止
- 12.14 深夜急行バス、横浜駅～関内駅～京急久里浜駅間の運行開始

1991(平成3)年

- 3.31 京急線、都営浅草線、京成線、北総・公団線による4線
連絡運転開始
- 4.1 新日本自動車(株)がグループ会社となる
(2002年9月清算)
- 6.24 (株)ホテルバシフィック千葉設立(1995年2月清算)
- 6.27 平松一郎が取締役社長に就任
- 11.22 (株)京急流通企画、京急都市開発(株)設立

1992(平成4)年

- 1.18 品川駅高輪口を皮切りに自動改札機の導入開始
- 4.16 「ウイング号」の運行開始
- 9.18 大船駅東口「ルミネウイング」営業開始
- 11.28 鎌倉駅～大塔宮間、鎌倉～大仏前間でレトロ調バス
「京急りんどう号」運行開始
- 12.3 (株)京急アドエンタープライズ設立

1993(平成5)年

- 3.25 横須賀テレコムリサーチパーク設立
- 3.31 羽田駅周辺利用者のため人道橋「天空橋」を開通
- 4.1 空港線延伸第1期工事が完成、羽田駅開業(初代羽田
空港駅を廃止)
- 都営浅草線方面からの直通急行列車(6両編成)の空港
線への乗り入れ開始
- 4.24 品川～萩間「菟エクスプレス」号の運行開始
- 12.8 自動精算機を品川など8駅に順次導入

1994(平成6)年

- 1.19 (株)京急ステーションアシスト設立(2010年7月解散)
- 3.29 新型車両600形を新造
- 4.1 ストアードフェアシステムを導入、「マルチカード」を発売
- 京急グループクレジットカード「NAGISA」を発行
- 7.29 京急ハウズ営業開始(サニーマート内)
- 10.1 バス共通カードの使用開始(大森・横浜営業所)
- 10.15 鉄道総合司令所完成、運輸司令システム業務開始

1995(平成7)年

- 2.1 (株)ホテルバシフィック東京が(株)高輪京急ホテルを
合併し、商号が(株)ホテル京急となる
- 3.6 羽田営業所と横浜営業所が見台車庫でハイブリッドバス
を各1両使用開始
- 3.20 大森営業所でリフト付バス1両を使用開始
- 4.1 特殊乗車券「京急ぐるりっぷ」、三浦半島宿泊パック
「ぐるりプラン」販売開始
- 品川～横浜間で快特の最高速度120キロ/時に、横浜
以南で快特と特急の最高速度110キロにスピードアップ
- 4.3 (株)京急ショッピングセンター設立
- 11.1 鉄道総合司令所で、運輸・工務・電気の総合的管理を開始

1996(平成8)年

- 2.16 「お客様案内係」を品川など8駅に配置
- 3.22 「京急金沢文庫キッズワールド」営業開始

- 5.7 芹沢守利前会長が、勲一等瑞宝章を受章
- 7.30 電車車掌に女性社員を登用
- 9.20 YCATが横浜駅東口(スカイビル)に移転、同所に成田
空港・羽田空港行きバス乗り場を移転
- 10.1 「京急百貨店・ウイング上大岡」ランドオープン

1997(平成9)年

- 3.31 大師線3線式乗り入れ契約を解除(当社・味の素・
神奈川臨海鉄道)
- 4.27 横須賀中央駅改良工事完成(中央Yデッキと直結)
- 6.22 上大岡第1第2踏切道立立体交差化事業下り高架橋の
使用開始(上り線5月12日)
- 6.27 小谷昌が取締役社長に就任
- 10.1 横須賀リサーチパーク(YRPセンター1番館・2番館)
竣工
- 創立100周年「記念シンボルマーク」、「コーポレート
スローガン」発表
- 12.19 バス路線、横浜駅～木更津駅間、川崎駅～木更津駅間、
羽田空港～木更津駅間の運行開始(東京湾アクアライ
ン経由)

1998(平成10)年

- 2.25 京浜急行電鉄(株)創立100周年
- 3.28 新型車両2100形を新造
- 4.1 貸切バス事業を京急観光バス(株)へ事業統合(京浜
急行電鉄・川崎鶴見臨港バス、日本観光興業貸切バス
事業統合)
- 4.17 (株)京急トラフィックサービス設立
- 5.26 創立100周年記念式典挙行
- 6.1 お台場に「ホテル グランバシフィック メリディアン」オープン
- 7.29 長野県飯綱高原に「長野京急カントリークラブ」オープン
- 7.31 (有)ピーアンドエス(現(株)京急メモリアル)設立
- 10.10 「京急ファミリー倶楽部(ほっとプラザ)」営業開始
- 11.18 空港線延伸第2期工事を完了に伴い「羽田空港」駅開業、
「羽田」を「天空橋」に駅名改称
- 鉄道ダイヤ改正(日本初の空港間直通電車「」運転開始)

1999(平成11)年

- 2.1 三崎観光開発(株)が油壺観光(株)に合併
- 4.1 全改札口の自動化が完了し、乗降確認システムを導入
- 油壺観光(株)が三崎観光(株)に合併
 - (株)京急システム設立
 - 京急バス(株)設立
- 4.30 (有)環境ソリューション(現(株)京急環境ソリュー
ション)設立

2000(平成12)年

- 3.24 京急川崎第3ビル竣工
- 5.11 京急電鉄制服および作業服、鉄道会社初の「エコ
マーク」認定を取得
- 6.1 臨港グリーンバス(株)設立(2011年3月清算)

- 6.27 ホテルバシフィック東京がISO9001を認証取得
- 8.15 (株)京急ファシリティー設立
- 9.16 駅係員による構内売店販売業務を開始(新大津・
北久里浜・津久井浜)
- 10.2 高速バス「ノクターン号」女性専用車両」運行開始
- 11.24 駅直結型の「京急キッズランド井土ヶ谷保育園」オープン
- 12.15 (株)京急自動車学校が京急湘南開発(株)を合併
- 12.20 共通乗車カードシステム「パスネット」導入開始
- 12.26 横浜京急バス(株)、横須賀京急バス(株)〈現湘南
京急バス(株)〉設立

2001(平成13)年

- 3.1 三浦ディーエスタブリュ(株)設立(2010年2月清算)
- 3.28 久里浜工場がISO14001を認証取得
- 4.1 臨港交通(株)が川崎臨港ハイヤー(株)を合併
- 5.16 京急フレッシュアズ(株)設立
- 6.13 (株)京急流通サービス売却
- 6.16 (株)京急ステーションサービス(現(株)京急ステー
ションコマース)設立
- 7.3 弘明寺へ身代地蔵菩薩奉納
- 9.12 (株)京急百貨店がISO14001を認証取得
- 9.28 (株)京急ビジネス設立
- 10.1 京急口イヤルフーズ(株)が京急房総観光(株)を合併
- 10.22 私鉄初 品川・羽田空港駅ほかでISO9001:2000を
認証取得

2002(平成14)年

- 2.1 青物横丁京急ビル竣工
- 3.1 (株)ホテル京急が京急都市開発(株)を合併
- 3.18 「京急キッズランド上大岡保育園」営業開始
- 4.1 (株)京急ハウズ設立
- 京急管財(株)設立
- 6.1 運輸司令所、電力司令所、車両センター、工務保安
センターを総合司令所に統合
- 7.11 YRPが政府関係機関初の新PFI事業者に選定される
- 7.24 「BIG FUN平和島」営業開始
- 9.10 青物横丁駅改良工事が完成
- 9.17 京浜急行電鉄(株)が(株)葉山マリーナーの株式を取得
- 10.28 平和島温泉クアハウスがISO9001を認証取得
- 11.18 (株)京急ビルテック平和島、平和島サービス(株)設立
- 11.28 大鳥居京急第1ビル、大鳥居東口改札口開業
- 12.21 無線LAN倶楽部サービス提供開始
- 12.25 (株)京急百貨店がニュージャパンモーター(株)を合併

2003(平成15)年

- 3.1 「ウイング新橋」オープン
- 3.3 (株)フレッシュアップ平和島設立
- 3.10 「京急メモリアルサービス久里浜」営業開始
- 3.31 (株)京急マリナーフーズ設立
- 4.10 京浜急行バス(株)設立
- 5.1 京急線全線で全面禁煙を実施

- 5.23 大鳥居京急第2ビル開業
- 6.24 海洋深層水風呂「みうら湯」弘明寺店営業開始
- 9.11 障がいのある方の雇用のための特例子会社(株)京急
ウィズ設立
- 10.1 会社分割により自動車事業を京浜急行バス(株)に承継

2004(平成16)年

- 1.29 「京急安浦」を「県立大学」に駅名改称
- 3.1 京急建設(株)がISO14001を認証取得
- 4.1 「京急キッズランド上大岡保育園」が認可保育園として
新たに開園
- 4.15 (株)ホテル京急が障がい者雇用特例認定される
- 7.1 (株)楼蘭設立
- 10.1 (株)京急ライフクリエイト設立
- 11.1 「京急グループポイントサービス」開始
- 11.8 新潟県中越地震による上越新幹線の復旧作業に軌道
検測車(EM30)をJR東日本へ貸与
- 12.1 羽田空港第2旅客ターミナル開業
- 羽田空港駅に「京急ステーションコンシェルジュ」を配置
 - 品川駅高架下にフードテーマパーク「品達ラーメン 麵達
七人衆」オープン
- 12.17 京急サービス(株)がISO9001:2000を認証取得
- 12.21 金沢文庫京急第2ビル竣工
- 12.24 (株)ホテル京急がISO14001を認証取得
- (株)楼蘭がISO14001を認証取得

2005(平成17)年

- 1.7 (株)京急システムがISO9001を認証取得
- 1.26 ホテルバシフィック東京が宿泊のお客さまから善意
として寄せられた155万6893円を(財)日本ユニセフ
協会に寄贈
- 3.14 600形「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」運行開始



- 4.1 「京急カード」発行
- 5.9 「女性専用車両」試験運転開始
- 5.12 (株)ホテルグランバシフィック設立
- 5.16 鉄道本部内に「安全対策担当」を新設
- 6.19 観音崎京急ホテルにビューティー&リラクゼーションスパ
「SPASSO」オープン
- 6.29 石渡恒夫が取締役社長に就任
- 10.3 臨港エステート(株)設立
- 10.7 久里浜線延伸区間「三崎口～油壺(仮称)間」の免許一
旦取り下げ
- 11.1 京急線全駅および京急グループ各店舗、合計150か所
に「こども110番」設置
- 11.21 京急ウィズが「クリーニング工場」営業開始

2006(平成18)年

- 1.17 京急電気工事(株)設立
- 2.28 京急百貨店100か月連続前年同月実績超えを達成
- 6.16 主要駅に「AED(自動体外式除細動器)」を設置
- 7.28 総合司令所に気象庁が配信する緊急地震速報を活用した「緊急地震速報システム」を設置
 - 京浜急行電鉄(株)が(株)京急ストアを完全子会社化
- 9.12 お客さまご案内窓口「京急ご案内センター」開設
- 10.1 京浜急行電鉄(株)が川崎鶴見臨港バス(株)を完全子会社化
 - 鉄道安全管理規程制定

2007(平成19)年

- 1.20 「湘南佐島なぎさの丘」販売開始
- 3.1 (株)京急アド交通メディアワーク設立
- 3.16 施設部の現業部門を分社化して京急鉄道施設(株)が営業開始
- 3.18 ICカード乗車券「PASMO」導入
- 3.31 新1000形6次車両運行開始(京急初のステンレス車両導入)
 - 京急管財(株)と(株)京急ファンリティが合併し、(株)京急ビルマネジメントに商号変更
- 4.1 京急サービス(株)による認可保育園「京急キッズランド上永谷保育園」が開園
- 5.1 (株)ホテル京急と(株)楼蘭が合併
- 5.8 平松一朗取締役相談役が、旭日大綬章を受章
- 7.2 (株)京急イーエックスイン設立
- 7.28 品川駅に外貨自動両替機設置
- 9.15 台場に「Verre et Cour(ヴェルエクール)」オープン
- 11.11 「京急EXイン 大森海岸駅前」開業

2008(平成20)年

- 2.25 創立110周年
 - 駅係員、乗務員の制服を更新
- 4.2 ホテルパシフィック東京に「シンガポール・シーフード・リハビリック」オープン
- 4.19 「横浜イーストスクエア」竣工
- 5.30 ウィング高輪WESTに秋田県アンテナショップ「あきた美彩館」オープン
- 6.1 「ホテルパシフィック東京」、「ホテル グランパシフィックメディア」が新たに「パシフィックホテルズ」としてブランド展開開始
 - 「ホテル グランパシフィックメディア」を「ホテル グランパシフィック LE DAIBA」に改称
- 8.8 「京急EXイン 新馬場駅北口」開業
- 10.1 ユニオネックス(株)の全株式を取得し、連結対象子会社に
 - 神武寺駅にて米軍専用改札を運用開始
- 11.18 駅メロディの導入開始

2009(平成21)年

- 2.14 高機能ATSを全線で運用開始

- 4.1 (株)京急ショッピングセンターが京急新橋地下駐車場(株)と合併
- 8.1 「みさきまぐろきっぷ」販売開始
- 9.30 駅全売店をセブンイレブン展開することで業務提携

2010(平成22)年

- 3.18 「よこすかグルメきっぷ」販売開始
- 4.14 「京急EXイン 浅草橋駅前」開業
- 5.16 鉄道ダイヤ改正(✈️エアポート快特、✈️エアポート急行の新設など)
- 6.30 1000形車両引退
- 9.14 「京急EXイン 横浜駅東口」開業
- 9.30 「ホテルパシフィック東京」営業休止
- 10.14 「京急EXイン 蒲田」開業
- 10.21 「羽田空港国際線ターミナル」駅開業、「羽田空港」を「羽田空港国内線ターミナル」に駅名改称
 - 羽田空港国際線ターミナルへ京浜急行バス乗り入れ開始
 - 京急線全駅にて駅ナンバリングを導入
 - 京浜急行電鉄(株)の英文会社名を「Keikyu Corporation」に変更
- 11.1 京急開発(株)が(株)京急ジョイフルと合併

2011(平成23)年

- 4.29 「SHINAGAWA GOOS(シナガワ ゴース)」、
「京急EXイン 品川駅前」開業



- 7.9 トリプルタワーマンション「リヴァリエ」販売開始
- 10.1 「京急グループポイントサービス」が「京急プレミアムポイント」にリニューアル
- 11.6 京急グッズショップ「おとどけいきゅう」鮎洲店開業
- 11.11 「京急EXイン 高輪」開業

2012(平成24)年

- 3.31 京急タクシーグループが、全車両にPASMO電子マネーの導入を完了
- 5.23 京急線全駅にて定期乗車券の払い戻し取扱開始
- 10.1 京急百貨店オンラインショップ「吉日屋」オープン
- 10.21 京急蒲田駅付近連続立体交差事業全乗車区間上下線高架化完了
 - 鉄道ダイヤ改正(品川～羽田、横浜～羽田直通電車を10分間隔で運行)

2013(平成25)年

- 3.23 交通系ICカード全国相互利用サービス開始
- 4.1 (株)京急ストアとユニオネックス(株)が合併

- 「京急キッズランド港町駅前保育園」、「京急キッズランド黄金町保育園」開園
- 6.27 原田一之が取締役社長に就任
- 7.18 梅屋敷駅にて京急緑線の副駅名称「東邦大学前」を導入



副駅名称の入った駅看板

- 7.26 京急百貨店、百貨店初のエコマーク認定「小売店舗」を取得
- 11.3 小谷昌取締役相談役が旭日大綬章を受章
- 11.19 「高架下新スタジオ(Site-A～Dおよびかいだん広場)」が「第57回神奈川建築コンクール一般建築部門」にて優秀賞を受賞

2014(平成26)年

- 2.19 横浜市金沢区と「津波発生時における施設等の提供協力に関する協定」を締結
- 2末 車両内にて公衆無線LANサービス提供開始
- 3.1 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス開始
- 3.19 大師線港町駅が「第20回川崎市景観形成協力者表彰」を受賞
- 4.2 神奈川新町駅前に商業施設「新町第1京急ビル」「新町第2京急ビル」開業
- 5.1 新1000形「KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN」運行開始
- 7.18 葉山マリーナ開業50周年
スイス・モントルマリーナと姉妹クラブ提携
- 7.19 「みさきまぐろきっぷ」優待施設を追加

- 7.23 横浜市金沢区他6者と「環境未来都市 横浜」かなざわ八携(はっけい)協定」締結
- 8.16 IR施設運営を見据えた新規事業プロジェクトチーム発足
- 11.8 鉄道ダイヤ改正
(品川～羽田 空港国際線ターミナル駅間を「✈️エアポート快特」11分で運行)
- 11.10 京急ストア「かながわ彩り弁当」がフード・アクション・ニッポンアワード2014「販売促進・消費促進部門」優秀賞受賞
- 11.13 京急ストア、神奈川県と「連携と協力に関する包括協定」締結
- 11.17 「ザ・タワー横須賀中央」入居開始
- 12.5 「平和島物流センタ」竣工

2015(平成27)年

- 2.26 台湾鉄道管理局と「友好鉄道協定」締結
- 4.1 「ウィング高輪 EAST」リニューアルオープン
 - 京浜急行電鉄(株)が京急鉄道施設(株)を吸収合併

- 4.25 「京急ツーリストインフォメーションセンター(京急TIC) コンシェルジュ」品川駅でのご案内開始
- 5.28 「ミシュラン・グリーンライナー」羽田空港～東京駅線で運行開始
- 6.26 「品川開発推進室」新設
- 10.1 (株)京急リブコ設立
- 10.14 日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞「高度な安定輸送実現」特別賞を受賞



- 10.21 羽田空港国際線ターミナル駅に「ウィングエアポート羽田」が誕生
- 12.4 タイ・SRTETと「友好協定」締結
- 12.7 「モーニング・ウィング号」運行開始
- 12.11 京急蒲田駅高架下に「ウィングキッチン京急蒲田」開業
- 2016(平成28)年
 - 3.16 久里浜線延伸(三崎口～油壺(仮称)駅間)事業および延伸区間における三浦市三戸・小網代地区の大規模宅地開発事業凍結を発表
 - 3.24 「京急EXイン 秋葉原」開業
 - 3.28 横浜への本社移転を発表



- 4.1 京急鶴見駅前に「京急お忘れものセンター」開設
- 4.25 ウィングエアポート羽田に「品達 羽田」開業
- 4.27 「京急川崎駅前ビル」開業
 - 「京急EXイン 京急川崎駅前」、「ウィング川崎」オープン
- 5.11 京急グループ総合経営計画を発表
- 5.20 (株)ホテルグランパシフィックを譲渡
- 6.23 「京急EXイン 品川・泉岳寺駅前」開業
- 6.29 「新規事業企画室」新設

羽田空港と京急の沿革

- 1902(明治35)年 6.28 穴守線の営業開始
※蒲田駅(現京急蒲田駅)～穴守駅(初代)(廃止駅)間開通
- 1909(明治42)年 4.4 京浜電気鉄道(株)が羽田運動場を開設
※運動場内には、陸上トラック・野球場・テニスコート・弓道場・土俵のほか、花壇や遊園地も作られ、明治44年にはオリンピック(ストックホルム大会)の陸上競技代表者の選考会が開催された
- 1910(明治43)年 3.31 蒲田駅～穴守駅(初代)間の複線化工事竣工
- 1911(明治44)年 7.5 京浜電気鉄道(株)が羽田遊泳場を開設
※開場式には大隈(重信)伯爵の演説や、白瀬中尉の北極探検談が行われた
- 1913(大正2)年 12.31 穴守駅(初代)(廃止駅)から約1km羽田方向へ延伸、終点に穴守駅(2代)を移設(2代穴守駅の位置は旧空港ターミナル前に立っていた穴守稲荷神社の鳥居付近)穴守駅(初代)は廃止
廃止された穴守駅(初代)(廃止駅)を地元の要望で、羽田駅(廃止駅)と改称して開業
- 1914(大正3)年
- 1915(大正4)年 1月 羽田駅(廃止駅)を穴守駅(2代)寄りに約0.04km移転し、稲荷橋駅(初代)(現天空橋駅付近、廃止駅)として開業
- 1925(大正14)年 11月 蒲田駅(現京急蒲田駅)を京浜蒲田駅(現京急蒲田駅)に改称
- 1931(昭和6)年 8.25 **通信省が「羽田飛行場」を開業**
蒲田新宿～稲荷橋間を羽田飛行場までバス路線を延長
- 1938(昭和13)年 2.7 京浜電気鉄道(株)が羽田運動場用地(53,309坪)を飛行場用地として通信省に売却
- 1940(昭和15)年 10月 稲荷橋駅(初代)(現天空橋駅付近、廃止駅)を京浜蒲田駅寄りに約0.2km移転し稲荷橋駅(2代)(現穴守稲荷駅付近、廃止駅)を開業
- 1945(昭和20)年 9.27 連合国軍の接收により稲荷橋駅(2代)(現穴守稲荷駅付近、廃止駅)～穴守駅(2代)(現天空橋駅付近、廃止駅)間は営業休止となり、京浜蒲田駅(現京急蒲田駅)～稲荷橋駅(2代)(現穴守稲荷駅付近、廃止駅)間は単線営業となる(これは1線を飛行場拡張の資材輸送に使うための処置)
- 1952(昭和27)年 7.1 **「羽田飛行場」が一部の接收解除を受け日本へ返還、「東京国際空港」へ改称**
- 10.31 穴守線(現空港線)接收解除を受け、休止区間の稲荷橋駅(2代)(現穴守稲荷駅付近、廃止駅)～穴守駅(2代)間も返還
- 11.1 連合国軍の接收解除により、稲荷橋駅(2代)(現穴守稲荷駅付近、廃止駅)を京浜蒲田駅(現京急蒲田駅)寄りに約0.3km移設し、京浜蒲田駅(現京急蒲田駅)～稲荷橋駅(3代)(現穴守稲荷駅)を複線として営業再開
- 1956(昭和31)年 4.20 穴守線を0.5km延長し海老取川の蒲田側(初代の稲荷橋と同位置、現天空橋駅付近)に羽田空港駅(初代)(初代稲荷橋駅と同位置、現天空橋駅付近)を開業
「稲荷橋」駅(3代)(現穴守稲荷駅)を「穴守稲荷」に駅名改称



1931年「東京飛行場(羽田飛行場)」開港



1952年 空港返還セレモニーの様子



1956年4月に開業した初代羽田空港駅

…羽田地区の変遷
…自動車事業の変遷

- 1958(昭和33)年 7.1 **羽田飛行場が進駐軍から全面返還**
- 1963(昭和38)年 11.1 穴守線を空港線に改称
- 1965(昭和40)年 8.25 東京駅～高速1号線～羽田空港間の急行バスの運行開始
- 1968(昭和43)年 12.21 横浜駅東口～高速道路経由～羽田空港間のワンマンバスの運行を開始
- 1971(昭和46)年 5.17 羽田空港バスターミナルの使用を開始
- 1973(昭和48)年 3.16 川崎駅～羽田空港間のバスの運行を川崎大師～羽田空港間に短縮
- 1978(昭和53)年 **国際線が新東京国際空港(成田)へ移転**
- 1979(昭和54)年 11.20 穴守稲荷駅の橋上駅化工事が完成
- 1984(昭和59)年 7.20 羽田空港駅(初代)～羽田空港・第2オペレーションセンター～羽田空港駅間の運転を開始
沖合展開事業工事着手
- 1985(昭和60)年 7.24 空港線延伸計画、第1期分として羽田空港～羽田空港口(仮称)間の免許を取得
- 9.16 空港線建設チームを設置
- 1986(昭和61)年 2.23 空港線京浜蒲田(空)、第1踏切道付近曲線を、都営直通に備えR=80mに改良
- 8.29 空港線の全車両を冷房化
- 1987(昭和62)年 4.18 川崎駅～羽田空港間の直通バス運行を開始
- 1990(平成2)年 3.30 空港線延伸計画第2期分として羽田空港口駅(仮称)～新羽田空港駅間(仮称)3.2km(複線)の免許を取得
- 1991(平成3)年 1.16 空港線延伸工事(第1期分)の進捗に伴い穴守稲荷駅～(旧)羽田空港駅間の営業を休止
京急蒲田駅～穴守稲荷駅間折り返し運転実施、穴守稲荷駅～羽田空港駅間は代行バスを運行
穴守稲荷駅の駅舎改良工事が完成し、使用を開始
東京都の埋立工事完成
- 1992(平成4)年 4.26 糀谷駅の駅舎改良工事が完成し、使用を開始
- 1993(平成5)年 **沖合展開第II期の第1旅客ターミナル施設供用開始**
4.1 空港線延伸第1期工事完成
羽田空港駅(初代)(海老取川の蒲田側、稲荷橋駅(初代)と同位置、現天空橋駅付近)を廃止し、羽田駅(海老取川の空港側に新設、現天空橋駅)開業
都営浅草方面からの直通急行列車(6両編成)の空港線内への乗り入れ開始
- 9.27 羽田駅(現天空橋駅)において、東京モノレールとの連絡運輸開始
- 1994(平成6)年 12.10 空港線内4駅のホーム延伸工事完成、8両編成車両を導入
- 1996(平成8)年 1.31 空港線延伸工事第2期工事の第2区工事に着手
- 1997(平成9)年 2.19 空港線延伸工事上り線シールドトンネルが貫通(下り線は1996年12月8日)
- 11.17 「京急蒲田駅付近連続立体交差事業」の都市計画案および環境影響評価書案地元説明会を開催
- 11.23 大鳥居第1踏切立体交差工事に伴い、大鳥居駅地下ホームの使用を開始
- 1998(平成10)年 11.16 羽田空港駅開業記念式典を挙行政
- 11.18 空港線延伸第2期工事完了に伴い羽田空港駅開業、羽田駅(現天空橋駅)を天空橋駅に改称
同時にダイヤ改正を行い、品川～羽田空港駅間を特急19分で結ぶとともに、日本初の空港間(羽田空港～成田空港)直通電車「エアポート快特」運転開始
- 1999(平成11)年 8.11 羽田空港駅の利用客が1,000万人突破
- 2001(平成13)年 10.22 私鉄初、品川駅・羽田空港駅ほかでISO9001:2000を認証取得
- 2002(平成14)年 5.25 京急蒲田駅付近連続立体交差事業起工式開催
- 10.12 横浜方面～羽田空港駅間の直通電車を大幅に増発



1994年頃の羽田空港カレリア



羽田空港駅 開業セレモニーの様子

- 2003(平成15)年 7.19 鉄道ダイヤ改正(品川駅→羽田空港駅間の快特所要時間を14分に短縮など)
- 2004(平成16)年 2.27 羽田空港駅のご利用者数が1億人突破
12.1 **羽田空港「第2旅客ターミナル」開業**
全日本空輸が第2旅客ターミナルへ移動
羽田空港第2旅客ターミナル口改札を新設
羽田空港駅に「京急ステーションコンシェルジュ」を配置
- 2005(平成17)年 7.20 京急急行バス「羽田空港～蘇我(千葉)線」、「羽田空港～二俣川」線を運行開始
10.2 京急蒲田駅1番線(空港線)ホームが東側(国道15号側)へ約13m移設
10.17 空港駅初の携帯電話を利用した手荷物の当日発送サービス「羽田空港ポーターサービス」開始
- 2006(平成18)年 1.6 京浜急行バス「羽田空港～ホテル グランパシフィック メリディアン(台場駅直結)」線運行開始
- 2007(平成19)年 3.16 京浜急行バス「羽田空港～北千住駅」線を運行開始
7.12 京浜急行バス「羽田空港～センター北駅・センター南駅」線を運行開始
7.20 京浜急行バス「羽田空港～蘇我(千葉)」線、「羽田空港～二俣川」線を運行開始
9.1 京浜急行バス「横浜・羽田空港～館山駅前」線を運行開始
- 2008(平成20)年 1.31 羽田空港無料連絡バスにハイブリッドバスを導入
9.13 羽田空港の深夜早朝時間帯バスを運行開始
12.16 京浜急行バス「羽田空港・横浜駅～新富士駅・富士宮駅」線を運行開始
- 2009(平成21)年 4.24 京浜急行バス「羽田空港～山下公園・MM地区～赤レンガ倉庫」線、「羽田空港～二子玉川駅」線を運行開始
- 2010(平成22)年 7.17 鉄道ダイヤ改正(✕エアポート快特:品川～羽田空港間ノンストップ運転開始、✕エアポート急行の新設など)
羽田空港～成田空港駅直通電車を増発
10.21 「羽田空港国際線ターミナル」駅開業、「羽田空港」を「羽田空港国内線ターミナル」に駅名改称
羽田空港国際線ターミナルへ京浜急行バス乗り入れ開始
10.31 京急タクシーグループが定額制タクシーの運行開始
「羽田空港国際線旅客ターミナル」開業
京浜急行バスが深夜便対応バスを運行開始
- 2011(平成23)年 2.22 羽田空港国際線ターミナル駅3階時計台名称が「銀の翼」に決定
3.16 京浜急行バス「羽田空港～武蔵小杉駅」線を運行開始
6.1 訪日外国人のお客さま向け商品「PASMO&京急羽得きっぷ」を発売
7.14 外貨両替専門店「トラベックス羽田空港国際線ターミナル駅店」オープン
7.16 京浜急行バス「羽田空港～富士山駅」線、「横浜駅～羽田空港～軽井沢駅」線を運行開始
11.1 京浜急行バス「羽田空港・横浜駅～箱根湯本」線を運行開始



羽田空港駅ご利用者数1億人突破の様子



羽田空港 第2旅客ターミナルビル



羽田空港国際線ターミナル駅 開業セレモニーの様子

- 2012(平成24)年 2.1 羽田空港国際線ターミナル駅3階に、羽田空港国際線ターミナル初となる「JCB空港サービスデスク」オープン
3.30 京浜急行バス「羽田空港～海老名駅」線を運行開始
5.22 京浜急行バス「羽田空港～錦糸町駅・東京スカイツリータウン」線を運行開始
6.1 鎌倉・逗子・葉山地区で羽田空港国際線ターミナルまでの定額制タクシーを開始
10.21 京急蒲田駅付近連続立体交差事業全乗車区間上下線高架化完了
鉄道ダイヤ改正(品川～羽田、横浜～羽田直通電車を10分間隔で運行)
10.23 京急ツーリストインフォメーションセンター(京急TIC)が日本政府観光局最高ランクの「カテゴリ-3」に認定
- 2013(平成25)年 10.1 京浜急行バスが「羽田空港～大船駅・鎌倉駅」線を運行開始
- 2014(平成26)年 2.1 羽田空港国際線ターミナル駅、羽田空港国内線ターミナル駅にて公衆無線LANサービス提供開始(以後、各駅ごとに順次導入)
3.1 訪日外国人向け6時間無料の公衆無線LANサービス開始
3.25 京急リムジンバス「羽田空港～山下公園・みなとみらい地区・赤レンガ倉庫」線(羽田空港行きのみ)で、「交通系ICカード予約サービス」を開始
4.1 「PASMO&京急羽得きっぷ」を「HANEDA! Keikyu&PASMO」に改称
5.7 羽田空港国際線ターミナル駅2階に「グローバルWiFi®」ルーターレンタルショップオープン
7.15 京急TICにて「WELCOME! Tokyo Subway Ticket」販売開始
7.18 京浜急行バス「羽田空港～川口」線を運行開始
8.1 羽田空港国際線ターミナル駅2階に自動ID発行機「Wi-Fi Staff」導入
10.26 京浜急行バスグループ、深夜早朝アクセスバス運行開始
11.8 鉄道ダイヤ改正(品川～羽田空港国際線ターミナル駅間の「✕エアポート快特」所要時間を11分に短縮など)
12.1 横須賀・三浦地区で羽田空港国際線ターミナル駅までの定額制タクシーを開始
4.1 訪日外国人向け無料の公衆無線LANサービス「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」プロジェクトに参画「Wi-Fi Staff」を利用した最大2週間無料の公衆無線LANサービス開始
6.1 羽田空港ターミナル間無料連絡バスの女性運転士を採用開始
10.21 羽田空港国際線ターミナルおよび羽田空港国際線ターミナル駅の開業5周年
○ 駅ナカ商業施設「ウィングエアポート羽田」開業
「マツモトキヨシ」「ラオックス」オープン
11.28 羽田空港国際線ターミナル駅 人型ロボット「Pepper」によるご案内を開始
12.17 京浜急行バス「品川・羽田空港～大多喜」線を運行開始
- 2015(平成27)年
- 2016(平成28)年 2.26 台鉄×京急 友好鉄道協定締結1周年記念
羽田空港国際線ターミナル駅に台湾・台鉄PRブースを設置
3.23 ウィングエアポート羽田にデジタルサイネージ自販機導入
4.14 羽田空港国際線ターミナル駅と羽田空港国際線ビル駅において東京モノレールと合同テロ対策訓練を実施
4.25 ウィングエアポート羽田に「品達 羽田」オープン
○ 「グローバルWiFi®」リニューアル、SIMカード自動販売機設置
7.13 京浜急行バス「羽田空港～桶川駅・上尾駅」線を運行開始



京急蒲田駅および国道15号付近



ウィングエアポート羽田 開業記念式典

民鉄16社比較

鉄道事業単体

(2015年度)

項目 社名	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	営業キロ (km)	客車 車両数 (両)	旅客 運輸収入 (百万円)	客車 走行キロ (千km)	輸送人員 (千人)	延人キロ (百万人キロ)
京急	43,738	1,781	87.0	790	78,669	115,993	459,687	6,383
東武	102,135	3,469	463.3	1,884	144,787	268,522	903,760	12,616
西武	21,665	3,621	176.6	1,272	96,969	172,527	642,693	8,741
京成	36,803	1,666	152.3	582	58,655	96,765	274,569	3,877
京王	59,023	2,447	84.7	843	80,313	127,386	652,340	7,630
小田急	60,359	3,593	120.5	1,064	114,880	176,224	744,374	11,487
東急	121,724	4,302	104.9	1,200	137,235	147,837	1,148,568	10,987
東京メトロ	58,100	9,289	195.1	2,728	327,163	289,435	2,586,478	20,753
相鉄	100	1,050	35.9	398	31,043	47,695	229,032	2,554
名鉄	88,863	5,012	444.2	1,068	85,091	190,246	373,519	6,927
近鉄	100	7,532	501.1	1,905	148,104	289,014	573,582	10,920
南海	72,983	2,567	154.8	688	55,912	95,152	233,300	3,881
京阪	51,466	1,563	91.1	693	50,732	91,402	288,089	4,086
阪急	100	2,989	143.6	1,307	95,192	171,187	644,564	9,129
阪神	29,384	1,438	48.9	358	32,407	44,796	234,226	2,220
西鉄	26,157	4,343	106.1	332	20,146	39,856	101,951	1,561

グループ連結

(2015年度)

項目 社名	従業員数 (人)	営業収益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
京急	9,035	313,217	-3,011
東武	19,770	574,334	27,277
西武	22,246	508,081	57,207
京成	8,611	251,204	30,997
京王	12,791	416,254	19,468
小田急	13,283	529,812	27,497
東急	22,331	1,091,455	55,248
東京メトロ	10,942	408,239	57,696
相鉄	5,300	258,430	13,693
名鉄	30,068	610,153	24,532
近鉄	29,048	1,217,995	28,956
南海	8,853	219,065	12,612
京阪	6,904	300,188	22,385
阪急	21,607	707,359	69,971
阪神			
西鉄	18,058	361,415	15,194

KEIKYU
HAND
BOOK
京急グループ会社要覧
2016-2017

京急電鉄

www.keikyu.co.jp



京急

検索



京急ご案内センター

TEL 03-5789-8686 / 045-441-0999
(平日9:00～19:00 土・日・祝日9:00～17:00 ※2016年9月16日から)
※営業時間は変更になる場合がございます。

KEIKYU
京急グループ